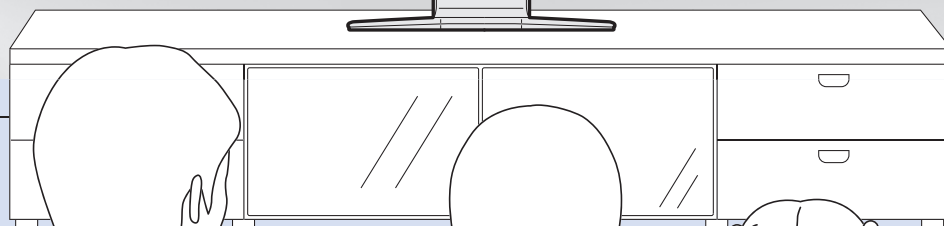
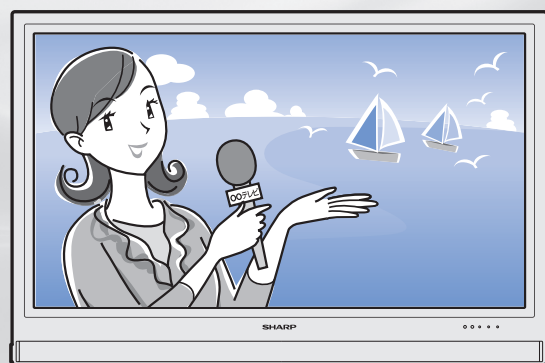
SHARP

AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル　シー　　　　　　　ディー エス
LC-42DS5
エル　シー　　　　　　　ディー エス
LC-37DS5
エル　シー　　　　　　　ディー エス
LC-32DS5

テレビ台など
は別売りです。

お買いあげいただき、
まことにありがとう
ございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(9ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

● キーワードは、知りたい内容をもくじから探すときに便利です。
お使いいただく上で、特に大切な用語は太字にしています。

はじめに

テレビを見るための準備

詳しいもくじは ············ **21**ページ

テレビを見る

詳しいもくじは ･･････････ **63**ページ

キーワード　　ページ

次のページに続く

レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ

詳しいもくじは …… **91**ページ

ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

キーワード　ページ

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

キーワード

ページ

ハイビジョン録画対応の i.LINK 端子付き録画機器で録画・再生する(AQUOSレコーダー以外の機器)

キーワード

ページ

次のページに続く

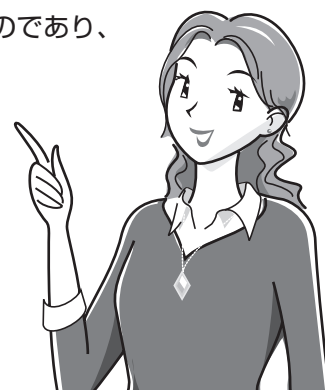
パソコンやオーディオ機器など、その他の機器をつなぐ

本機の機能を活かした使いかた

詳しいもくじは……**141**ページ

こんなときは

詳しいもくじは ………… **155**ページ

- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(▶ **167**ページ)
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合は除いてLC-42DS5を例にとって説明しています。LC-37DS5やLC-32DS5は外形寸法や画面のサイズなどは異なりますが使いかたは同じです。
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

付属品の使いかた

● 安全と性能維持のため、同梱のケーブルを必ずご使用ください。

本機を操作する

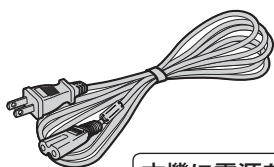
リモコン×1

リモコン用乾電池
（単3形乾電池×2）

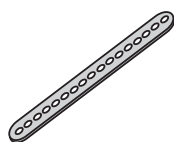
※アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて使います。
▶**36**ページ

電源コンセントとつなぐ

電源コード（4m）×1

本機に電源を供給します。
▶**33**ページ

転倒を防ぐ（台・壁・柱などに固定）

固定バンド×1

固定バンド
取付けネジ×1

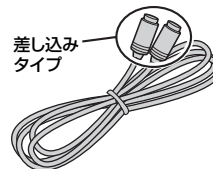
台などに固定するときに使います。
▶**35**ページ

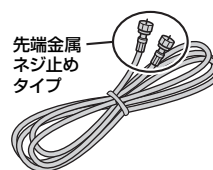
クランプ×2

クランプ
取付けネジ×2

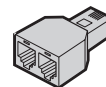
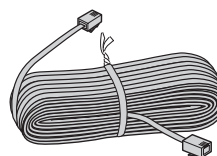
市販のひもと金具を使い、壁や柱に
固定するときに使います。▶**34**ページ

アンテナとつなぐ

VHF/UHF用アンテナケーブル（4m）×1

地上デジタル放送、地上アナログ放送を
見る場合につなぎます。 ▶**28〜31**ページ

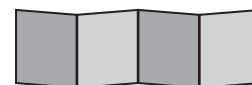
BS・110度CS用アンテナケーブル（4m）×1

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を
見る場合につなぎます。▶**29〜31**ページ

電話回線とつなぐ

電話線（10m）×1 モジュラー分配器×1

デジタル放送の双方向通信を行うときに使います。
▶**149**ページ

取扱説明書など

取扱説明書（本書）×1※

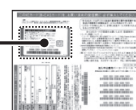
かんたん!!ガイド×1※

保証書×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書は
ございません。
This model is designed exclusively for Japan,
with manuals in Japanese only.

デジタル放送を見る

B-CASカード×1

デジタル放送を見る
ときに使います。
▶**24**ページ

- B-CASカードはB-CASパンフレットの袋の中の台紙についています。（同梱箱をご確認ください。）
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

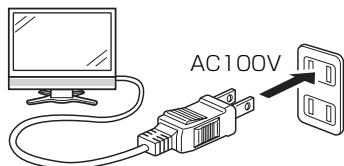
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

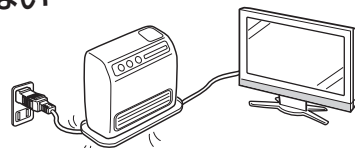
 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

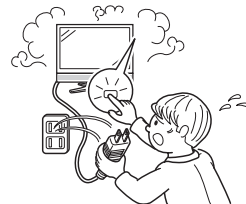
禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

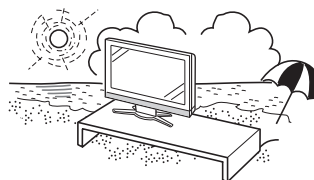
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

次のページに続く

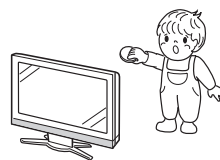
⚠ 警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

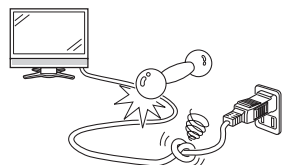
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

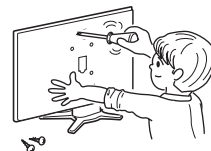
異物を入れない

禁止

通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

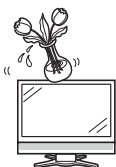
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

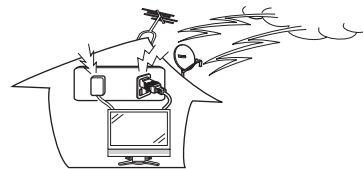
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

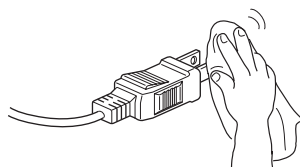
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

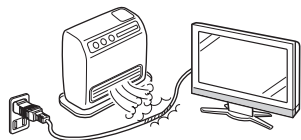
接触禁止

感電の原因となります。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

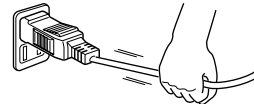
ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

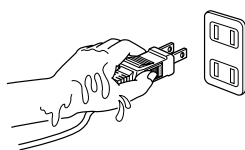
電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

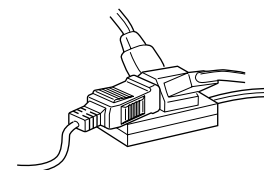
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

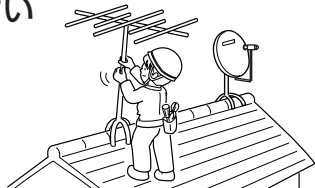
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

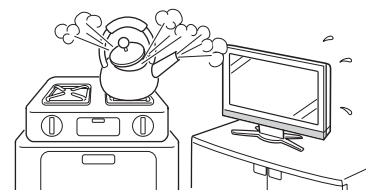
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

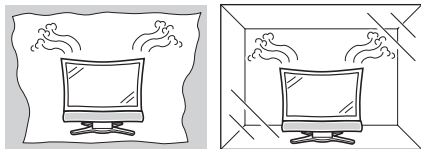
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

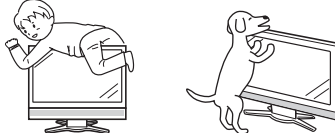
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

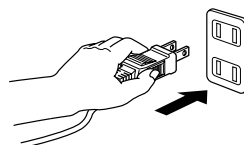
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

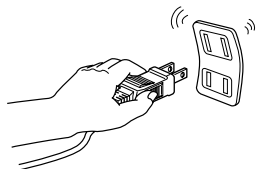
電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

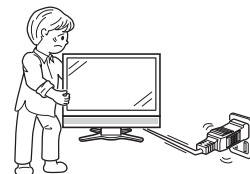
次のページに続く

⚠ 注意

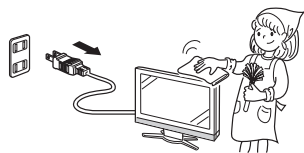
電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

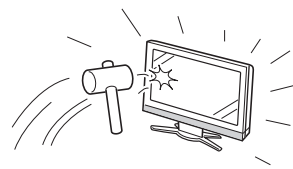
移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

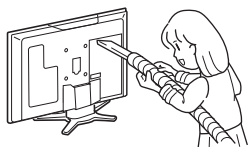
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

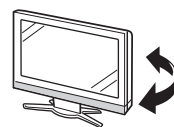
禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く 内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。
  このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

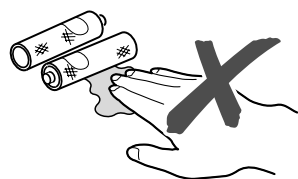
アルカリ電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注意

電池は幼児の手の届く所に置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

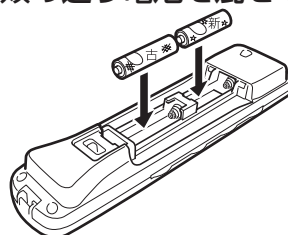
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

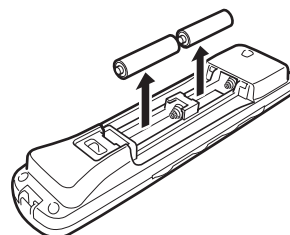
電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

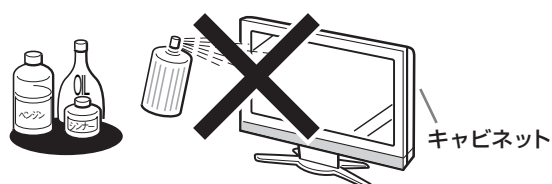
電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた：⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた：⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたしたネルなどの布をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。

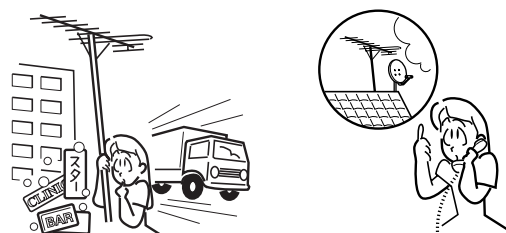
液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

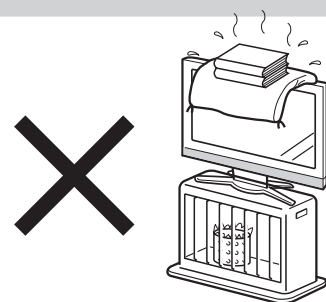
- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

AQUOSクリーニングクロス
推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア（ネット販売）でお求めください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。（▶**29〜31**ページ）
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

直射日光・熱気は避けてください

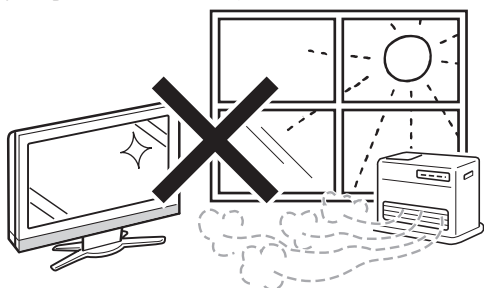
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

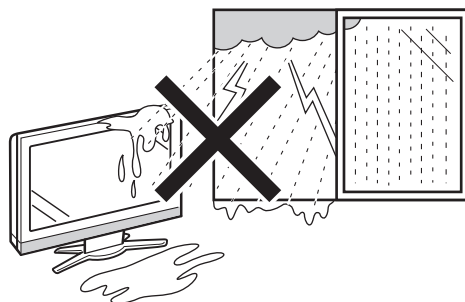
急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

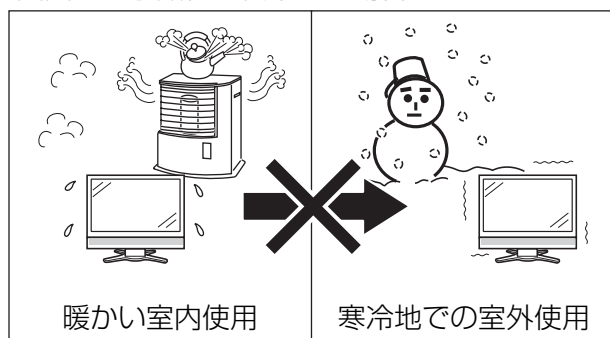
- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

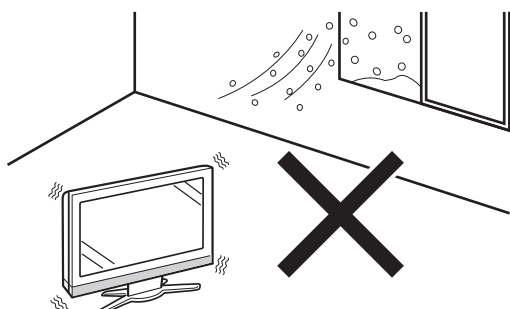
暖かい室内使用　寒冷地での室外使用

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

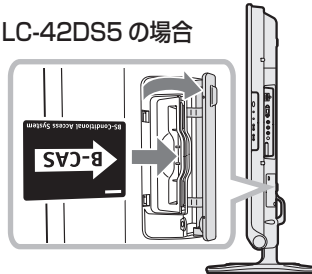
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

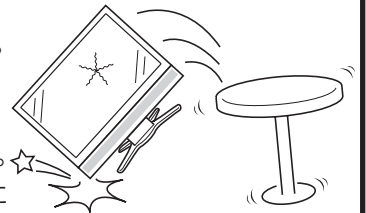
次のページに続く

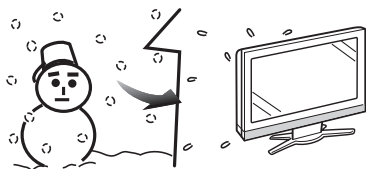
守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICチップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。

- 挿入後は必ずカバーを閉めてください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となりますのでご注意ください。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

● 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

画面が暗くなったり、チラついたときは（蛍光管について）

● 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

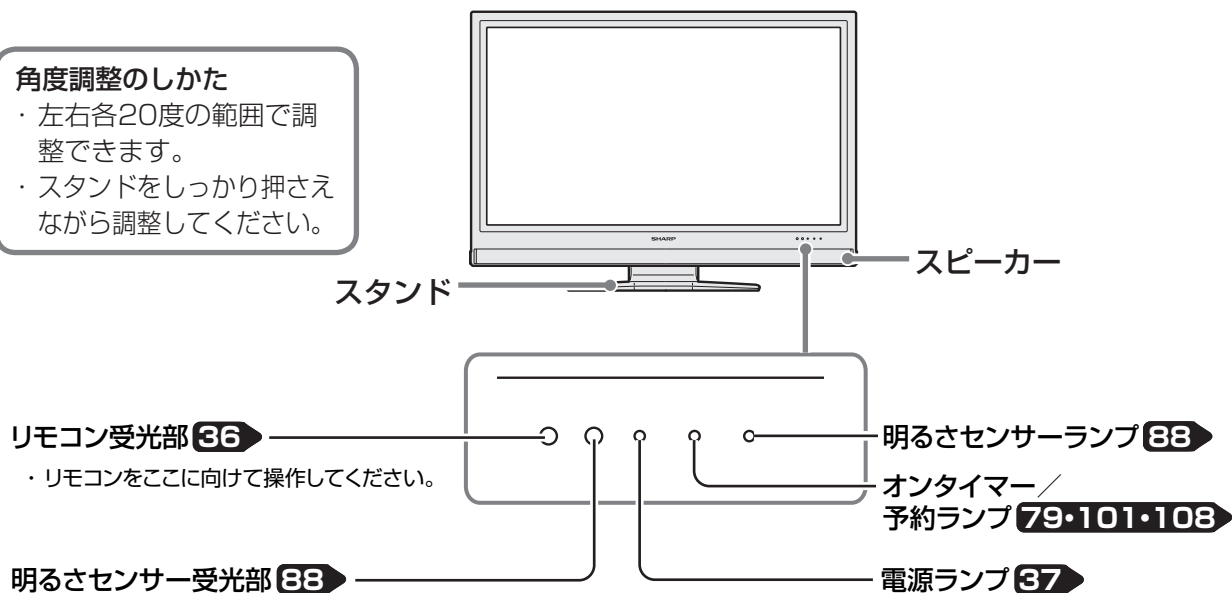
- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り替えてください。
  寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

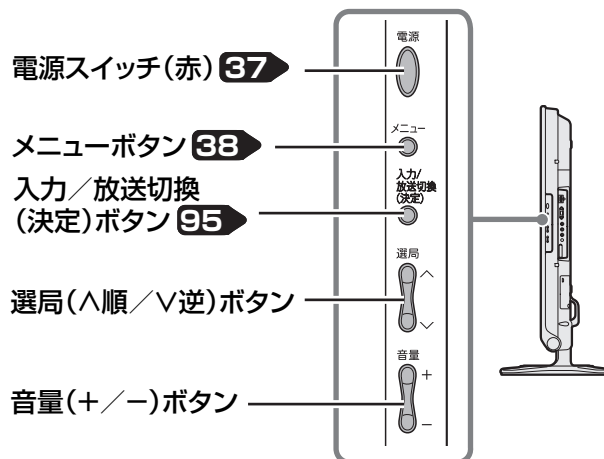
● ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体の電源スイッチをいったん「切」にし、再度電源を入れなおして動作を確認してください。

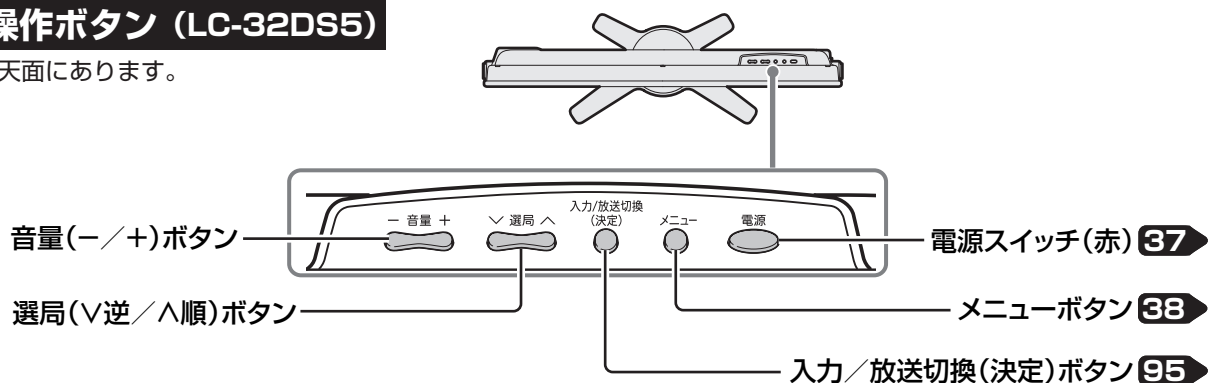
本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体

・ の中の数字は、詳しい説明を掲載しているおもなページです。

前面

操作ボタン（LC-42DS5/LC-37DS5）

右側面にあります。

操作ボタン（LC-32DS5）

天面にあります。

次のページに続く

背面

- LC-42DS5 を例に説明していますが、LC-37DS5 や LC-32DS5 も端子の配置は同じです。
- LC-32DS5 のみ B-CAS カード挿入口の位置が異なります。

電話線をつなぐ
電話回線端子 149

HDMI 対応機器をつなぐ
入力1・入力2(HDMI) 92・93・94・111・136

録画用機器をつなぐ
入力6／モニター出力(録画出力) 92・93・104・135
- 入力と出力を切り換えられる端子です。入力 6 端子設定で切り換えます。(▶105 ページ)
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。

入力4 92・93

コントロール(RS-232C)端子 144

入力7(アナログRGB) 137 パソコンをつなぐ

入力2/入力7音声入力端子 136・137

LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) 149
- デジタル放送の双方向通信用端子(LAN：ローカルエリアネットワークの略称)

i.LINK(TS)端子 120

ハイビジョン画質で録画したいとき
- モニター出力の映像は標準画質です。ハイビジョン画質をそのまま録画したいときは、i.LINK 端子に D-VHS ビデオデッキ、AV-HDD レコーダー、Blu-ray Disc レコーダーなどのハイビジョン画質録画対応機器の接続が必要です。

デジタル音声出力(光)端子 134

アンテナ入力 BS・110度CSデジタル 29〜31

アンテナ入力 地上デジタル 地上アナログ(VHF・UHF) 28〜31

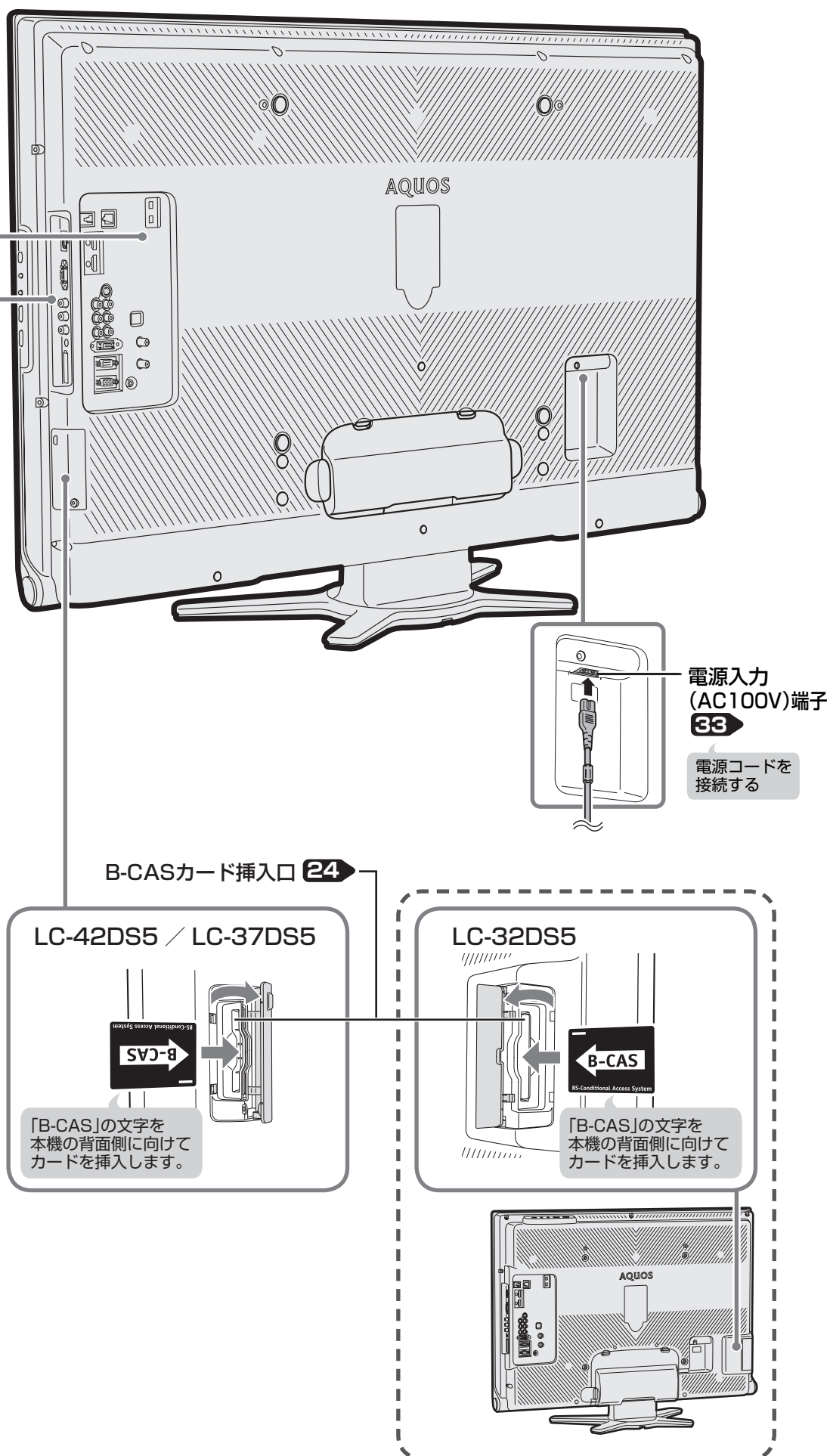
入力3(HDMI) 92・93・94・111・136

入力5 92・93
外部機器を一時的につなぐのに便利

ヘッドホン端子
- ステレオミニプラグ(φ 3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。(ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える ▶ 81 ページ)
- 入力ごとに別々の音量に設定できます。

30
ヘッドホンの音量表示

AQUOS
電源入力
(AC100V)端子
33
電源コードを
接続する
B-CASカード挿入口 24
LC-42DS5 ／ LC-37DS5
B-CAS
「B-CAS」の文字を
本機の背面側に向けて
カードを挿入します。
LC-32DS5
B-CAS
BS-Conditional Access System
「B-CAS」の文字を
本機の背面側に向けて
カードを挿入します。
AQUOS

次のページに続く

リモコンのボタン

・番組の選択手順と操作のしかたについて、詳しくは▶64ページをご覧ください。

電源を入／切する 37

CATV CATV放送を選局する 67
3桁入力 3桁入力で選局する 67

選局する 65
・各種設定の数字入力にも使用します。

音量 音量を調整する 65
消音 音を一時的に消す 65
・消音となってから30分経過すると自動的に音量0になります。この状態から音声を聞くには、音量+ボタンで音量を調整してください。

連動データ放送を見る 69・78

AVポジションを選ぶ 86

番組表 番組表を表示する 70・72
裏番組 裏番組表を表示する 71
番組情報 番組情報を見る 78

メニューを消す
操作を終了する 38
・メニューや電子番組表を消したり操作を中止したいときなどに使うと便利です。

お好み選局／登録 お好み選局／登録をする 67
映像切換 映像を切り換える 77
字幕 字幕を表示する（切り換える） 77
音声切換 音声を切り換える 76・77

画面表示 画面にチャンネル番号などを表示する 66
画面サイズ 画面サイズを選ぶ 84・138

静止 画面を静止する 83
i.LINK i.LINK操作パネルを表示する 122

放送の種類を切り換える 64
初めてCSチャンネルを選ぶときは 43

選局 順／逆で選局する 65
・地上デジタル放送は選局の順番を変更できます。（変更のしかた 66）
・工場出荷時の状態では、CATVチャンネルはスキップ設定されています。（解除のしかた 59）

入力切換 入力を切り換える 95

テレビ／データを切り換える 64

タイマーで電源を切る 156

メニューを表示する 38

カーソルボタンで選ぶ 38
決定する 38

1つ前の画面に戻る 38

カラーボタンで番組表の機能を使う 72・73
・連動データ放送画面の操作にも使用します。 78

ファミリンク 114・116～119
（ファミリンク対応の録画機器などを操作する）

リモコン番号を変更する 82
・本体とリモコンのリモコン番号は、同じ番号にしてください。

▲リモコン背面

リモコンの互換性について
・工場出荷時の設定では、本機のリモコンの数字ボタンでは本機以外のAQUOSが操作できない場合があります。設定を変更すると操作が可能になります。

フタの開けかた
両側の突起部を持ち、引き上げます。

テレビを見るための準備

ページ

テレビを見る準備をする（電源を入れるまで）

準備のながれ

● 以下の順番で、本機の準備をします。

デジタル放送の種類と特長について ▶22～23ページ
- デジタル放送についてお知りになりたい場合にご覧ください。

▼

B-CASカードを挿入する・登録する ▶24ページ
- 電源を入れる前にB-CASカードを挿入してください。

▼

本機を置く場所を決める ▶26ページ
- 設置や接続に別売品を使う場合は、「別売品について」（▶27ページ）をご覧ください。

▼

アンテナのつなぎかた ▶28～31ページ
- テレビだけをつなぐ場合
- 録画機器もつなぐ場合

▼

録画機器で再生映像を見るためのつなぎかた ▶32ページ

▼

電源コードをつないでケーブルやコードをまとめる ▶33ページ

▼

本機を固定して転倒を防ぐ ▶34～35ページ

▼

電源を入れる ▶36～37ページ
- リモコンに乾電池を入れて、本機の電源を入れます。

▼

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について ▶40ページ

デジタル放送の種類と特長について

● 本機では、従来の地上アナログ放送に加え、次の 3 種類のデジタル放送を受信できます。

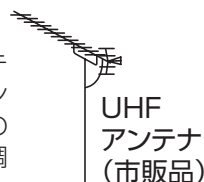
地上デジタル放送

2003年12月から東京·大阪·名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **高音質とマルチチャンネルのサラウンド放送**
- **天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**

重要

- 受信には、UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

UHF アンテナ（市販品）

地上デジタル放送の CATV 放送対応について
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）
- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス
- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ファミリンク［1］（標準）予約（▶ **115** ページ）の場合を除く。

緊急警報放送
- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

マルチビューサービス
- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。リモコンフタ内の映像切換ボタンで切り換えます。

重要

- **アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。**
- デジタル放送を受信するには、本機に B-CAS カードを入れてください（▶ **24** ページ）。
- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

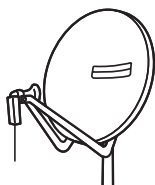
- ARIB 放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。
  ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。
- 地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

BS デジタル放送

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。一部有料放送やNHKを除き、無料で楽しめます。

- **迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質**
- **視聴者参加型の双方向通信番組**
- **2種類のデータ放送(独立データ放送・番組に連動したデータ放送)**

重要

- 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ(市販品)

110 度 CS デジタル放送

BSデジタル放送用人工衛星と同じ東経110度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「e2 by スカパー！」があります。110度CSデジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルと視聴契約する必要があります。

- **テーマ別に専門化した多数のチャンネル**
- **画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能**
- **ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能**

重要

- 受信には、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。
  従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ(市販品)

降雨対応放送（BS のみ）

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。リモコンフタ内の映像切換ボタンで元の映像に戻れます。

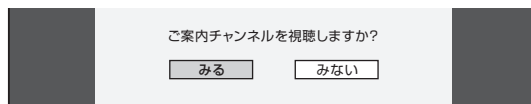
ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

110度ＣＳデジタル放送の専用サービス

ご案内チャンネルの表示

- 未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

（画面例）

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（e2 by スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（▶ **158** ページ）

（画面例）

次のページに続く

B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する・登録する

B-CAS カードを挿入する（B-CAS カードの役割について）

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送）を楽しむために、B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードは、視聴情報などが記憶されますので常に本機に入れておいてください。

重要

B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- 金属部（IC）には触れない
- 分解、加工しない

付属のB-CASカード

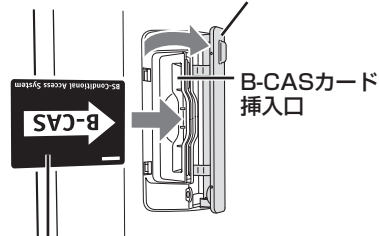
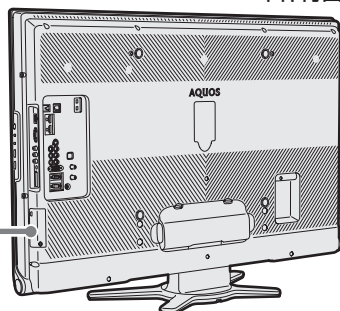
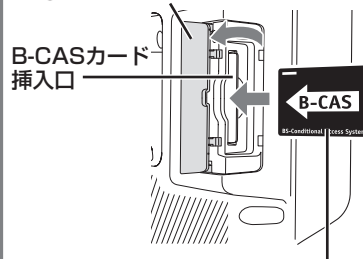
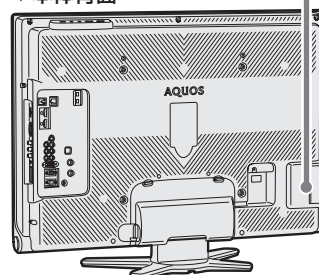
裏面

金属部（IC）

1 B-CAS カードの台紙の内容を読み、同意の上でB-CAS カードを台紙からはずす

2 本体右側面の挿入口カバーを開ける

3 B-CAS カードを正しい向きで奥までしっかり差し込み、カバーを閉める

LC-42DS5 ／ LC-37DS5

LC-32DS5

重要

- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。

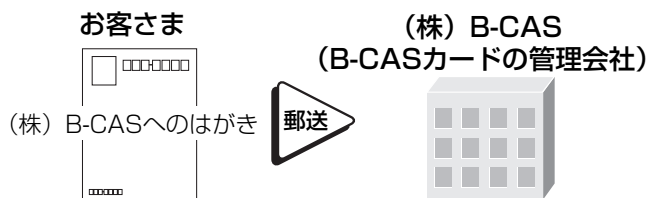
万一、B-CAS カードを抜く場合は

- 本体の電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

おしらせ

- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。（連絡先はカードに記載されています。）
- すべての接続を終えて電源を入れた後、「システム動作テスト」（▶ **152** ページ）を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

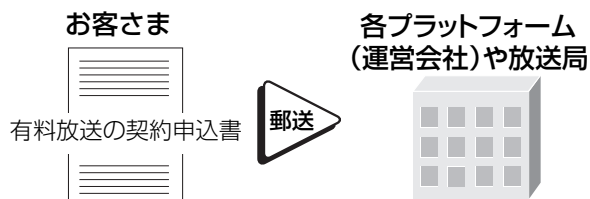
B-CAS カードを登録する

- B-CAS カードは、必ず登録してください。
- 次のいずれかの方法で B-CAS カードを登録します。（登録は無料です。）
  - B-CAS カードの台紙の登録用はがきに必要事項を記入し、郵送する

  - インターネットの次のサイトで登録する

    http://www.b-cas.co.jp

  - e2 by スカパー！、WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、各プラットフォームや放送局との個別受信契約が必要となります。

WOWOW や e2 by スカパー！などの有料放送を見るときは

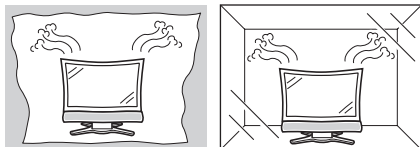
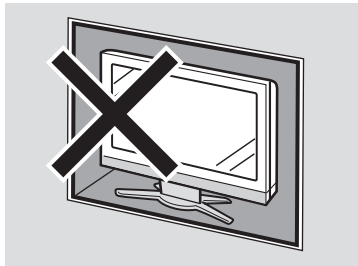
- 有料放送を視聴するには、e2 by スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送してください。（インターネットで申し込める場合もあります。）

お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

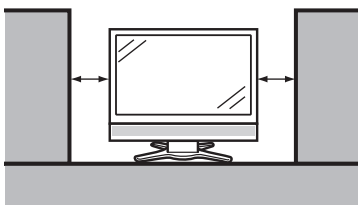
- デジタルチューナー付きレコーダーを使って有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていることをご確認ください。受信契約時に登録した B-CAS カードがレコーダーに挿入されていないと有料放送を録画することはできません。
- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

次のページに続く

本機を置く場所を決める

● 以下のような設置のしかたをしないでください。

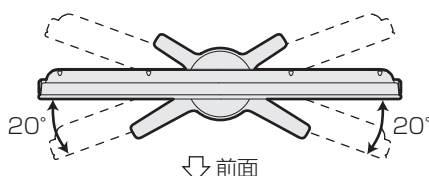
- 風通しの悪いところに置かない
- 密閉した箱に入れない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布などをかけない
- 極端に温度や湿度が高い場所や温度が低い場所には、設置しない（使用温度 0℃～ 40℃）

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどをしないでください。

● 設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 左右 10cm 以上スペースを空けてください。左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、メニューの視聴環境設定や音声調整で調整してください。

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用して固定しておいてください。
- 本機を持ち上げたり、運んだりする場合は、スピーカーネット部を強く押さないでください。

おしらせ

別売品を使って設置することもできます。

- 別売の壁掛け金具に取り付けてご使用になれます。（▶ **27** ページ）
  壁に掛けてお使いになる場合は、スタンドをはずし（▶ **176・177** ページ）、壁掛け金具を使って設置してください。（▶ **178** ページ）

角度調整のしかた

スタンドを片方の手でしっかりと押さえながら、本体を回転させます。左右各 20 度の範囲内で調整できます。

別売品について

● 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

LC-42DS5用別売品（2008年5月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-52AG6
2	壁寄せスタンド	AN-52WS2
3	壁寄せスタンド （壁寄せスタンドオプションAN-52RS1が必要です。）	AN-52WS1
	壁寄せスタンドオプション	AN-52RS1

LC-42DS5の金具取付ピッチは400mmです。

LC-37DS5／LC-32DS5用別売品（2008年5月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-37AG4
2	壁掛け金具 （垂直挿しアタッチメントAN-37P30が必要です。）	AN-37AG2※
	垂直挿しアタッチメント	AN-37P30
3	システムラック	AN-28SR1
4	システムラック	TV120L
5	システムラック	RT150SD

LC-37DS5およびLC-32DS5の金具取付ピッチは300mmです。

※ AN-37AG2 をお持ちでない場合は、AN-37AG4 のご使用をおすすめします。

おしらせ

・ 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

アンテナのつなぎかた（テレビだけをつなぐ場合）

● 録画機器もつなぐ場合は、「アンテナのつなぎかた（録画機器もつなぐ場合）」（▶ **30･31** ページ）をご覧ください。

地上デジタル・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

● 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。
● BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送も見る場合は、「BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナとつなぐ」（▶ **29** ページ）をご覧ください。
● 一部、追加の部品が必要になる場合があります。販売店にご相談ください。

VHFアンテナ　UHFアンテナ

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

壁のアンテナ端子

VHF/UHF
または
どちらか一方

VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）
（差し込みタイプ）

端子部の突き出たねじ込み式の
使用をおすすめします。

このタイプの端子は使用しないで金属シールドタイプの周波数帯域の対応したものに交換することをおすすめします。

VHF
またはUHF

平行フィーダー線（市販品）
VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）
アンテナ整合器（市販品）

VHFとUHF

U/V混合器（市販品）
平行フィーダー線（市販品）
VHF／UHF用アンテナケーブル（付属品）

VHF/UHF
または
どちらか一方

同軸ケーブル（市販品）

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
（VHF･UHF）へ

ケーブルテレビを見るときは

● 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。
● CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（▶ **48** ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。
● 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式には対応していません。

▼本体背面

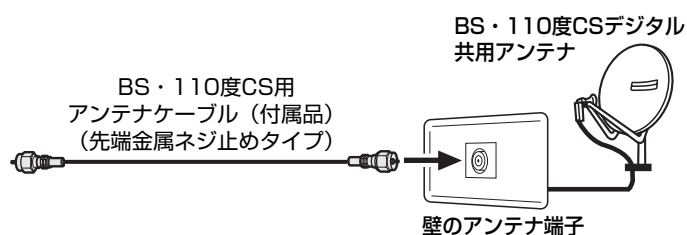
録画機器をつなぐ場合のアンテナのつなぎかたは…
▶次ページをご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ

- ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。
- かんたん初期設定では、BS・CSアンテナの設定を選ぶ項目で「する」を選択します。（▶ **41** ページの手順 **6**）

おしらせ

- **接続しなおすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（▶ 33 ページ）** BS・110度CSデジタルアンテナ入力端子は、BS・110度CSデジタルアンテナに取り付けられたBS・110度CSコンバーターに＋15V／＋11Vの電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。
- ブースター、市販のアンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
- 従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

BS・110度CS共用アンテナを個人で設置しているとき
（BS・110度CSとVHF/UHFが別の端子のとき）

マンションなどの共聴システムで受信するとき
（BS・110度CSデジタルとVHF/UHFが混合されているとき）

BS/UV分波器（市販品）は金属シールドタイプで110度CS帯域（2150MHz）まで対応したものをご使用ください。

次のページに続く

アンテナのつなぎかた（録画機器もつなぐ場合）

- 付属のアンテナケーブル以外に、ケーブルが必要なときは、できるだけ太くて短いケーブルをお使いください。ケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

デジタルチューナー内蔵の録画機器の場合

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、次のページをご覧ください。

デジタルチューナーを内蔵していない録画機器の場合

▶本体背面

アンテナ入力
地上デジタル
地上アナログ
(VHF・UHF)

アンテナ入力
BS・110度CSデジタル

▶アンテナ端子部

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

VHF/UHF用
アンテナケーブル
(市販品)

BS・110度CS用
アンテナケーブル
(付属品)
(先端金属ネジ止めタイプ)

▶録画機器

電源

VHF/UHF
アンテナ
入力　出力

分配器
(市販品)

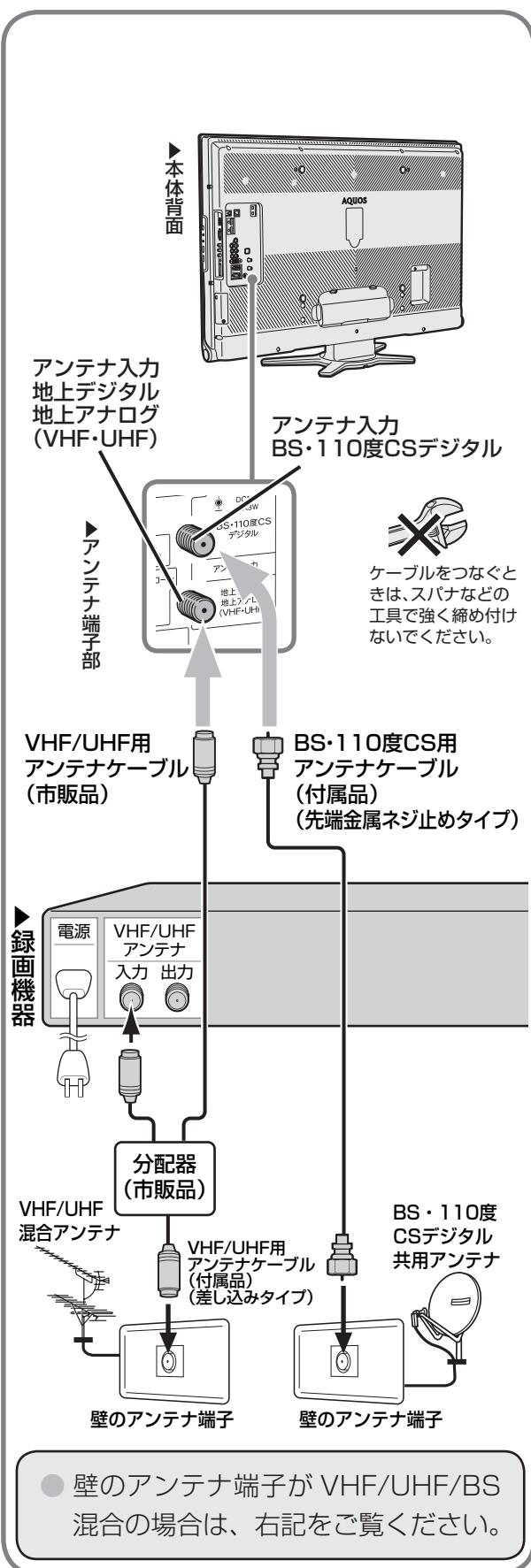
VHF/UHF
混合アンテナ

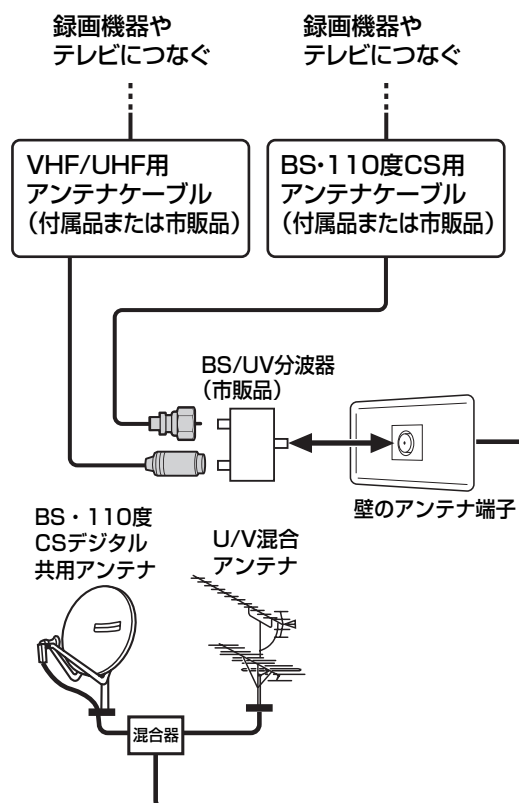
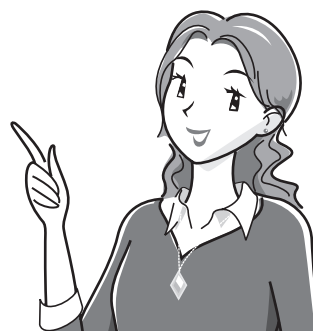
VHF/UHF用
アンテナケーブル
(付属品)
(差し込みタイプ)

BS・110度
CSデジタル
共用アンテナ

壁のアンテナ端子

壁のアンテナ端子

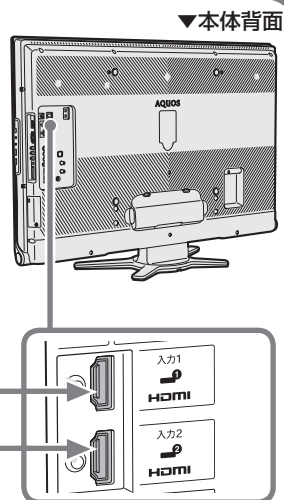
● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、右記をご覧ください。

壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合

● 壁のアンテナ端子が VHF/UHF/BS 混合の場合は、BS/UV 分波器(市販品)を使って、VHF/UHF 用と BS・110 度 CS 用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

BS/UV分波器(市販品)は
金属シールドタイプで
110度CS帯域(2150MHz)まで
対応したものを
ご使用ください。

録画機器で再生映像を見るためのつなぎかた

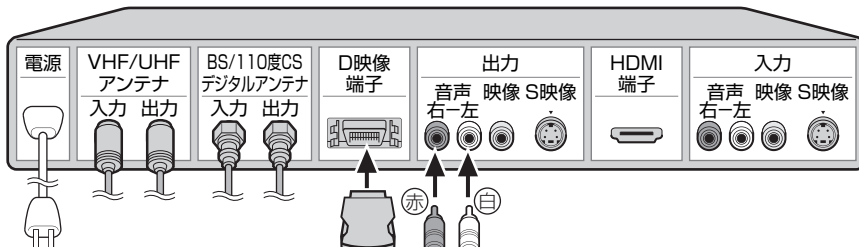
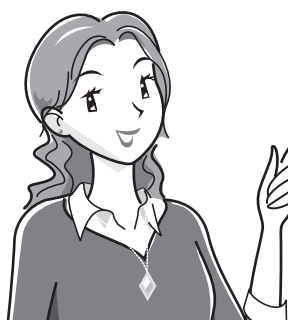
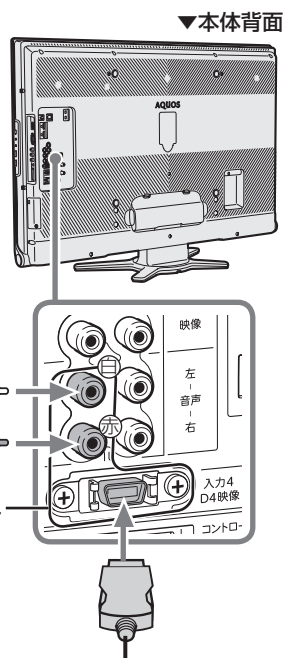
HDMI 端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

AQUOS レコーダーと接続している場合は

・「ファミリンク設定」をします。

▶ **112 ～ 113** ページ

D 映像端子のある録画機器につなぐ場合の接続例

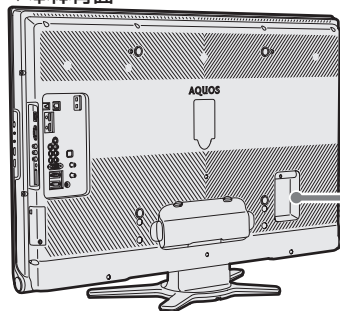
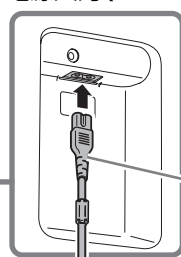
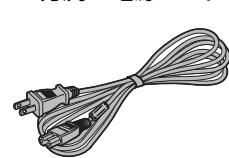
▼録画機器（地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子の例）

▼本体背面

電源
VHF/UHF アンテナ
入力 出力
BS/110度CS デジタルアンテナ
入力 出力
D映像 端子
出力
音声 右ー左 映像 S映像
HDMI 端子
入力
音声 右ー左 映像 S映像
赤
白
映像
左
音声
右
入力4 D4映像
入力4
音声ケーブル（市販品）
D映像ケーブル（市販品）

録画機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合は
S 映像端子または映像端子につなぎます。
（▶ **92 ～ 93** ページ）

電源コードをつないで ケーブルやコードをまとめる

電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源スイッチ(赤)を「入」にしないでください。

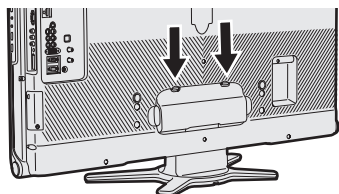
● 付属の電源コードの本体側プラグを、本体背面右側の「電源入力（AC100V）端子」に接続し、コンセント側プラグをご家庭のコンセントに接続します。

・本機は主電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

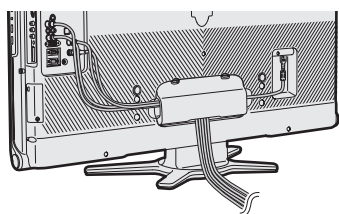
重要

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。
（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

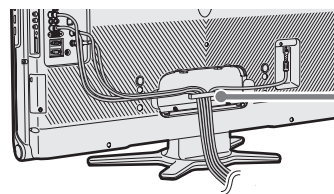
つないだケーブルやコードをまとめる

● ケーブル類は、ケーブルクランプですっきりまとめることができます。

1 背面のカバーをはずす
- ツメ（2 箇所）を押さえてはずします。

2 ケーブルをまとめる

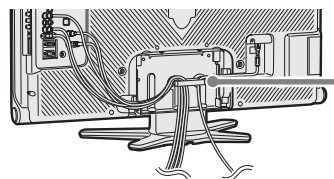
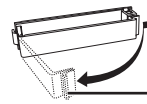
3 開口部からケーブルが出るように、カバーを取り付ける

4 端子からケーブルが抜けていないか確認する

ケーブルのまとめかた

LC-42DS5

LC-37DS5 ／ LC-32DS5
説明のイラストはLC-32DS5ですが、LC-37DS5もまとめかたは同じです。

ケーブルクランプの開きかた

次のページに続く

はじめに / 準備 / 番組を見る / レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ / ファミリンクで録画・再生 / 本機の機能の活用 / 故障かな・仕様・寸法図など / English Guide

本機を固定して転倒を防ぐ

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

● 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

壁や柱に固定する

付属の転倒防止用部品

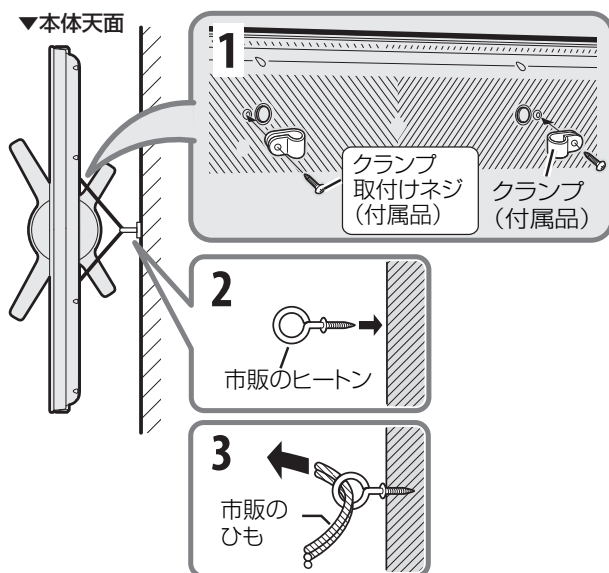
クランプ×2

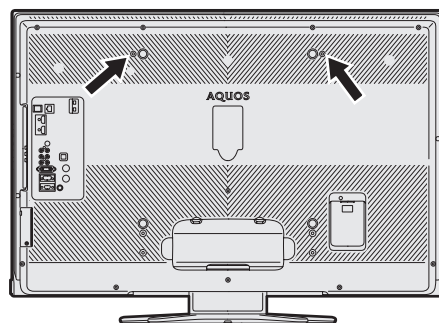
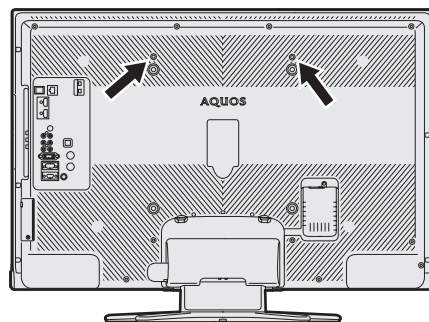
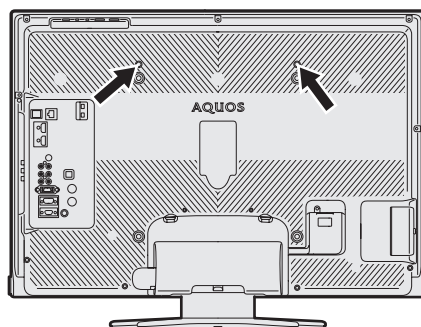
クランプ
取付けネジ×2

1 付属の転倒防止用クランプ（2 個）を、付属のクランプ取付けネジで本機に取り付ける

2 市販の金具（ヒートン）を壁または柱に確実に取り付ける

- ひもを固定する金具は、ひもがはずれない形状のヒートンをご使用ください。
- 取り付けた金具が容易にはずれないか確認してください。

3 本機に取り付けたクランプと、壁または柱に取り付けた金具（ヒートン）の穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

転倒防止クランプを取り付ける位置

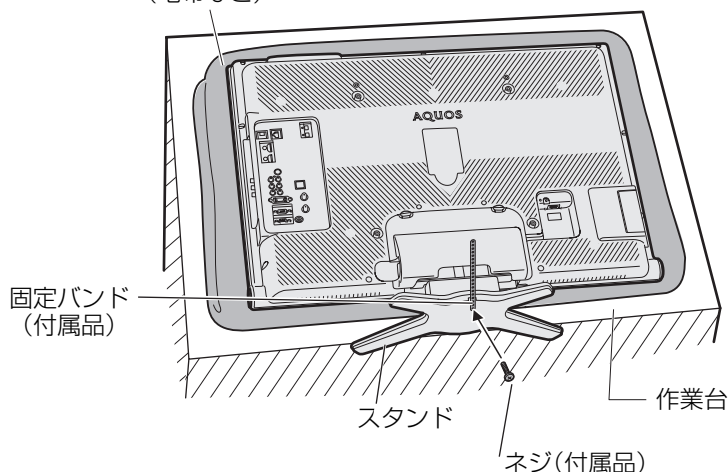
LC-42DS5

LC-37DS5

LC-32DS5

テレビ台などに固定する

※説明のイラストは LC-32DS5 ですが、LC-42DS5、LC-37DS5 も取り付けかたは同じです。

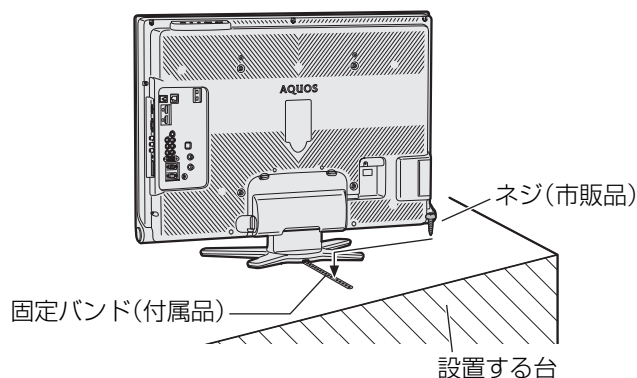
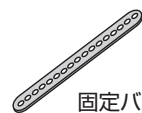
重要

- 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。（▶ **34** ページ）

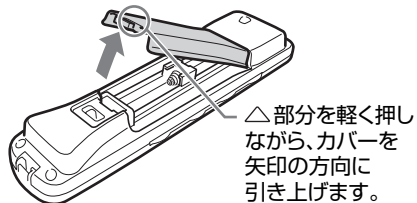
1 作業をする平らな台の上に厚手の柔らかい布などを敷き、その上に画面を下にしたうつ伏せの状態で本機を置く

2 スタンド底面に、付属の転倒防止用の固定バンドを、付属のネジで取り付ける

3 本機を起こし、設置する台などの上に位置決めする

4 市販のネジを使い、固定バンドの穴に上からネジを取り付けて固定する

- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

電源を入れる

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

2 付属の単 3 形乾電池（アルカリ）を入れ、電池カバーを元どおりに閉める

リモコンで操作できる範囲

リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

重要

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号（▶ **82** ページ）を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。

乾電池を交換するときは

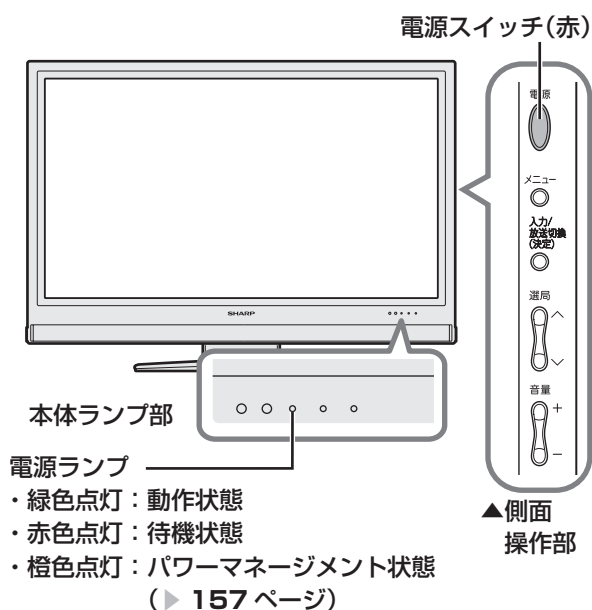
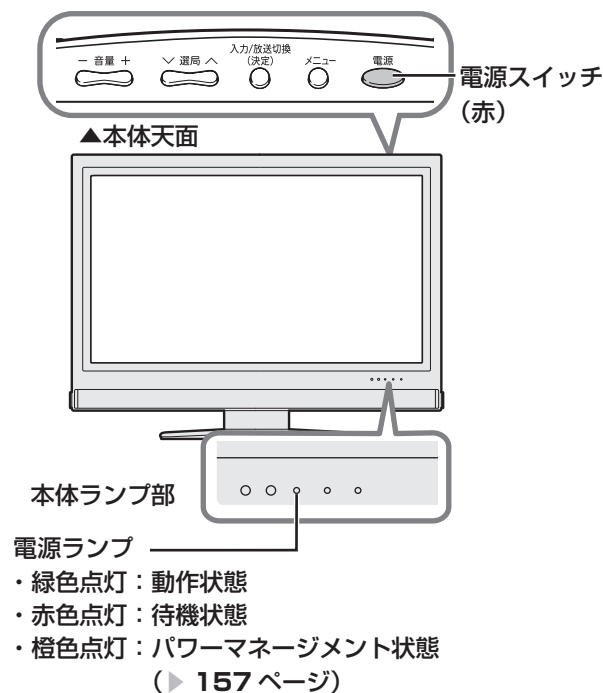
- 乾電池は単 3 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

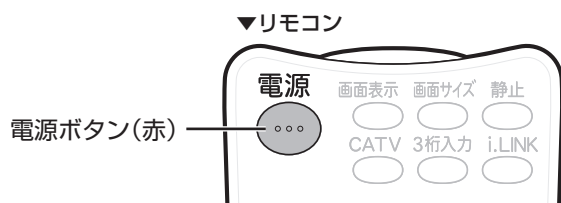
電源を入れる

● あらかじめケーブル類を接続してください。

1 本体の電源スイッチ（赤）を押し、電源を「入」にする

・電源ランプが緑色に点灯します。

LC-42DS5／LC-37DS5

LC-32DS5

2 リモコンの電源ボタン(赤)で電源を入／切する

おしらせ

・本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
・本機の電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）
・電源コードを接続している場合は、本体の電源を「切」にしても微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について（▶ 80 ページ）

・リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。（この機能を使用すると待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。）

録画中の電源（切）について

・デジタル固定（▶ 106 ページ）や録画予約（▶ 108 ページ）を設定し、本機のモニター出力（録画出力）からデジタル放送を出力してビデオデッキなどで録画する場合、本体の電源スイッチで電源を切らないでリモコンの電源ボタンで電源を切る（待機状態にする）ようにしてください。

本機の機能と操作のしかた（メニュー操作）

- 本機をお使いになるときに、設定を行うための画面を呼び出します。この設定を行う画面のことを「メニュー」と呼びます。
- メニューからさまざまな設定が行えます。（▶39ページ）
- メニューの操作は通常、リモコンで行います。（本体のボタンでも操作できます。）

メニューの基本操作

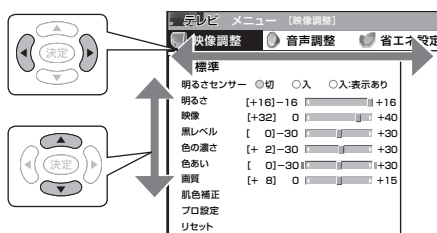
1. メニュー を押してメニューを表示する

メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。

▼メニュー画面

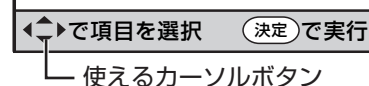
2. 項目を選ぶ

①設定する項目の分野を ◀▶ で選ぶ

②設定する項目を ▲▼ で選ぶ

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

③ガイド表示に「決定」が表示されているときは
決定を押す
ガイド表示に「決定」が表示されていないときは
手順 3 に進む

ガイド表示の例（画面下部に表示されます）

◀▲▼▶で項目を選択　決定で実行

└ 使えるカーソルボタン

- 表示中の画面で使用できるボタンが案内されています。案内は、画面によって異なります。

3. ガイド表示を参考に、操作を進める

操作方法は、機能や項目によって異なります。使用するボタンについては、ガイド表示を参考にしてください。

本体のボタンでも操作できます。

LC-42DS5/LC-37DS5 側面のボタン	LC-32DS5 天面のボタン	リモコンのボタン
音量 + −	− 音量 +	◀ ▶
選局 ∧ ∨	∨ 選局 ∧	▲ ▼
入力/放送切換（決定）	入力/放送切換（決定）	決定
メニュー	メニュー	メニュー

- メニューを表示しているときは、上図のように本体のボタンがカーソルボタンと決定ボタンとして機能します。

おしらせ

- メニュー画面や電子番組表などの色や文字のサイズを変更することができます。（画面表示色設定、画面文字サイズ設定▶81ページ）

メニュー画面を英語で表示するには ▶187ページ
To display menu screens in English ▶Page 187

メニュー項目の一覧

● メニューボタンを押すと、メニュー項目が表示されます。
カーソルボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押してください。

● ここでは、本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

▼メニュー画面

テレビ　メニュー　[映像調整]

映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

映像調整

映像をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
明るさセンサー／明るさ／映像／黒レベル／色の濃さ／色あい／画質／肌色補正	▶87
プロ設定	▶88

音声調整

音声をお好みの状態に調整する項目です。

項目	ページ
高音／低音／バランス	▶89
サラウンド	▶89

省エネ設定

電力資源を有効に使用するための設定項目です。

項目	ページ
無信号オフ※2	▶156
パワーマネージメント※3	▶157
無操作オフ	▶157
オフタイマー	▶156

本体設定

使用環境に合わせた設置調整に関する機能の項目です。

項目	ページ
かんたん初期設定	▶40·42
地域設定※1	▶46
チャンネル設定※1	▶48·51
アンテナ設定※1	▶44
視聴環境設定(音声)	▶90
入力スキップ設定	▶96
入力解像度※3	▶140
自動同期調整※3	▶139
入力表示選択※4	▶96
位置調整※2	▶90
画面調整※3	▶139
オートワイド※2	▶85
映像反転	▶80
クイック起動設定	▶80
Language(言語設定)	▶187
時計設定	▶79·80
リモコン番号設定	▶82
個人情報初期化	▶167

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

項目	ページ
ファミリンク設定	▶112～113·119
入力選択※5	▶96
PC音声選択	▶140
入力6端子設定	▶105·135
ヘッドホン設定	▶81
デジタル固定※1	▶106
字幕表示設定※1	▶77
番組名表示設定※1	▶78
ゲーム時間表示設定※4	▶133
映像オフ	▶80
オンタイマー設定	▶79
チャイルドロック	▶143
画面表示色設定	▶81
画面文字サイズ設定	▶81

デジタル設定

デジタル放送を視聴するための設定項目です。

項目	ページ
デジタル音声設定※1	▶134
ダウンロード設定※1	▶166
番組表設定※1	▶74～75
通信設定※1	▶150·151·153
i.LINK設定	▶121
暗証番号設定※1	▶142
視聴年齢制限設定※1	▶143
双方向サービス設定※1	▶152
システム動作テスト※1	▶152

お知らせ

本機が受信した情報を確認するための項目です。

項目	ページ
受信メッセージ一覧	▶158
ボード	▶158
受信機レポート	▶158
B-CASカード番号表示	▶158

おしらせ

※１　テレビ視聴時のみ表示されます。
※２　入力７選択時は表示されません。
※３　入力７選択時のみ表示されます。
※４　入力１～７選択時のみ表示されます。
※５　入力４～６選択時のみ表示されます。

- ⃠マークがつき、灰色で表示されるメニュー項目は、選択できません。
- メニュー項目の詳細は「メニュー項目の一覧」(▶168～171ページ)をご覧ください。
- メニューの表示内容は変更される場合があります。

放送を受信するために最初に必要な設定（かんたん初期設定）について

● お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。「かんたん初期設定」の画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できる地上デジタル・地上アナログ放送のチャンネルが設定されます。

かんたん初期設定を中断した場合は…

- 初めて電源を入れて「かんたん初期設定」を行っている途中で電源が切れた場合は、次に電源を入れると再度「かんたん初期設定」画面になります。
- 「かんたん初期設定」をリモコンの終了ボタンを押して終了した場合は、次に電源を入れても「かんたん初期設定」画面が表示されません。メニューから選んで「かんたん初期設定」をやりなおしてください。（▶42ページ）

1 メッセージを確認して決定する

- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。電源を切った場合は、再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。
- B-CAS カードが正しく挿入されていないときは、「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されます。
  電源を切り、24 ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

◆地域を設定する

2 「お住まいの地域」を選ぶ

決定 **決定する**

地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

3 「お住まいの地域」を選ぶ

決定 **決定する**

◆郵便番号を入力する

4 1 ～ 10/0 郵便番号を入力する

決定 **決定する**

- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。

おしらせ

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

◆チャンネルを設定する

5 「する」を選ぶ

決定 **決定する**

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。

▼

- 自動的に地上デジタル放送・地上アナログ放送のチャンネルが登録されます。

1 ～ 12 は、リモコンの**数字ボタン（チャンネルボタン）**に対応しています。

- 次の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

おしらせ

チャンネル設定の途中で「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。（▶ **28** ～ **31** ページ）電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。
  なお、地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要です。
- **まだ、地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

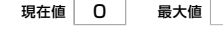
- **地上アナログ放送を受信する場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。（▶ **28** ～ **31** ページ）電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 **6** へ進みます。

◆ BS･CS アンテナを設定する

6 「する」または「しない」を選ぶ

決定 **決定する**

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、手順 **8** に進みます。

- 「する」を選んだときは、次の画面が表示されます。

- 次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選び決定ボタンを押してください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って、BS・110 度 CS 用アンテナケーブルの接続を確認してください。（▶ **29** ～ **31** ページ）
  電源を入れなおすと手順 **1** の画面が表示されます。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは次の画面が表示されます。

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、手順**8**の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは ▶ **44** ～ **45** ページ

7 決定 受信状態を確認して決定する

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。

受信強度　BS−15
現在値 95　最大値 95
受信状態:良好です。【A】
次へ

- 「受信状態：良好です【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態:良好です【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	本体の電源スイッチでいったん電源を切りアンテナ線を確認してください。（▶ **29 ～ 31** ページ）
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、BS・110 度 CS デジタル共用アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。（▶ **23・29 ～ 31** ページ）

8 設定された内容を確認する

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
BS/CSアンテナ設定
完了確認

かんたん初期設定は、すべて終了しました。
（詳しい操作方法は、付属の「かんたんガイド」、
または「取扱説明書」をご覧ください。）

【設定内容】
B-CASカード　:認識できました
地域設定　:○○
郵便番号　:〒○○○−○○○○
地上デジタル　:受信可能
地上アナログ　:受信可能
BS/CSアンテナ電源　:オート

完了　再設定

設定内容が表示されますので確認してください。

9 間違いがなければ「完了」を選ぶ

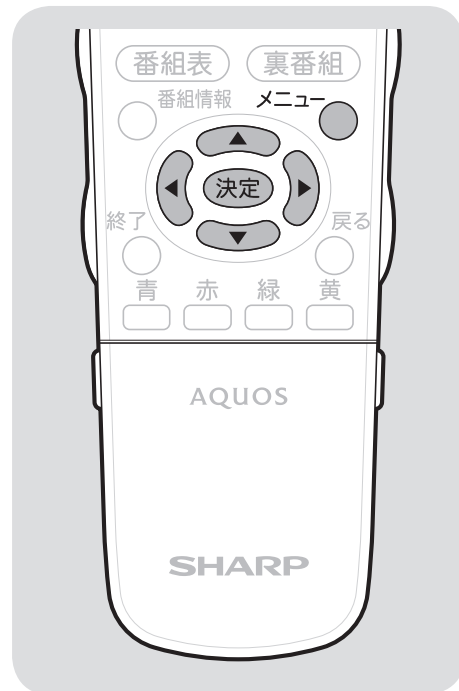
 決定する

- これで設定は完了です。

おしらせ

- デジタル放送の双方向番組を利用する場合は、双方向通信のための接続と設定が必要です。（▶ **148 ～ 154** ページ）
- B-CAS カードの挿入や電話回線の接続が正しく行われているかをテストできます。（「システム動作テスト」▶ **152** ページ）

映りかたを確かめましょう。
▶60ページをご覧ください。

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「本体設定」－「かんたん初期設定」を選ぶ

3 決定 決定する

- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（▶ **40** ページ）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

● 次の設定を行ってください。

デジタル放送用アンテナの設定をする	・デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。（▶ **44・45** ページ）
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）	・デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。（▶ **46** ページ）
地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	・受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。（▶ **48** ページ）
デジタル放送のチャンネルの個別設定	・デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます。（▶ **49** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは	・地上アナログ放送（従来のVHF・UHF放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。 ・受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。（▶ **51** ページ）
地上アナログ放送のチャンネルの個別設定	・地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。（▶ **58** ページ）
CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定	・CATVチャンネルのスキップを解除します。（▶ **59** ページ）

CSチャンネルのネットワーク情報を取得する
（110度CSデジタル放送を初めて選局するとき）

● CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。

押すボタン

1 CS **CSデジタル放送を選んで、約5秒待つ**

2 1 **1チャンネルを選んで、約5秒待つ**

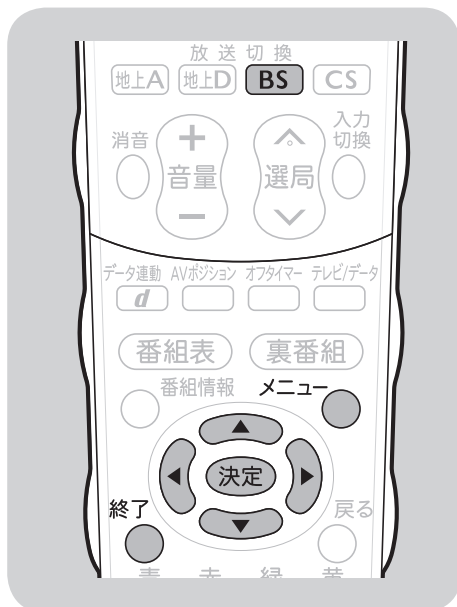
3 番組表 **選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する**

おしらせ

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

・数字ボタン（チャンネルボタン）1 または 2 を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約5秒待ちます。（1 または 2 を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約5秒待ってください。そのまま待つことでCSネットワーク情報を取得することができます。）

デジタル放送用アンテナの設定をする

● デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（▶ **40・42** ページ）を行ってください。）

BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

（例） BSデジタル放送のアンテナ設定をする

1 押すボタン BS

BS デジタル放送を選ぶ

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定は行えます。

2 メニュー

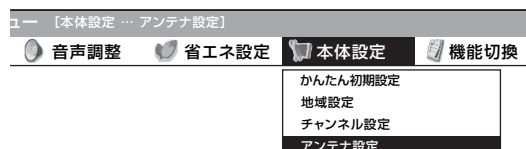
メニューを表示する

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

3

「本体設定」－「アンテナ設定」を選ぶ

決定する

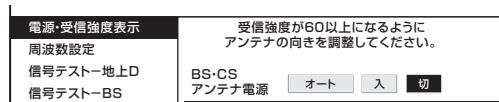
4

「電源・受信強度表示」を選ぶ

決定する

◆アンテナに電源を供給するための設定

5

「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

電源･受信強度表示	受信強度が60以上になるように アンテナの向きを調整してください。
周波数設定	
信号テスト−地上D	BS･CS アンテナ電源　オート　入　切
信号テスト−BS	

「オート」	本機の電源が「入」のとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を「切」にしたときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
「入」	本機の電源が「入」のとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を「切」にしたときも、常にアンテナ電源は「入」になります。「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。
「切」	アンテナ電源が常に「切」になります。 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。

重要

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

おしらせ

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS･CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

◆受信強度の調整

6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。(アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。)

7 決定 決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 手順 **6** で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、信号が強すぎる、または不足しているなどの場合で、処置が必要です。

「受信状態:良好です【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	本体の電源スイッチでいったん電源を切りアンテナ線を確認してください。(▶ **29 〜 31** ページ)
受信できません。【E】	本体の電源スイッチでいったん電源を切り、BS・110 度 CS デジタル共用アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。(▶ **23・29 〜 31** ページ)

- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。
  (表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。)
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

信号テストをするときは

(例) BSデジタル放送の信号テストをする

1 前ページの手順 **4** で「信号テストー BS」を選ぶ

決定 決定する

2 確認したい項目を選ぶ

決定 決定する

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」です。(2008年5月現在)

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。

3 「終了」を選ぶ

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の信号テストについて

- 手順 **1** で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

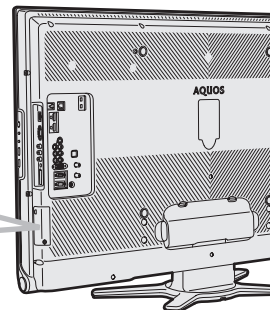
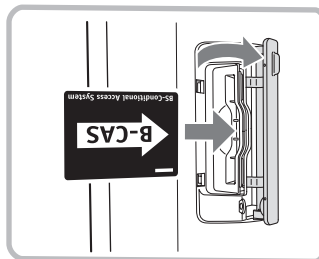
- 手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  (例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます)

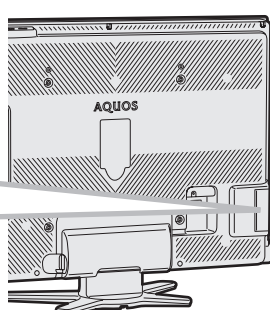
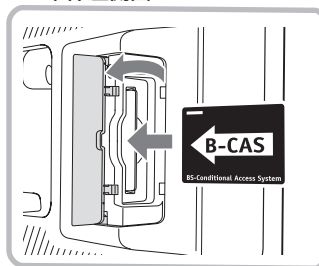
お住まいの地域で放送されている地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

重要

・B-CAS カードは正しい向きに挿入してありますか。正しい向きに入っていないとデジタル放送が受信できません。（▶ **24** ページ）

LC-42DS5 ／ LC-37DS5

▼本体右側面

LC-32DS5

▼本体左側面

地域選択／郵便番号設定

- 地上デジタル放送の地域情報を受信するために、地域設定をお住まいの地域に設定します。

  チャンネル設定（▶ 48 ページ）の前に、必ず地域設定をしてください。
- お客さまがお住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。

押すボタン

1 メニュー **メニューを表示する**

・メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

2 **「本体設定」－「地域設定」を選ぶ**

 決定する

◆地域選択

3 「地域選択」を選ぶ

決定 決定する

おしらせ

- 「地域選択」は、工場出荷時は「関東」－「東京」に設定されています。
- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。

4 お住まいの地域を選ぶ

 決定する

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

5 お住まいの都道府県または地域を選ぶ

 決定する

地域選択
郵便番号設定

お住まいの地域を設定してください。

福岡	佐賀
長崎	熊本
大分	宮崎
鹿児島	鹿児島 島部
沖縄	

◆郵便番号設定

6 「本体設定」－「地域設定」を選ぶ

決定 決定する

7 「郵便番号設定」を選ぶ

8 1 ～ 10/0 郵便番号を入力する

決定 決定する

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で入力しなおします。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、10/0を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

● 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。
チャンネル設定の前に、必ず地域設定（▶ 46 ページ）をしてください。

押すボタン

1 地上D　地上デジタル放送を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「地上デジタル」を選ぶ

決定　決定する

5 「地上デジタルー自動」を選ぶ

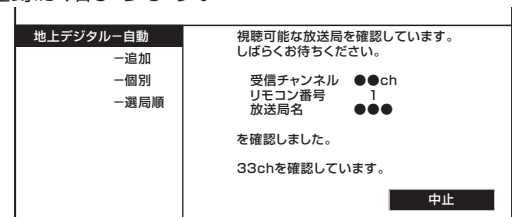
決定　決定する

6 「する」を選ぶ

決定　決定する

7 サーチ範囲を選ぶ画面で「UHF」または「全チャンネル」を選ぶ

決定　決定する

- 通常は「UHF」を選びます。
- CATV パススルーの場合は「全チャンネル」を選びます。
- 自動登録が始まります。

- 自動登録が終了すると、登録終了の画面が表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

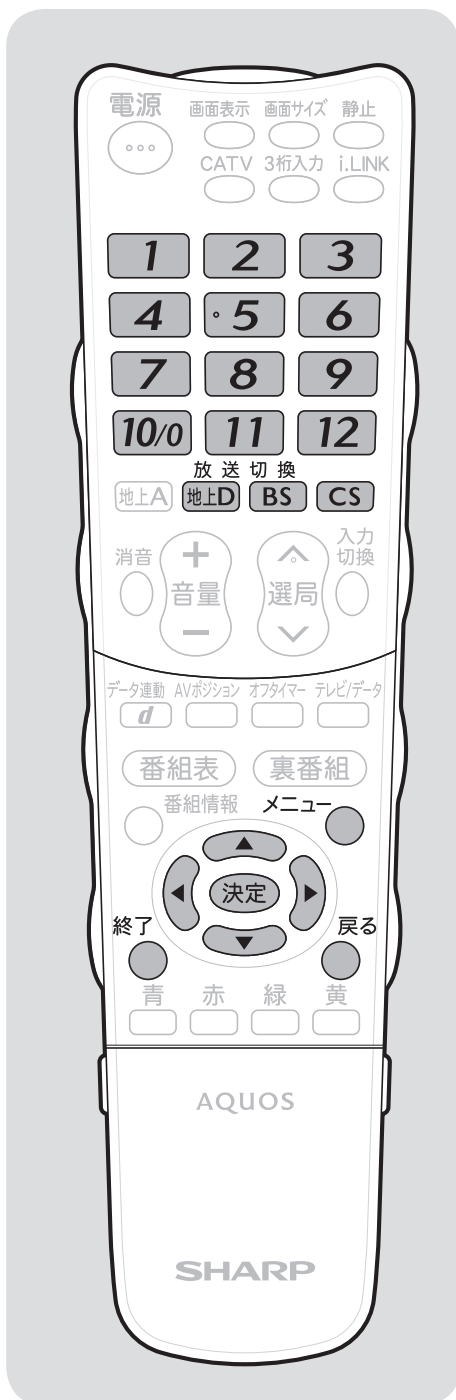
- 「地上デジタルー自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、手順 **5** で「地上デジタルー追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

おしらせ

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド [MID] 帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

● 登録したデジタル放送のチャンネルは、つぎの設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番 (地上デジタル放送のみ)	受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。地上デジタル放送のチャンネルをスキップ設定したときは、番組表や裏番組表にスキップ設定したチャンネルを表示するかどうかを設定できます。

(例)地上デジタル放送の設定内容を変更する

1 地上D / BS / CS　**デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー　**メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 **「地上デジタル」「BS デジタル」「CS デジタル」のいずれかを選ぶ**

決定　**決定する**

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **5** に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、次ページの手順 **6** に進みます。

次のページに続く

5 「地上デジタル−個別」を選ぶ

 決定する

地上デジタル−自動	放送局	3桁	スキップ
−追加	テレビ ❶ ●●●●●	051	
−個別	テレビ ❷ ●●●●●	061	
−選局順	テレビ ❸ ●●●●●	121	
	テレビ ❹ ●●●●●	041	
	テレビ ❺ ●●●●●	021	

以上のチャンネルが受信できます。
設定を変更したいチャンネルを
選択して決定ボタンを押してください。

6 変更したいチャンネルを選ぶ

 決定する

7 変更したい項目を選ぶ

 決定する

（例）地上デジタルの枝番を変更する場合

地上デジタル−自動	放送局	3桁	スキップ
−追加	テレビ ❶ ●●●●●	051-1	
−個別	テレビ ❷ ●●●●●	051-2	
−選局順	テレビ ❸ ●●●●●	121	
	テレビ ❹ ●●●●●	041	
	テレビ ❺ ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

8 1 〜 12

画面の指示に従い、入力欄に数字を入力して「確認」を選ぶか、「する」「しない」を選ぶ

- 枝番を入力する場合は、 1 〜 9 を押します。

 決定する

- 数字ボタンや枝番が重複している場合は、「数字ボタン（枝番の場合は「枝番」）が重複しています。置き換えますか？」の確認画面が表示されます。

  数字ボタンを置き換える場合
  「確認」を選び決定ボタンを押します。

  置き換えずに別の数字にする場合
  画面の「戻る」を選ぶかリモコンの戻るボタンを押してから、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

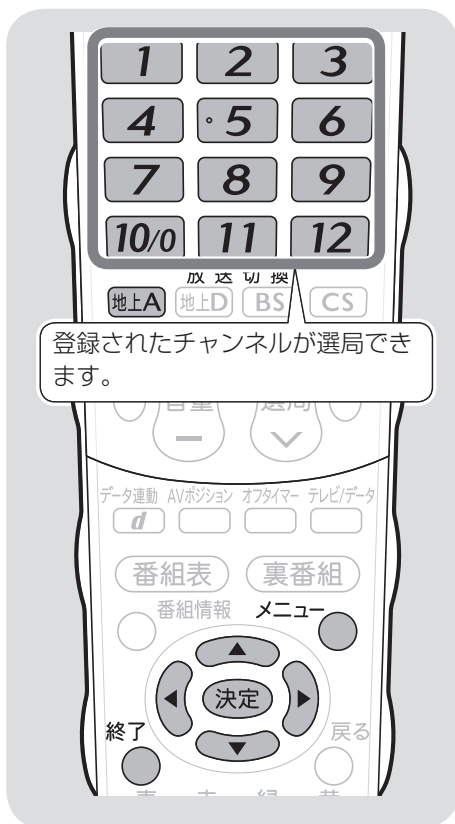
地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1〜12の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう1桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

スキップしたチャンネルを電子番組表（EPG）や裏番組表から非表示にするには（地上デジタル放送のみ）

① 前ページ手順**4**で「地上デジタル」を選び、決定する
② 「地上デジタル−個別」を選び、決定する
③ スキップするチャンネルを選び、決定する
④ 「スキップ」を選び、決定する
⑤ 「選局順逆時にこのチャンネルをスキップして選局しますか？」の表示で「する」を選び、決定する
⑥ 「番組表、裏番組の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」の表示で「する」を選び、決定する
- スキップ設定した地上デジタル放送のチャンネルが、番組表や裏番組表に表示されなくなります。
  ただし、スキップ設定したチャンネルでも視聴中の場合は、番組表や裏番組表に表示されます。

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定し直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

重要

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行ったときは、現在登録されているチャンネルを消して新たに登録しなおします。

おしらせ

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログー自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」(▶ **52** ~ **53** ページ)、「地域番号一覧表」(▶ **54** ~ **57** ページ)で都市名・放送局名・受信チャンネルを確認し、手順 **5** で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域にもっとも近い都市名の地域番号を数字ボタン(チャンネルボタン)または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。
- 工場出荷時は、地域番号「000」に設定されています。

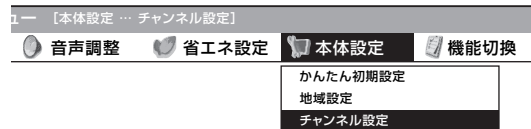
「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、手順 **5** で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

1 地上A 地上アナログ放送を選ぶ

2 メニュー メニューを表示する

- メニューは表示後、何も操作しないと約 1 分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作を行ってください。

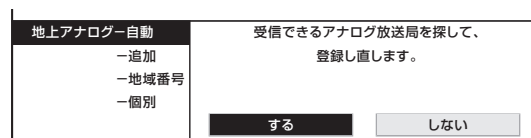
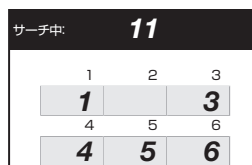
3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定 決定する

4 決定 「地上アナログ」で決定する

5 「地上アナログー自動」を選ぶ

決定 決定する

6 「する」を選ぶ

決定 決定する

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（▶ **54** ～ **57** ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（▶ **51** ページ）または「地上アナログー個別」（▶ **58** ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF放送が受信できる地域など）

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091
	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096

五十音	都市名	地域番号
お	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103
	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087

五十音	都市名	地域番号
さ	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061
	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京２３区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036
	八王子市	104

五十音	都市名	地域番号
は	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市１	107
	和歌山市２	099

次のページに続く

つづき

地域番号一覧表

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル											
			放送局名											
千葉	千葉	029	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	46	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
東京	23 区	030	1	2	3	4	14	6	38	8	42	10	46	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ	テレビ埼玉	フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日	千葉テレビ	テレビ東京
	八王子	104	33	2	29	35	40	37	7	31	9	45	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	多摩	105	49	2	47	51	61	53	7	55	9	57	11	59
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	東京メトロポリタン	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
神奈川	横浜	033	1	2	3	4	16	6	7	8	42	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33	2	29	35	5	37	7	39	31	41	11	43
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	小田原	035	52	2	50	54	5	56	7	58	46	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
	秦野	036	47	2	49	51	5	53	7	55	61	57	11	59
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	テレビ神奈川	テレビ朝日		テレビ東京
新潟	新潟	037	21	2	29	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			新潟テレビ21		テレビ新潟		新潟放送			NHK 総合		新潟総合テレビ		NHK 教育
	上越	038	1	2	3	4	5	37	7	27	9	10	11	33
			NHK 教育		NHK 総合			新潟テレビ21		テレビ新潟		新潟放送		新潟総合テレビ
富山	富山	039	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	32	34
			北日本テレビ		NHK 総合							NHK 教育	チューリップ	富山テレビ
	高岡	040	50	2	48	4	5	6	7	8	9	46	42	44
			北日本テレビ		NHK 総合							NHK 教育	チューリップ	富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4	5	6	25	8	9	33	11	37
						NHK 総合		MRO テレビ	北陸朝日放送	NHK 教育		テレビ金沢		石川テレビ
福井	福井	042	39	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			福井テレビ		NHK 教育			MRO テレビ			NHK 総合		FBC テレビ	
山梨	甲府	043	1	2	3	4	5	6	37	8	9	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育		山梨放送		テレビ山梨					
長野	長野	044	1	44	50	4	40	6	42	8	46	10	48	12
				NHK 総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK 教育		信越放送	
	飯田	045	44	2	3	4	5	6	7	42	9	40	11	12
			長野朝日放送		NHK 教育	NHK 総合		信越放送		テレビ信州		長野放送		
	松本	046	1	44	50	4	48	6	42	8	46	10	40	12
				NHK 総合	長野朝日放送		テレビ信州		長野放送		NHK 教育		信越放送	
岐阜	岐阜	047	1	2	39	4	5	6	35	8	9	10	11	37
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	岐阜放送
	各務原	106	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	41
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	岐阜放送
静岡	静岡	049	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	浜松	050	1	30	3	4	5	6	7	8	9	28	11	34
				静岡第一テレビ		NHK 総合		静岡放送		NHK 教育		静岡朝日テレビ		テレビ静岡
	富士	051	1	54	27	4	29	6	39	8	52	10	41	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	沼津	052	1	51	61	4	57	6	59	8	53	10	55	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
	藤枝	053	1	44	24	4	26	6	38	8	42	10	40	12
				NHK 教育	静岡第一テレビ		静岡朝日テレビ		テレビ静岡		NHK 総合		静岡放送	
愛知	名古屋	054	1	2	3	4	5	6	35	8	9	10	11	25
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
	豊橋	055	56	2	54	4	62	6	58	8	50	10	60	52
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
	豊田	056	57	2	53	4	55	6	59	8	51	10	61	49
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育		メ～テレ	テレビ愛知
三重	津	057	1	2	3	4	5	6	35	8	9	33	11	25
			東海テレビ		NHK 総合		CBC テレビ		中京テレビ		NHK 教育	三重テレビ	メ～テレ	テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28	3	36	5	38	7	40	9	42	30	46
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	びわ湖放送	NHK 教育
	彦根	059	1	52	3	54	56	58	7	60	9	62	11	50
				NHK 総合		毎日テレビ	びわ湖放送	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育

次のページに続く

地域番号一覧表（つづき）

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2	36	4	19	6	34	8	26	10	11	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ	奈良テレビ	読売テレビ		NHK 教育
	京都 2	098	32	2	34	4	21	6	7	8	9	10	11	12
			NHK 京都	NHK 総合	京都テレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2	36	4	19	6	34	8	9	10	30	12
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	京都テレビ	関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	姫路	062	1	50	56	54	5	58	7	60	9	62	11	52
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
	明石	063	1	51	55	53	19	57	7	59	9	61	30	49
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	川西	064	1	29	33	35	5	37	7	39	9	41	11	31
				NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
奈良	奈良	065	51	2	36	4	19	6	62	8	55	10	11	12
			(NHK 総合)	NHK 総合	サンテレビ	毎日テレビ	テレビ大阪	ABC テレビ	奈良テレビ	関西テレビ	(奈良テレビ)	読売テレビ		NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32	3	42	5	44	7	46	9	48	30	25
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50	3	54	5	58	7	60	9	62	56	52
				NHK 総合		毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ	テレビ和歌山	NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1	2	3	4	5	6	7	24	9	22	11	12
			日本海テレビ		NHK 総合	NHK 教育				山陰中央テレビ		BSS テレビ		
島根	松江	068	30	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			日本海テレビ		山陰中央テレビ			NHK 総合				BSS テレビ		NHK 教育
	浜田	069	1	2	54	4	5	6	7	58	9	10	11	12
				NHK 総合	日本海テレビ		BSS テレビ			山陰中央テレビ	NHK 教育			
岡山	岡山	070	23	2	3	4	5	25	35	8	9	10	11	12
			テレビせとうち		NHK 教育		NHK 総合	瀬戸内海テレビ	OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	
広島	広島	071	31	2	3	4	5	6	7	8	9	35	11	12
			テレビ新広島		NHK 総合	RCC テレビ			NHK 教育			広島ホームテレビ		広島テレビ
	福山	072	5	2	57	4	54	6	3	8	9	7	11	11
			NHK 総合		広島ホームテレビ		テレビ新広島		NHK 教育			RCC テレビ		広島テレビ
	呉	073	1	2	24	4	5	6	26	8	9	10	11	12
			NHK 教育		広島ホームテレビ		広島テレビ		テレビ新広島		RCC テレビ		NHK 総合	
山口	山口	074	1	2	3	4	28	6	38	8	9	10	11	12
			NHK 教育				山口朝日放送		テレビ山口		NHK 総合		山口放送	
	下関	075	41	2	23	4	21	6	33	8	39	10	35	12
			NHK 教育	九州朝日放送	TVQ 九州放送	山口放送	山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	福岡放送	(NHK 教育)
	宇部	076	55	2	3	4	24	6	44	8	58	10	61	12
			NHK 教育	九州朝日放送			山口朝日放送	(NHK 総合)	テレビ山口	RKB 毎日放送	NHK 総合	テレビ西日本	山口放送	
	岩国	077	1	2	3	4	62	6	28	8	9	10	11	12
			NHK 教育			RCC テレビ	テレビ山口		山口朝日放送		NHK 総合	南海テレビ	山口放送	広島テレビ
徳島	徳島	097	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	38
			四国テレビ		NHK 総合	毎日テレビ		ABC テレビ		関西テレビ		読売テレビ		NHK 教育
香川	高松	078	33	2	39	4	37	6	31	8	41	10	29	19
			瀬戸内海テレビ		NHK 教育		NHK 総合		OHK テレビ		西日本放送		山陽放送	テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2	3	29	25	6	7	37	9	10	11	35
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2	3	4	14	6	7	36	9	10	27	12
				NHK 総合		NHK 教育	愛媛朝日テレビ	南海テレビ		テレビ愛媛			あいテレビ	
	今治	081	1	30	3	27	14	32	7	36	9	34	11	38
				NHK 教育		あいテレビ	愛媛朝日テレビ	NHK 総合		テレビ愛媛		南海テレビ		広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4	5	6	7	8	9	38	11	40
						NHK 総合		NHK 教育		高知放送		テレビ高知		高知さんさんテレビ

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5	6 NHK 教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ 九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK 総合	7	8 RKB 毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK 教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	5	54 NHK 教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ 九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ 九州放送	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	5	50 NHK 教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TVQ 九州放送	36 サガテレビ	40 NHK 教育	38 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK 総合)	10	11 熊本放送	12
長崎	長崎	088	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
	佐世保	089	1	2 NHK 教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK 総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK 総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK 教育)	2	3 NHK 総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK 総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK 総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK 教育
	延岡	093	1	2 NHK 教育	3	4 NHK 総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK 総合	4	5 NHK 教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
	阿久根	095	1	17 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK 総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK 総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK 教育

おしらせ

- 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

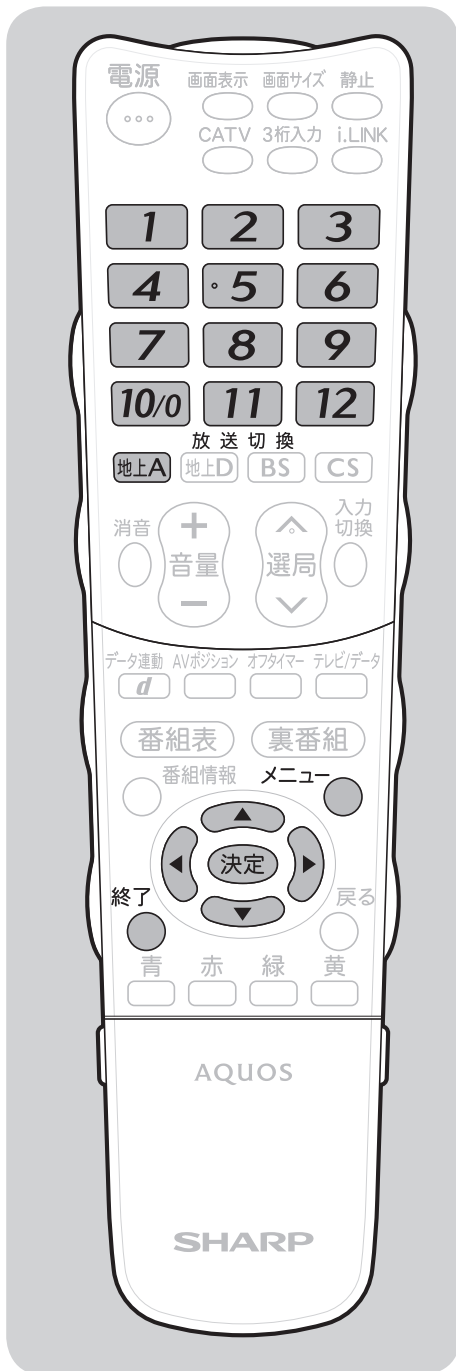
その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

● 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

次のページに続く

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

● 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	受信中の映像（設定画面の背景で表示されている映像）が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64 ～ 0 ～ +63 の範囲で調整できます。
スキップ	選局(∧順／∨逆)ボタン(緑)で選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

押すボタン

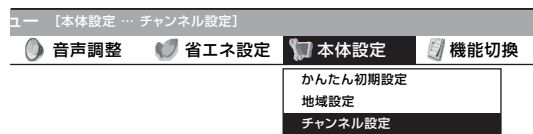
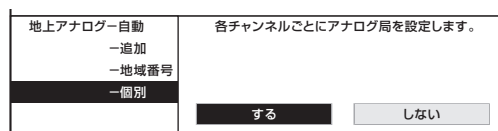
1 地上アナログ放送を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

4 決定　「地上アナログ」で決定する

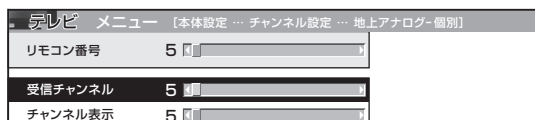
5 「地上アナログ－個別」を選ぶ

決定　決定する

6 「する」を選ぶ

決定　決定する

7 [1]～[12] 変更したい放送チャンネルを選ぶ

8 変更したい項目を選ぶ

（例）受信チャンネルを変更する場合

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

選局ボタン(緑)でCATVチャンネルを選局したいときは(CATVスキップ解除)

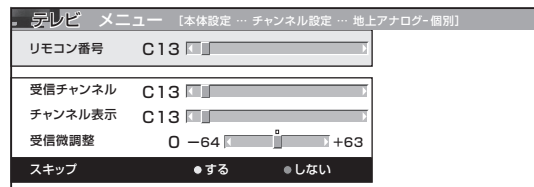
● CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタン（緑）で選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順 **1** ～ **6** を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

3 スキップを解除したい CATV チャンネルを選ぶ

4 「スキップ」を選ぶ

5 「しない」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

CATV（ケーブルテレビ）放送について

- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。（ケーブルテレビのチャンネルを選ぶには▶ **67** ページ）
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で CATV チャンネルを選局できます。
- 左上の手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

映りかたを確かめる

- リモコンを使って番組を選んでみましょう。
- 本体の電源を入れてから操作します。

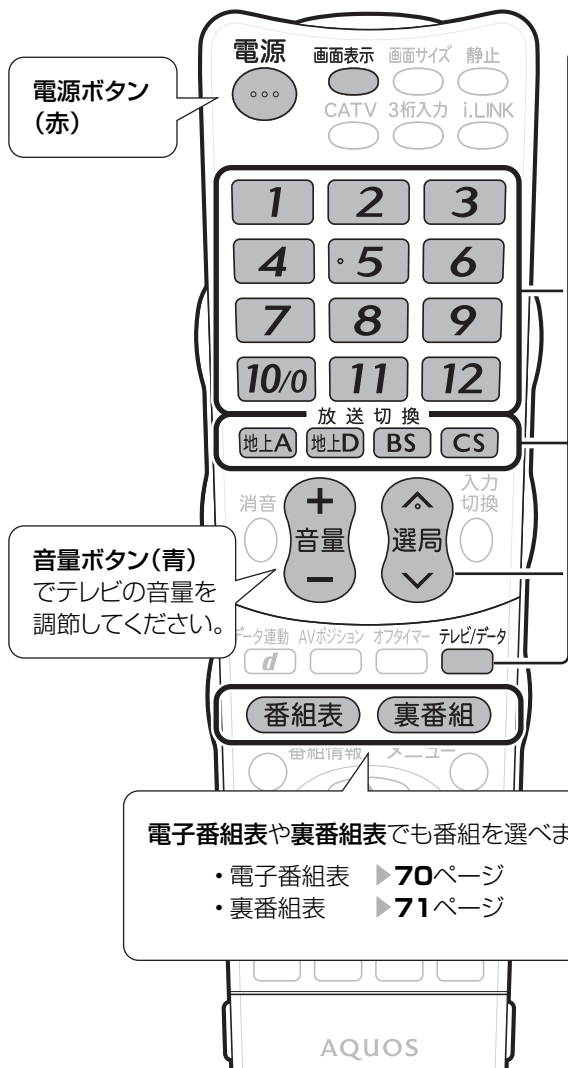
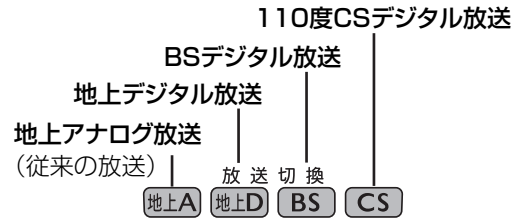
電源ボタン（赤）

音量ボタン（青）でテレビの音量を調節してください。

電子番組表や**裏番組表**でも番組を選べます。
- 電子番組表 ▶**70**ページ
- 裏番組表 ▶**71**ページ

1 放送の種類を選ぶ

放送切換ボタンを押します。

110度CSデジタル放送
BSデジタル放送
地上デジタル放送
地上アナログ放送（従来の放送）
放送切換 地上A 地上D BS CS

デジタル放送の場合はテレビ／データボタンを押します。

- テレビ/データを押すと、テレビ放送⇔データ放送※が切り換わります。

※ 放送がある場合に切り換わります。

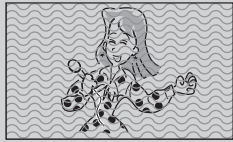
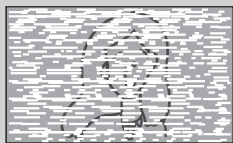
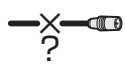
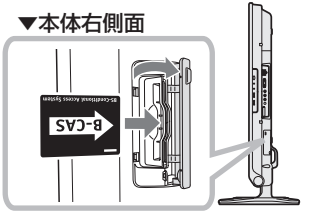
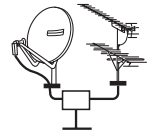
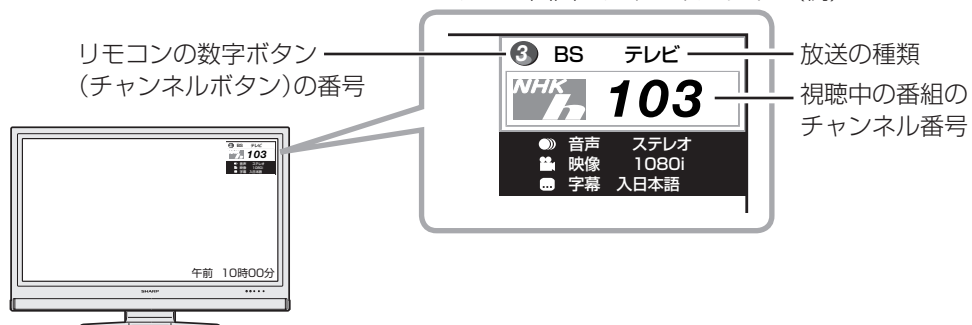
2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン（チャンネルボタン）を押します。

選局ボタン（緑）を押します。

順方向に選局
逆方向に選局

放送の種類やチャンネルの確認のしかた

- テレビ画面の**チャンネルサイン**で確認できます。チャンネルサインは画面表示を押すと表示できます。画面表示を繰り返し押すと表示内容が変わります。（▶ **66** ページ）

▼テレビ画面のチャンネルサイン（例）

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは

（「放送が受信できません。[E202]」と表示される）

● 次の場合は故障ではないことがありますので、お確かめください。

	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・付属のアンテナケーブルを使用していますか。	8・28・30・31
		・古いケーブルは使わないでください。	ー
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。	ー
		・アンテナの向きは正しいですか。	ー
		・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	28
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。	28～31・62
		・端子を間違えて接続していませんか。	28～31・62
		・アンテナケーブルが切れていませんか。	ー
		・BS・CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	44
		・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。	24
		・B-CAS カード挿入口のカバーは閉めてありますか。 ▼本体右側面 LC-42DS5 ／ LC-37DS5 の場合	ー
	画面に四角いノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きは正しいですか。	ー
		・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」（▶ **163** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。	45
		・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか？	29～31
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	25
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS デジタル放送に対応のものを使用していますか。	29～31
	画面にノイズが出る	・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	28～31・62
		・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	ー
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。	25
		・アンテナの受信強度を確認してください。	45

電源・受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テスト－地上D / 信号テスト－BS / 信号テスト－CS

BS衛星信号テスト

BS－1	BS－3	BS－5
BS－7	BS－9	BS－11
BS－13	BS－15	終了

受信強度 BS－15

現在値 95 最大値 95

受信状態：良好です。【A】

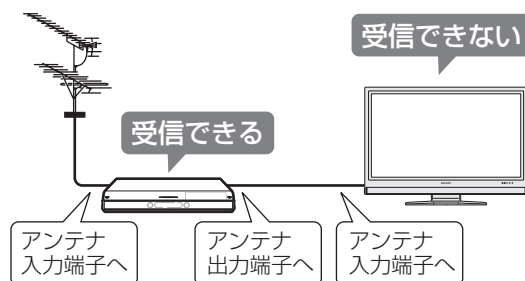
● アンテナの接続については、次ページもご覧ください。

次のページに続く

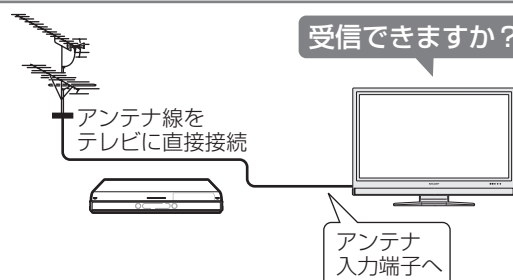
アンテナ接続のワンポイントアドバイス

● お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

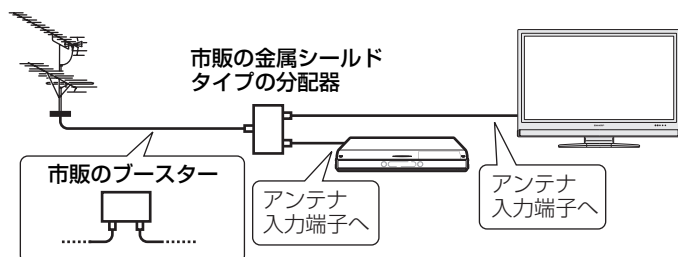
こんなときは

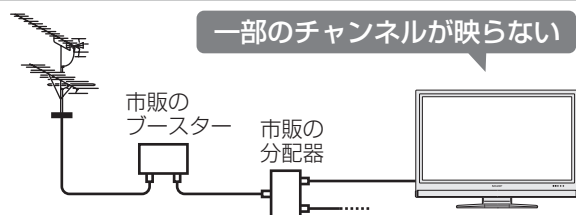
アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

レコーダーに入力しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

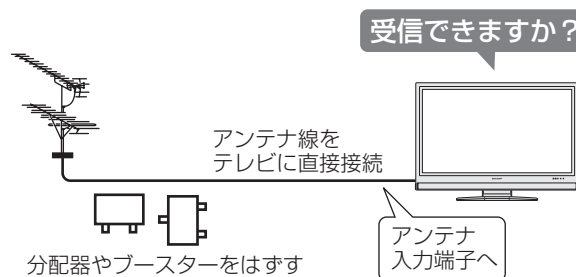
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。レコーダーの出力端子から本機の入力端子に接続するのは止めましょう。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

それでも受信できない場合は…
- アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に、一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。（本機に付属のアンテナケーブルをご使用ください。また、レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。
- 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…
- ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビを見る

基本的な選びかた

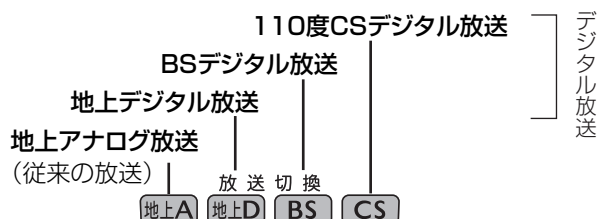
● リモコンを使って番組を選んでみましょう。

電源を入れてください。
（電源ランプが赤のときに押すと電源が入ります。）

1 放送の種類（ネットワーク）を選ぶ

①放送切換ボタンを押します。

- 110度CSデジタル放送 — CS
- BSデジタル放送 — BS
- 地上デジタル放送 — 地上D
- 地上アナログ放送（従来の放送） — 地上A

（110度CSデジタル放送・BSデジタル放送・地上デジタル放送：デジタル放送）

おしらせ

- デジタル放送は B-CAS カード（▶ **24** ページ）を挿入しないと視聴できません。
- 110 度 CS デジタル放送をはじめて選局するときは▶**43**ページをご覧ください。

②デジタル放送の場合はメディア（テレビ／データ※）の選択ができます。

- 放送がある場合のみ切り換わります。

テレビ放送の例 ⟷（テレビ/データ）⟷ データ放送の例

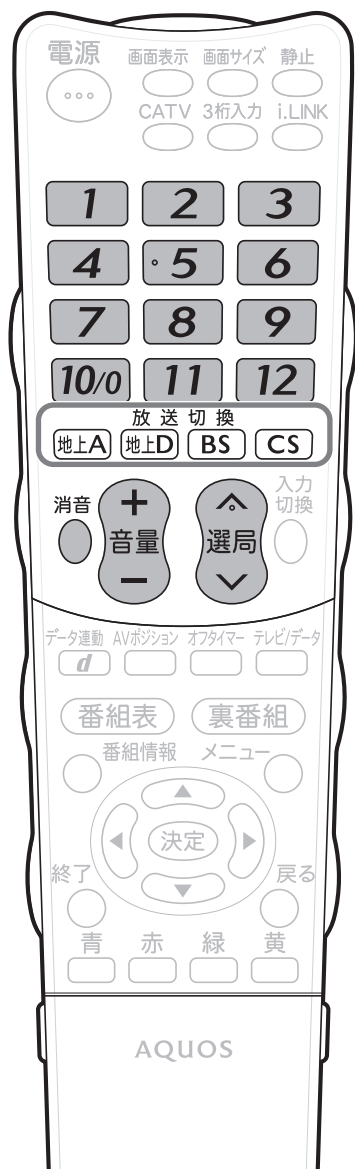
※ 2008 年 5 月現在、BS デジタルのラジオ放送は行われておりません。ラジオ放送が再開された場合は、テレビ放送→ラジオ放送→データ放送→テレビ放送の順に切り換わります。

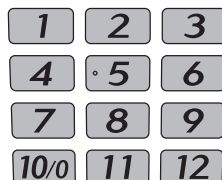
デジタル放送は、電子番組表や裏番組表でも番組を選べます。
（▶**70・71**ページ）

工場出荷時のデジタルチャンネル一覧

- 右のチャンネル一覧は 2008 年 5 月現在のもので、変更されることがあります。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／データボタンを押すと、放送の種類とテレビ／データが切り換わり、その放送のデジタル登録画面が表示されます。
- 放送のないメディア（テレビ／データ）には切り換わりません。

BS デジタル放送のチャンネル

数字ボタン（チャンネルボタン）	テレビ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	－	－
2	NHK BS2	102	ウェザーニュース	910
3	NHK h	103	－	－
4	BS 日テレ	141	－	－
5	BS 朝日1	151	－	－
6	BS-iテレビ⑥	161	－	－
7	BS ジャパン	171	－	－
8	BS フジ･181	181	－	－
9	WOWOW	191	－	－
10/0	スターチャンネル	200	－	－
11	BS 11	211	－	－
12	TwellV	222	－	－

2 チャンネルを選ぶ

数字ボタン(チャンネルボタン)または選局ボタン(緑)を押します。

- 数字ボタン（チャンネルボタン）には、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルの一覧を確認できます。(▶**68**ページ)
- リモコン番号を「1」または「2」に設定している場合、リモコンが放送切換の状態を記憶しています。
  数字ボタン(チャンネルボタン)を押すと、記憶している放送切換ボタンが光ります。数字ボタン(チャンネルボタン)で選局する際は、ボタンが光った放送を選局します。
  リモコン番号については▶**82**ページをご覧ください。
- リモコン番号が「0」のときは、視聴している放送のチャンネルが選局されます。

- 現在視聴している放送のチャンネルが選局されます。
- 地上デジタル放送は、選局順が設定できます。(▶**66**ページ)

3 音量を調節する

- 「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
- 一時的に音を消せます。

110度CSデジタル放送のチャンネル

数字ボタン(チャンネルボタン)	テレビ チャンネル番号
1	100
2	001
3	－
4	－
5	－
6	－
7	－
8	－
9	－
10/0	－
11	－
12	－

地上デジタル放送のチャンネル

数字ボタン(チャンネルボタン)	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合･東京	011
2	NHK教育･東京	021
3	－	－
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	－	－
11	－	－
12	放送大学	121

工場出荷時は関東の東京で受信できるチャンネルが登録されています。

おしらせ

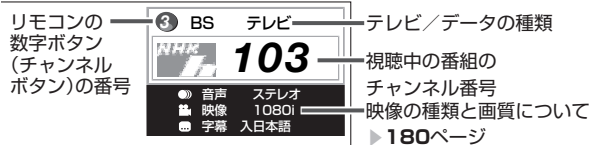
- ３桁のチャンネル番号でも選局できます。(▶ **67** ページ)

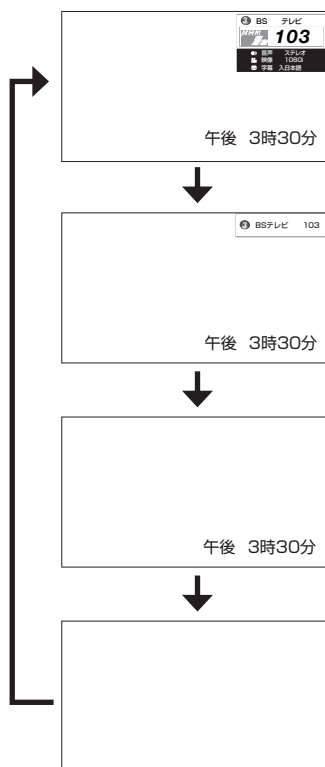
放送の種類やチャンネルの確認のしかた

● 放送の種類やチャンネルはテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 画面表示 **チャンネルサインを表示する**

▼テレビ画面のチャンネルサイン

- リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）の番号 ― ③ BS テレビ
- テレビ／データの種類
- 視聴中の番組のチャンネル番号 ― 103
- 音声 ステレオ / 映像 1080i / 字幕 入日本語
- 映像の種類と画質について ▶180ページ

2 画面表示 **チャンネルサインを消すときは数回押す**

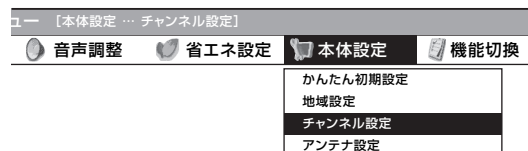
・次のように切り換わります。

・上記は、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」を「する」にしている場合です。

選局ボタンでの選局される順番を変更する（地上デジタル放送のみ）

● 工場出荷時は、電子番組表（▶ **70** ページ）に表示されている順番で選局されます。この順番を３桁チャンネル番号順に変更することもできます。

1 地上D **地上デジタル放送を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **「地上デジタル」を選ぶ**

決定 **決定する**

5 **「地上デジタル－選局順」を選ぶ**

決定 **決定する**

6 **「モード 1」または「モード 2」を選ぶ**

・**「モード 1」**…番組表に表示されている順番で選局できます。
・**「モード 2」**…チャンネル番号（3 桁）の順番で選局できます。

決定 **決定する**

・操作を終了する場合は終了ボタンを押します。

その他の選びかた

3 桁入力で選ぶ（デジタル放送のみ）

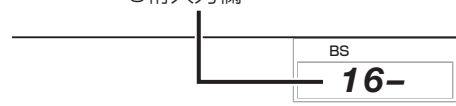
● 3 桁チャンネル番号（デジタルチャンネル一覧 ▶ **64～65** ページ）を入力しても選局できます。

1 地上D / BS / CS　**デジタル放送の種類を選ぶ**

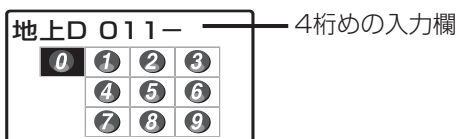
2 3桁入力　**3 桁入力欄を表示する**

・繰り返し押して放送の種類を切り換えることもできます。

1 ～ 10/0　**3 桁チャンネル番号を入力する**

（例）BSデジタル放送の161チャンネル（BS-iテレビ⑥）を選んでいるとき

・間違った番号を入力した場合は、3 桁入力ボタンを押してから入力しなおします。

地上デジタル放送の場合は

・地上デジタル放送でチャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4 桁め（枝番）の選択画面が表示されます。数字ボタン（チャンネルボタン）で枝番を入力します。

ケーブルテレビのチャンネルを選ぶには

● ケーブルテレビ（CATV）放送を視聴するには、CATV 会社との契約が必要です。

● CATV チャンネルは工場出荷時、チャンネルスキップ「する」に設定されています。（解除のしかた▶ **59** ページ）

● 本機の CATV チャンネルは、C13～C 63 チャンネルの範囲で選局できます。

（例）C23を選ぶとき

1 CATV　**CATV を選ぶ**

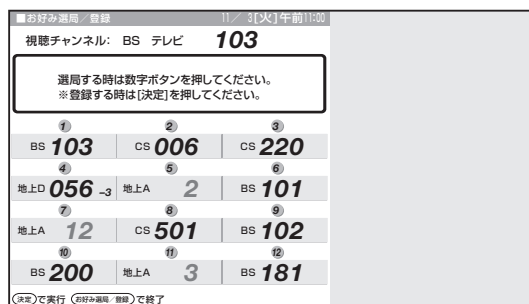
2 2 / 3　**チャンネル番号を入力する**

よく見るチャンネルを登録して選局できるようにする（お好み選局／登録）

● よく見るチャンネルを 12 局まで登録しておき、数字ボタン（チャンネルボタン）で選局できます。

● 地上デジタル、地上アナログ、BS デジタル、110 度 CS デジタルやテレビ、データを混在させた登録ができるので、放送の種類を切り換えずにチャンネルを換えられ、チャンネルが選びやすくなります。

1 お好み選局／登録　**お好み選局／登録画面を表示する**

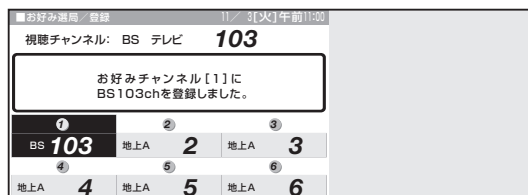
・お好み選局／登録ボタンはリモコンのフタ内にあります。

2 1 ～ 12　**チャンネルを選ぶ**

・視聴したいチャンネルを直接選局できます。

おしらせ

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する

① 登録したいチャンネルを選局する
② お好み選局／登録ボタンを押す
③ 決定を押す
④ 登録したい先の数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

（登録例）

⑤ 終了ボタンを押し、画面表示を消す（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

・登録したチャンネルを変更するには、上記①～⑤を行って、新たなチャンネルを登録しなおします。
・お好み選局／登録画面は、工場出荷時には地上アナログ放送のチャンネルに設定されています。
・お好み選局／登録ボタンを押して登録されたチャンネルの確認だけを行い、そのまま終了ボタンを押して終了することもできます。

デジタル放送のチャンネルのボタン番号を確認・変更するときは

● 数字ボタン（チャンネルボタン）の登録内容が確認できます。また、現在の登録を変更することもできます。

登録チャンネルを確認する

1 地上D / BS / CS / テレビ/データ

登録を確認したいデジタル放送を選局する

- 確認したいデジタル放送の種類（地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送）やメディア（テレビ／データ）を選びます。

2 メニュー

メニューを表示する

3 **「本体設定」－「チャンネル設定」を選ぶ**

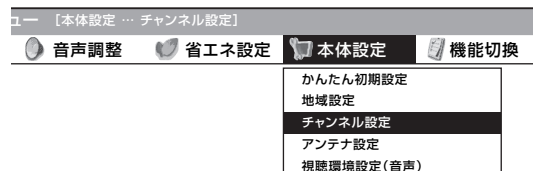
決定 **決定する**

4 **「デジタル登録」を選ぶ**

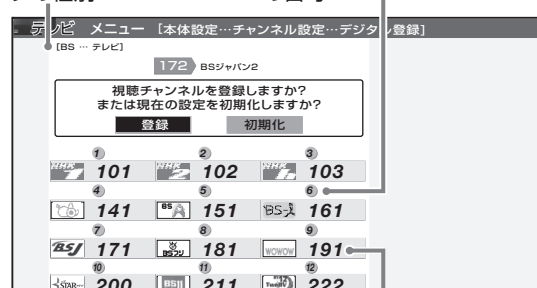
決定 **決定する**

5 **「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

- チャンネルの一覧が表示されます。

（例）BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

選ばれている放送の種類とテレビ／データの種別

登録されているリモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）の番号

登録されている放送チャンネルのロゴ

登録されている放送チャンネルの番号

- 終了する場合は、終了ボタンを押します。

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

チャンネルを登録する

1 登録したいチャンネルを選局する

2 メニュー　メニューを表示する

3 「本体設定」ー「チャンネル設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「デジタル登録」を選ぶ

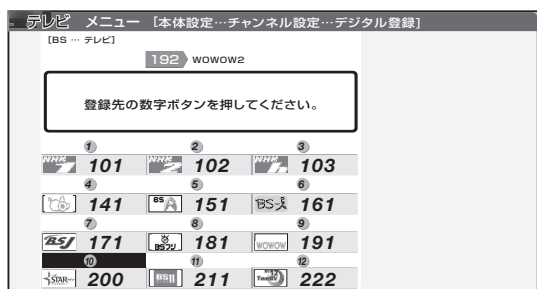
決定　決定する

5 「する」を選ぶ

決定　決定する

6 「登録」を選ぶ

決定　決定する

7 1 ～ 12　登録したい数字ボタン（チャンネルボタン）を押す

- 登録確認画面が表示されます。
- 終了する場合は、終了ボタンを押します。（押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。）

おしらせ

- 登録できるのは、各デジタル放送ネットワーク（地上、BS、CS）の各メディア（テレビ／データ）につき12局までです。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、手順 **6** で「初期化」を選び、決定ボタンを押します。

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BS　BS デジタル放送を選ぶ

2 テレビ/データ　データ放送に切り換える

3 選局　天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

連動データ放送（データ連動 d）の番組から選ぶ

1 データ連動 d　デジタル放送視聴中に連動データ放送を表示する

2 画面の項目から天気予報や株価を選ぶ

決定　決定する

おしらせ

- 操作方法は、表示される画面の内容によって異なります。

電子番組表(EPG※)で番組を選ぶには

電子番組表とは

- テレビ画面に表示される番組の一覧表のことを「電子番組表」といいます。
- 地上デジタル放送やBS･110度CSデジタル放送では電子番組表が送信されています。デジタル放送の受信中に(番組表)を押すと、電子番組表が表示できます。

※「EPG」とは、Electric Program Guide のことです。

映画や音楽などジャンルごとの番組一覧を表示したり、一週間先までに放送される番組を確認できます。

こんなことができます

ページ

基本の使いかた	電子番組表で番組を選ぶ	72 ～ 73
	番組情報を見る	72
	放送中の他の番組（裏番組）を調べる	71
番組の便利な探しかた	分類（ジャンル）で番組を探す	73
	日時を指定して番組を探す	73
電子番組表を活用するための設定のしかた	地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる	74
	電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる	74
	電子番組表の表示のしかたを変える	75

電子番組表の見かた

時間帯を縦に表示した場合（「モード 1」の例：「画面文字サイズ設定」が「標準」の場合）

時間帯を横に表示した場合（「モード 3」の例：「画面文字サイズ設定」が「標準」の場合）

> おしらせ
> - 本機で電子番組表を表示できるのは、デジタル放送のみです。
> - 電子番組表やメニュー画面などの表示色や文字の大きさを変更することができます。（画面表示色設定、画面文字サイズ設定▶ **81** ページ）
> - 本書ではおもに BS デジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。
> - 地上デジタル放送の電子番組表は、送信している各チャンネルから取得する必要があります。

電子番組表の表示内容について

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間（表示のしかたによって変わります。▶ **75** ページ）

> おしらせ
> - 電源を入れてからすぐに番組表ボタンを押すと、番組表の内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

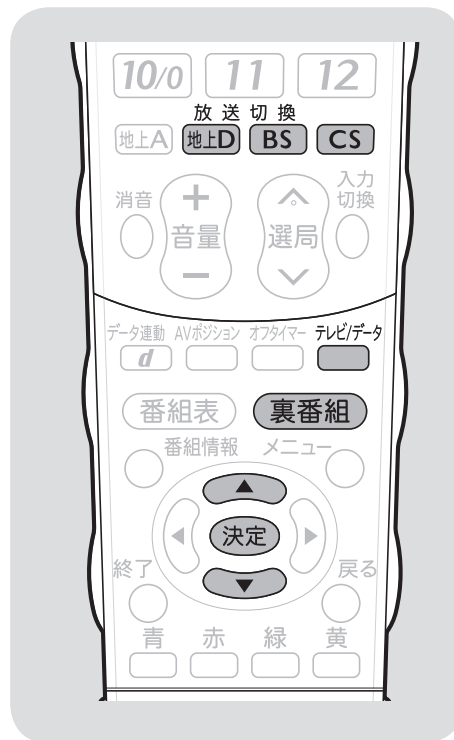
番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	録画予約（VHSテープ予約）している番組
	録画予約（ファミリンク[2]（i.LINK）予約）している番組
	録画予約（ファミリンク[1]（標準）予約）している番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止されている番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

放送中の他の番組（裏番組）を調べる

● 視聴中に（裏番組）を押すと、裏番組を一覧で確認できます。

押すボタン

1 （裏番組） 裏番組表を表示する

テレビ　裏番組表　[BS … テレビ]　11/ 3 [火] 午前11:30
①101　NHK BS1　午前11:25～午前11:55
街角ステーション

① 101 NHK BS1	街角ステーション
② 102 NHK BS2	純愛ドラマ総集編
③ 103 NHK h	ニッポン温泉巡り
④ 141 BS 日テレ	テレビでお買い物
⑤ 151 BS 朝日1	勇者の食卓
⑥ 161 BS - iテレビ⑥	コレクション F
⑦ 171 BS ジャパン	J-ショップ
⑧ 181 BS フジ・181	らくらくショッピング
⑨ 191 WOWOW	シネマアイ
⑩ 200 スター・チャンネル	ラスト・サプライズ

2 裏番組を選ぶ

3 （決定） 決定する

- 選んだ番組に切り換わります。

> おしらせ
> - 地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示できます。
> - 裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上D・BS・CS）、テレビ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表の使いかた

押すボタン

1 電子番組表を表示する

- 放送切換ボタンやテレビ／データボタンで放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。

「モード 1」の例：「画面文字サイズ設定」が「標準」の場合
（放送局名の表示は変更になることがあります。）

電子番組表を閉じる

押すボタン

 電子番組表を閉じる

- 通常の画面に戻ります。

番組内容の紹介（番組情報）を見るには

押すボタン

1 内容を確認したい番組を選ぶ

2 青ボタン（番組情報を見る）を押す

- 番組情報が表示されます。

- 番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

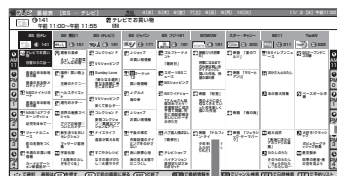
視聴中の番組の情報を見るには

- 視聴中に 番組情報 を押してください。（▶ **78** ページ）（電子番組表を表示する必要はありません。）

番組表表示中の音声について

・電子番組表を表示しているときに次の操作をしたときは、一時的に音声が停止します。
- カーソルボタンで別のチャンネルを選んだとき
- 放送切換ボタン(地上D･BS･CS)で放送の種類を切り換えたとき
- 赤ボタンでジャンル検索画面を表示したとき
- 緑ボタンで日時検索画面を表示したとき
- 黄ボタンで予約リスト画面を表示したとき

2 見たい番組を選ぶ

(時間帯を縦に表示した場合)

3 決定 決定する

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
- 放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。
(予約については ▶ **99** ページをご覧ください。)

おしらせ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 電子番組表の表示方式を切り換えることができます。(▶ **75** ページ)

分類(ジャンル)で番組を探すには

押すボタン

1 赤ボタン(ジャンル検索)を押す

2 ジャンルを選ぶ

時間帯を選ぶ

決定 決定する

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

- 黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

日時を指定して番組を探す

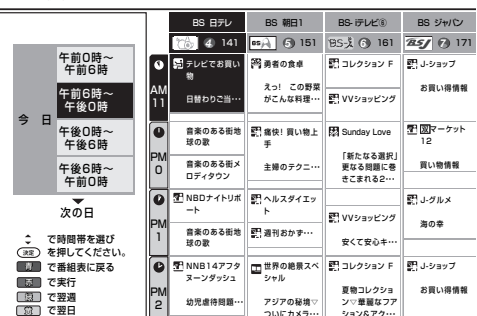
押すボタン

1 緑ボタン(日時検索)を押す

2 時間帯を選ぶ

決定 決定する

- 緑ボタンと黄ボタンで日にちを変更できます。

■日時検索

3 見たい番組を選ぶ

 決定する

電子番組表をもっと便利に利用する

● 電子番組表をもっと便利に利用するため、電子番組表の表示内容の設定を変更できます。

地上デジタル放送の電子番組表を速く表示させる

● 番組表取得設定（地上デジタル放送の番組表取得設定）を「する」に設定すると、地上デジタル放送の電子番組表が電源待機中に自動取得されます。自動取得しておくと、電子番組表の表示が速くなります。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

決定　決定する

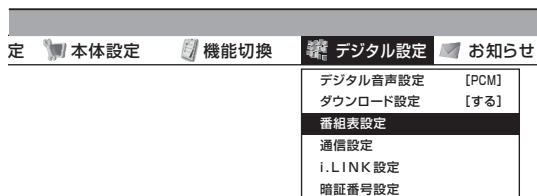
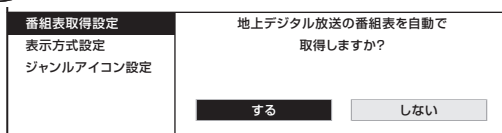
3 「番組表取得設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

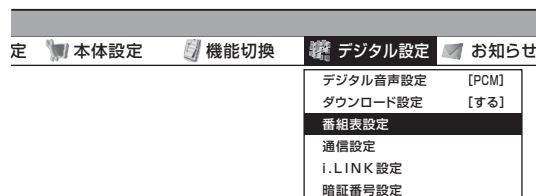
• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

• 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機が放送局の番組情報を取得しているためです。）また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

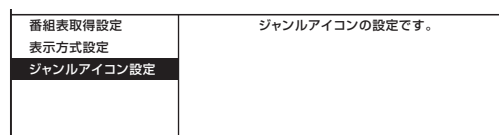
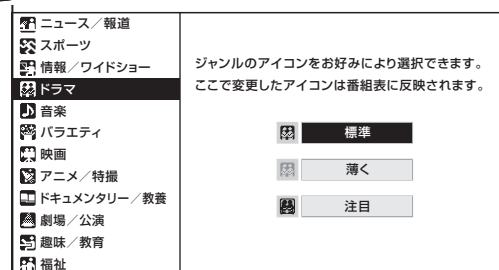
電子番組表のジャンルアイコンを目立たせる

● ジャンルアイコン設定で電子番組表のジャンルを示すアイコン（▶ **71** ページ）に濃淡を付けて、識別しやすくできます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」－「番組表設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「ジャンルアイコン設定」を選ぶ

決定　決定する

4 ジャンル名を選ぶ

決定　決定する

5 「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選ぶ

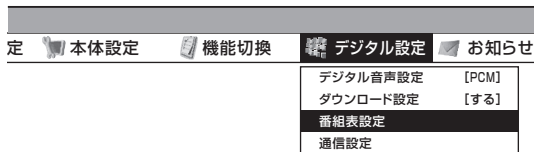
決定　決定する

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電子番組表の並べかたや表示範囲を変える

● 表示方式設定で、番組表に一度に表示できる範囲の設定や、チャンネルの横・縦の設定ができます。

押すボタン

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 決定　**「デジタル設定」−「番組表設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 決定　**「表示方式設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

4 決定　**「モード１」「モード２」「モード３」「モード４」のいずれかを選ぶ**

- **「モード１」**：新聞のテレビ欄のように横に９チャンネル分※を同時表示します。（工場出荷時は「モード１」に設定されています。）
  - ※「画面文字サイズ設定」（▶**81**ページ）が「標準」のときのチャンネル数です。「大きな文字」にすると７チャンネル分の表示になります。
- **「モード２」**：新聞のテレビ欄のように横にチャンネルを並べ表示します。
  - ※「画面文字サイズ設定」（▶**81**ページ）を「大きな文字」にしているときは選べません。
- **「モード３」**：縦にチャンネルを並べ横に６時間分を表示します。
  - ※「画面文字サイズ設定」（▶**81**ページ）を「大きな文字」にしているときは選べません。
- **「モード４」**：縦にチャンネルを並べ横に３時間分を表示します。

決定　**決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

モード１の電子番組表の例

（「画面文字サイズ設定」が「標準」の場合）　時間帯を縦配列

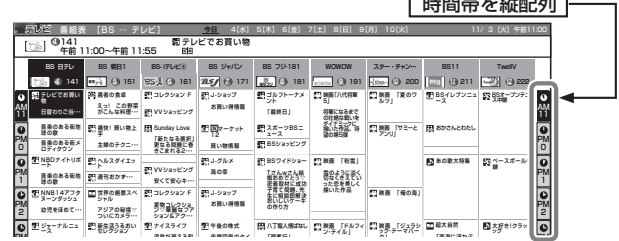
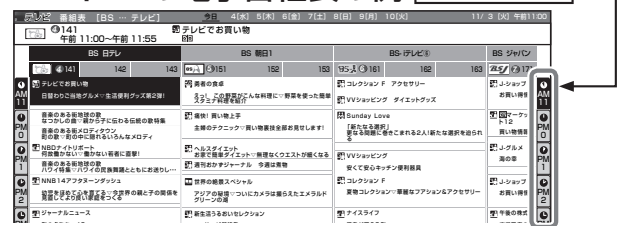
モード２の電子番組表の例

時間帯を縦配列

モード３の電子番組表の例

時間帯を横に６時間分

モード４の電子番組表の例

時間帯を横に３時間分

- モード３・４にしたときも、番組表の操作のしかたはモード１・２の場合と同様です。ただしチャンネルを選ぶのは上下カーソルボタン、時間帯を選ぶのは左右カーソルボタンになります。

音声・映像・字幕を切り換える

地上アナログ放送で二重音声放送（二ヶ国語、主音声＋副音声、ステレオ）の番組を見るときは

● 二重音声放送やステレオ放送の番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しめます。

おしらせ

音声の見分けかた

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、テレビ画面のチャンネルサインの色で区別することができます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

モノラル放送のとき

二重音声放送の音声を切り換える

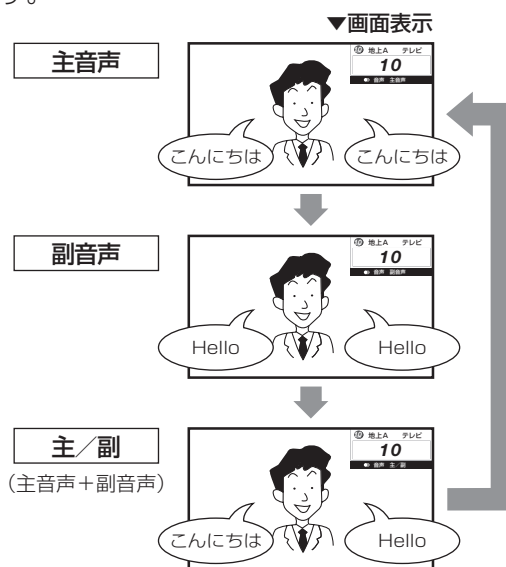
● ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語（主音声）と英語などの外国語（副音声）の２種類の音声が楽しめます。

押すボタン

音声切換

お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

▼画面表示

音声をモノラルで聞きたいときは

● ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

● 音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。

テレビ画面右上のチャンネルサインに「モノラル」と表示されます。

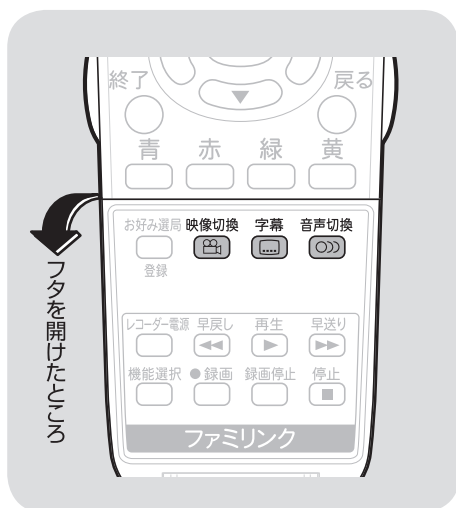
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。

おしらせ

・雑音が多いときは、音声切換ボタンで「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

デジタル放送で映像・音声・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

おしらせ

音声の選択について

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「音声 1」で録画します。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

字幕表示設定について

- メニューの「機能切換」－「字幕表示設定」で設定します。

項目	内容
する	・字幕のあるデジタル放送の番組で、字幕を常に表示させます。 ・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、複数の字幕の切り換えができます。字幕表示は消えません。
しない	・リモコンフタ内の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切と複数の字幕の切り換えができます。（工場出荷時の設定）

複数の映像を楽しむ

押すボタン

映像を切り換える

- ボタンを押すたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

押すボタン

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。

マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2～8※ →

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

押すボタン

字幕を表示する（切り換える）

- ボタンを押すたびに字幕の表示が切り換わります。（切り換わりかたは、左記の「字幕表示設定」によって変わります。）
- 「字幕表示設定」を「しない」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕非表示 → 字幕1表示 → 字幕2表示 →

字幕が1種類のとき　→字幕非表示 → 字幕表示 →

- 「字幕表示設定」を「する」に設定しているとき

字幕が2種類あるとき　→字幕1表示 → 字幕2表示 →

字幕が1種類のとき　字幕表示のまま変化なし

おしらせ

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約20秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

番組に連動したデータ放送を見る

● テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。

データ放送画面を表示する

押すボタン

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

データ放送画面の基本操作

- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。
- 例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

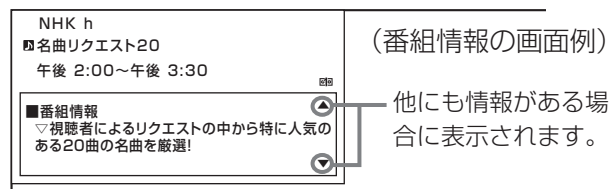
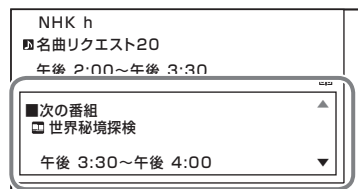
見ているデジタル放送の番組の詳細を表示する

● デジタル放送の番組視聴中に番組情報が表示できます。

押すボタン

デジタル番組の視聴中に番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

他にも情報がある場合に表示されます。

- 番組情報の右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで表示の送り・戻しができます。
- 視聴中のチャンネルで2分以内に次の番組が始まる場合は、次の番組の情報も表示されます。

- 番組情報を消すときは、もう一度番組情報ボタン、または終了ボタンを押します。

おしらせ

番組名表示設定

- 選局したときに番組名を表示するようにも設定できます。
- メニューの「機能切換」－「番組名表示設定」で設定します。

項目	内容
する	選局したときに番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。選局したチャンネルで次の番組が2分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
しない	何も表示しません。

目覚ましとして使うなどタイマーで電源を入れる（オンタイマー設定）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。設定すると、本体のオンタイマー／予約ランプが赤色に点灯します。
- メニューの「機能切換」－「オンタイマー設定」で設定します。設定する場合は、「オンタイマー」を「入」にして、以下の各項目を設定します。
- オンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計が正しく合っていることが必要です。デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合には、右記の「時刻設定」で合わせてください。

項目	内容
オン時刻（時）	タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
オン時刻（分）	タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
オン入力	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示される放送の種類（地上A、地上D、ＢＳ、ＣＳ）または入力を選びます。入力６は、「入力６端子設定」（▶**105** ページ）が「入力」に設定されているときのみ選べます。
オン CH	タイマーで電源が入ったとき、画面に表示されるチャンネルを選びます。
音量	タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。０～60 の範囲で選べます。

おしらせ

- オンタイマーで外部入力を使用する場合には、あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は、本体の電源スイッチで電源を切るか、オンタイマーを解除し、オンタイマー／予約ランプの色を確認してください。
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- オンタイマーで電源が入ってから２時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる５分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）

時刻が合っていないときは（時刻設定）

- 画面に現在時刻を表示したり、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を使うには、本機の内蔵時計を正しい時刻に合わせる必要があります。

自動時刻設定機能について

- デジタル放送を受信している場合は、自動的に時刻が設定されます。

  デジタル放送が受信できないなど、自動設定されないときは、「時刻が設定されていません。」と表示されます。この場合は、下記の手動設定を行ってください。

手動で時刻を設定する

- メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定します。

おしらせ

- 時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。
- 設定できる時刻は 12 時間表示です。
- 設定後、現在時刻を確認したいときは、時刻表示（▶**80** ページ）を「する」に設定したあと、画面表示ボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり停電が起きた場合、時刻情報は消去されます。この場合は、時刻設定をしなおしてください。

（例）午前 10 時 30 分に合わせる

1 上下カーソルボタンで「午前 10」時に合わせる

2 右カーソルボタンを押す

3 上下カーソルボタンで「30」分に合わせ、決定ボタンを押す

時刻を表示する（時刻表示）

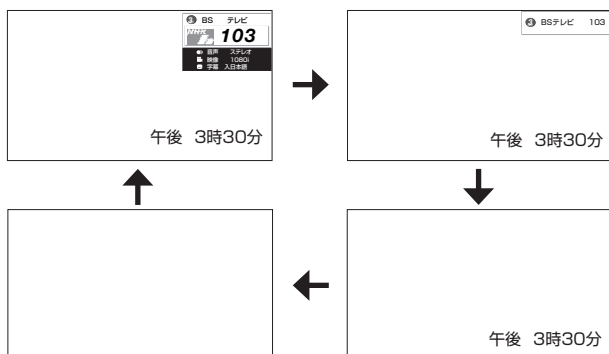
重要

・デジタル放送が受信できないなど、時刻が自動設定されないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で時刻を合わせておいてください。（▶ **79** ページ）

時刻表示のしかたを選ぶ

● メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻表示」で設定します。

項目	内容
する	画面表示ボタンを押すたびに、現在時刻を表示／非表示にします。
する（30 分ごと）	毎時 00 分と 30 分に現在時刻を表示します。
しない	表示しません。

●「する」に設定したときは、画面表示ボタンを押すごとに、以下のように表示が変わります。

電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くする（クイック起動設定）

● リモコンで電源を「入」にしてからの本機の起動時間を短くします。

● メニューの「本体設定」－「クイック起動設定」で設定します。

項目	内容
しない	クイック起動しません。
する（常に有効）	電源切時に常に有効にします。 「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
する（2 時間のみ有効）	電源切後 2 時間のみ有効にします。 「する（常に有効）」のときより、待機時の消費電力が抑えられます。

おしらせ

・クイック起動設定を「する」に設定した場合は、待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。

映像の向きを変える（映像反転）

● 映像を反転して映せます。映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利です。

● メニューの「本体設定」－「映像反転」で設定します。

● 決定ボタンを押さなくても、選択しただけで画面が反転します。

項目	内容	
しない	通常の表示にします。 （工場出荷時の設定）	ABC
左右反転	左右を反転します。	
上下反転	上下を反転します。	
上下左右	上下左右を反転します。	

おしらせ

・メニューも反転表示されます。
・音声は左右反転しません。

映像を消して音声だけを聞く（映像オフ）

● メニューの「機能切換」－「映像オフ」で設定します。

項目	内容
する	映像を消して、音声だけを楽しめます。
しない	映像と音声を楽しむ通常の状態にします。

おしらせ

・映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
・操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。

映像を復帰させたいときは

・選局ボタン（緑）を押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

● ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。

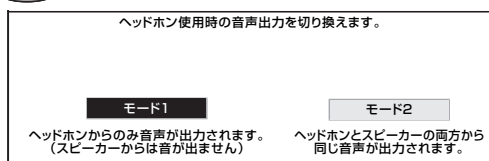
1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」ー「ヘッドホン設定」を選ぶ

決定　決定する

ヘッドホン使用時の音声出力を切り換えます。

モード1　ヘッドホンからのみ音声が出力されます。（スピーカーからは音が出ません）

モード2　ヘッドホンとスピーカーの両方から同じ音声が出力されます。

3 「モード 1」「モード 2」のいずれかを選ぶ

決定　決定する

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード 1 （スピーカーから音を出さない）	× （出力されません）	○
モード 2 （スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむ）	○	○ ※

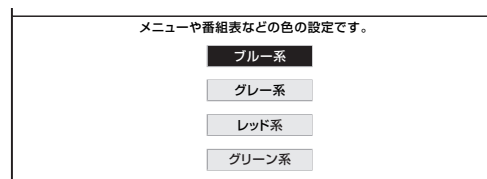
※「モード 2」ではヘッドホンをつないだときに、消音ボタンでヘッドホン出力を停止できません。

おしらせ

・「モード 2」を選んでいるときは、スピーカーの音量を変えるにはリモコンの音量ボタン（青）を、ヘッドホンの音量を変えるには本体の音量ボタンを操作します。

番組表やメニューなどの配色を変える（画面表示色設定）

● 番組表、裏番組表、番組情報、メニュー画面、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面、お好み選局画面などの表示色を、「ブルー系」「グレー系」「レッド系」「グリーン系」の 4 種類から選ぶことができます。

● メニューの「機能切換」－「画面表示色設定」で設定します。

番組表やメニューなどの文字のサイズを大きくする（画面文字サイズ設定）

● 番組表、裏番組表、番組情報、メニュー画面、お好み選局画面などに表示される文字のサイズを大きくする事ができます。

● メニューの「機能切換」－「画面文字サイズ設定」で設定します。

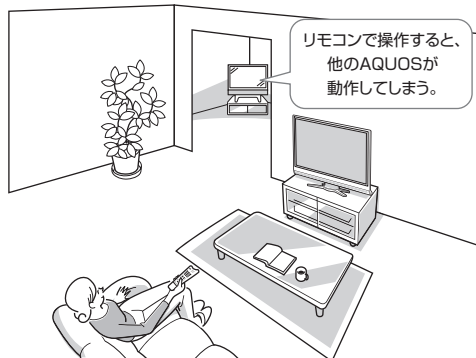
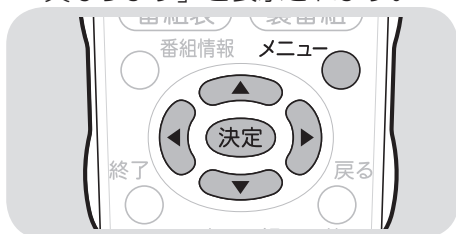
項目	内容
大きな文字	拡大して表示します。
標準	通常の表示にします。（工場出荷時の設定）

おしらせ

「大きな文字」にしたときは

・「番組表設定」－「表示方式設定」（▶ **75** ページ）を「モード 1」（工場出荷時設定）「モード 2」「モード 3」のいずれかでお使いの場合は、番組表の表示が変わります。
　・「モード 1」の場合、番組表に表示されるチャンネルが 7 チャンネル分になります。
　・「モード 2」の場合、「モード 1」に変わります。
　・「モード 3」の場合、「モード 4」に変わります。

2 台の AQUOS をそれぞれのリモコンで操作する

● 2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまう場合があります。このとき、リモコン番号の設定を行うと他の AQUOS の動作を防ぐことができます。

- リモコン番号には「1」「2」「0」があり、リモコン側のリモコン番号と本体側のリモコン番号を合わせると、リモコンで本体が操作できるようになります。
- 2 台の AQUOS を近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他の AQUOS と異なる番号に設定してお使いください。例えば、他の AQUOS が「1」なら本機は「2」にします。
- 「0」は本機以外の AQUOS が操作できない場合に使用します。
- 設定されているリモコン番号が本体とリモコンとで異なっている場合、リモコンボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号が異なります」と表示されます。

おしらせ

- 工場出荷時の設定は、本機・リモコンともリモコン番号「1」です。

本機のリモコンで本機以外の AQUOS も操作できます

工場出荷時の設定では本機のリモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で本機以外の AQUOS を操作できない場合があります。この場合は、リモコン背面のリモコン番号切換スイッチの位置を「0」に切り換えます。（それでも操作できない場合があります。）

本体とリモコンのリモコン番号を設定する

重要

- 先にリモコン側のリモコン番号を変更すると、リモコンで本体の設定が行えません。

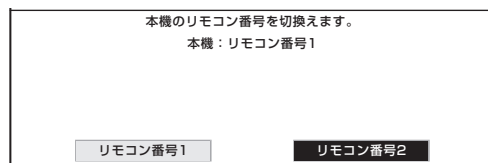
◆本体側の切り換え

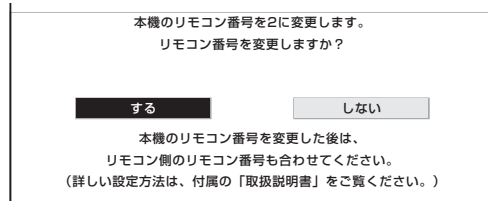
1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「本体設定」－「リモコン番号設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 **リモコン番号を選ぶ**

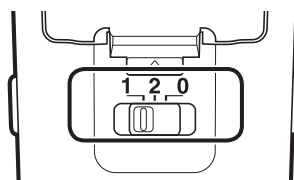
決定　**決定する**

4 **「する」を選ぶ**

決定　**決定する**

おしらせ

本体のボタンで、本体のリモコン番号を設定するには

① 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒間押すと切換メニューが表示されます。
② 本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号 2」を選択します。
③ 本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定します。

◆リモコン側の切り換え

● リモコン背面のリモコン番号切換スイッチの位置を「1」または「2」に切り換えます。

※「0」については、左記をご覧ください。なお、「0」でお使いになるとき本体側のリモコン番号は「1」にしてください。

本体のリモコン番号をリモコンに合わせる

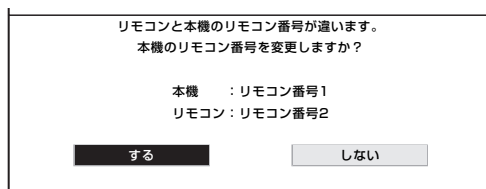
● リモコンと本体のリモコン番号が異なるとき、本体をリモコンのリモコン番号に合わせることができます。

1 画面表示 **リモコン番号が異なるときに 5 秒以上押し続ける**

- 本体のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 **メッセージを確認し、「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

▼本体のリモコン番号変更画面

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。

おしらせ

- 本体のリモコン番号変更画面が表示されてから、10 秒以内に操作を行ってください。約 10 秒を経過すると、画面が消えます。

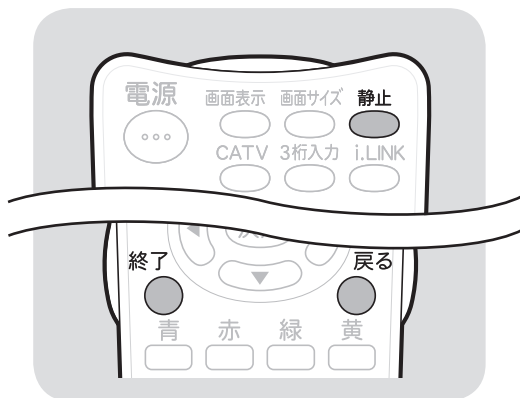
個人情報を初期化したときは

- 個人情報を初期化すると、本体側のリモコン番号は「1」に戻ります。

見ている画面を静止させる

● いま見ている放送や映像を静止できます。料理番組のメモをとったりするときに便利です。

おしらせ

- 次の場合は、静止画が解除されます。
  - ・選局や入力切換の操作をしたとき
  - ・メニューボタンを押したとき
  - ・i.LINK ボタンを押したとき
  - ・映像を静止してから 30 分経過したとき
- 静止画表示中は画面サイズや AV ポジションの切り換えや、番組表、裏番組、番組情報の表示はできません。

静止 **視聴中に映像を静止させる**

- 視聴中の映像が静止画になります。

静止画

- 元に戻すには戻るボタン、終了ボタンまたは静止ボタンを押します。

画面や映像・音声を調整する

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは（画面サイズ）

- 画面サイズを切り換えて、映像の左右や上下の幅を変えることができます。
- 映像の種類（▶97ページ）によって、選べる画面サイズは異なります。

ノーマル	スマートズーム	ワイド
通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。	通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。
Dot by Dot／アンダースキャン	**フル**	**シネマ**
入力信号どおりの映像で映します。 16:9　16:9	16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。

押すボタン

1 画面サイズ **画面サイズ切換メニューを表示する**

- 表示中につぎの操作を行います。

2 画面サイズ **お好みの画面サイズを選ぶ**

- 上下カーソルボタンでも選べます。

映像の種類	選択できる画面サイズ
480i 地上アナログ放送ビデオ映像など 480p	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →
1080i ハイビジョン	→フル1 →フル2（1035i）※1 → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →
720p※2 ハイビジョン	→ フル → アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →
1080 p ※3 ハイビジョン	→ フル → Dot by Dot →スマートズーム →ワイド →シネマ →

※ 1 1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。

※ 2 デジタル放送を視聴しているときや i.LINK 入力の場合、選択できる画面サイズは 1080i と同じになります。

※ 3 AV ポジションを「PC」にしているときは、Dot by Dot 以外は選べません。

重要

- 本機の画面サイズ切換機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常（4：3）の映像を、画面サイズ切換機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換機能で最適なサイズに切り換え、「位置調整」（▶ 90 ページ）で「垂直位置」を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（オートワイド機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

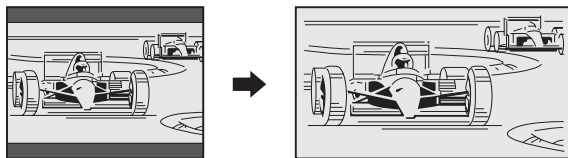
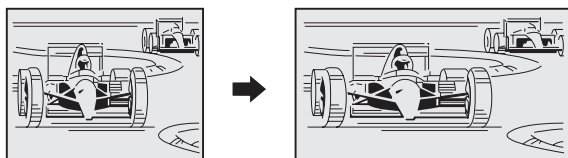
映像を自動で最適な大きさに切り換える／画面の大きさが勝手に変わるのを防ぐ（オートワイド機能）

● オートワイド機能は、オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示する機能です。デジタル放送視聴時は選択できません。

項目	内容
映像判別	受信している地上アナログ放送や入力１～６から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」（▶ **84** ページ）にします。
HDMI 識別	入力１・２・３から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。
D 端子識別 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力４・５のＤ映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。Ｄ端子ケーブルのときは「する」に設定すると自動的に最適な画面サイズにします。D- コンポーネント変換ケーブルのときはＤ端子識別は働かないため「しない」に設定します。
S2 対応 （入力選択が「ビデオ映像」以外のとき）	入力６の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

- ビデオ機器やゲーム機などを S2 映像端子やＤ映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってはオートワイド機能が働かない場合があります。
- 映像判別は、Ｄ端子から入力された映像が 480p、1080i、720p の場合は働きません。また、HDMI 端子から入力された映像が、1080i、720p、1080p の場合も働きません。
- S2 対応を設定しても、入力された映像によっては最適な画面サイズにならない場合があります。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像の場合

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)の場合(映像判別を除く)

画面が大きくなったり小さくなったりするときは

- オートワイド機能が働いているときに、画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは最適な画面サイズを探すために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、手順 **4** ～ **5** ですべての項目の設定を「しない」にしてください。

1

設定したい放送や入力に切り換える

映像判別を設定するとき

- 地上アナログ放送を選局するか、入力１～６に切り換えます。

HDMI 識別を設定するとき

- HDMI ケーブルをつないだ入力１・２・３に切り換えます。

D 端子識別を設定するとき

- Ｄ端子ケーブルをつないだ入力４･５に切り換えます。

S2 対応を設定するとき

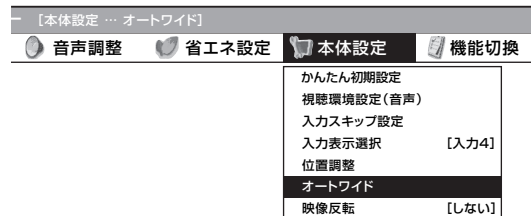
- Ｓ端子ケーブルをつないだ入力６に切り換えます。

2 メニュー

メニューを表示する

3

「本体設定」－「オートワイド」を選ぶ

決定する

4

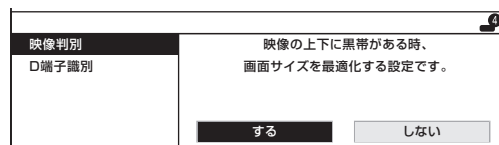
設定したい項目を選ぶ

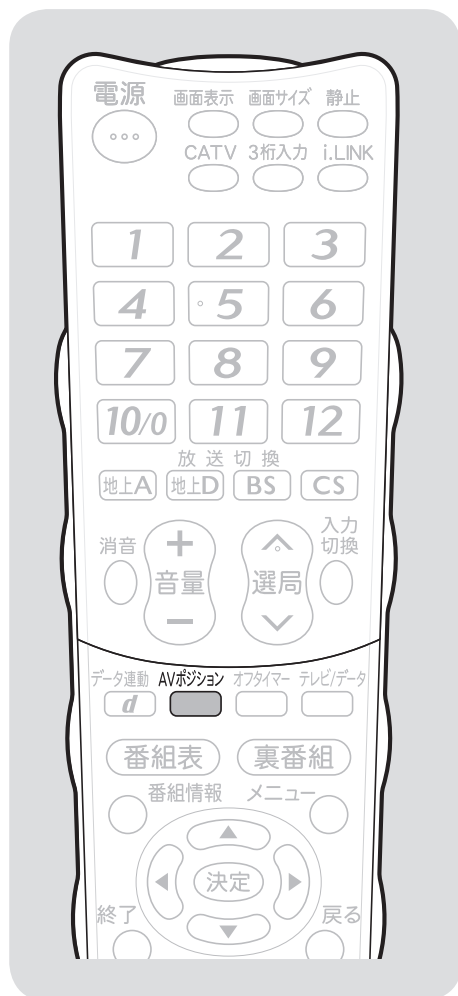
決定する

5

「する」を選ぶ

決定する

（例）映像判別の場合

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

映画やゲームなどに適した映像・音声にする（AV ポジション）

項目	内容
標準 （工場出荷時の設定）	映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 すばやい反応を要求されるゲームの場合は、このモードでお使いください。
PC	PC 用の画面モードです。
AV メモリー	入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
ダイナミック （固定）	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な画質になります。 この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。
ダイナミック	くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あるものにします。

押すボタン

1 AV ポジションを表示する

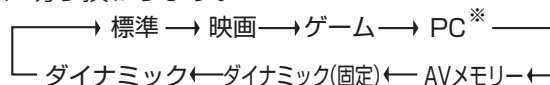
• 画面左下に現在のAV ポジションが表示されます。

AVポジション：標準

AVポジション表示

2 表示が出ている間に再び AV ポジションボタンを押し、お好みの設定を選ぶ

• ボタンを押すたびに、AV ポジションがつぎのように切り換わります。

標準 → 映画 → ゲーム → PC※ → AVメモリー → ダイナミック(固定) → ダイナミック → 標準

※「PC」は入力１～３、入力７選択時に表示されます。

おしらせ

• AV ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、映像調整（▶ **87・88** ページ）を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
入力切換を行っても、「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
• 入力ごとに個別の調整を用意したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
• AV ポジションは入力ごとに別のものを選べます。（例えば、テレビは「標準」、入力 1 は「ダイナミック」など）ただし、i.LINK 入力のときはテレビのときと同じ AV ポジションになります。

画面の明るさや色を変えるには（映像調整）

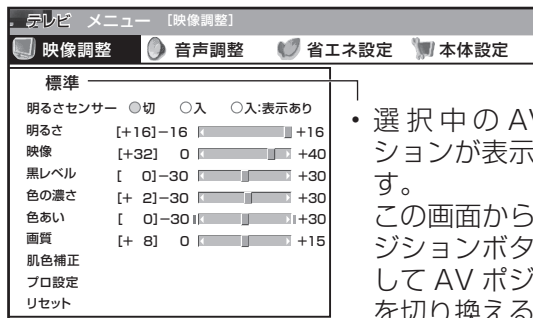
● 選択しているAVポジションの映像を調整できます。

項目	内容
明るさセンサー	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。 明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で調整することもできます。 （明るさセンサーの設定 ▶ **88** ページ）
明るさ	画面をお好みの明るさに調整します。調整すると明るさセンサーは「切」になります。
映像	映像の明るい部分の明るさを調整します。
黒レベル	映像の暗い部分の明るさ調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色あい	色を調整します。
画質	画面をお好みの画質に調整します。
肌色補正	肌色を検出して色を調整します。
プロ設定	映像をさらにきめ細かく調整します。（▶ **88** ページ）
リセット	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

押すボタン

1 映像調整をしたいAVポジションを選ぶ

2 メニューを表示する

3 「映像調整」を選ぶ

・選択中のAVポジションが表示されます。
この画面からAVポジションボタンを押してAVポジションを切り換えることもできます。

4 調整したい項目を選ぶ

5 「明るさセンサー」～「画質」を設定する場合
左右カーソルボタンでお好みの設定にする

「肌色補正」および「プロ設定」を設定する場合
決定ボタンを押し、画面に従って操作する
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ
・AVポジションごとに、お好みの映像調整を記憶できます。先にAVポジション（▶ **86** ページ）を選んでから映像調整してください。

AVポジションによる違いについて
・「ダイナミック（固定）」では、調整できません。
・「AVメモリー」は、入力ごとの調整となります。
・その他のAVポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

映像調整の各項目の設定範囲については、▶168・170ページをご覧ください。

次のページに続く

プロ設定の項目

「プロ設定」の各項目の設定範囲については、「メニュー項目の一覧」（▶ **168**・**170** ページ）をご覧ください。

項目	内容
カラーマネージメント※1	色の構成要素となる６つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
色温度	青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。また、色温度ごとに R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの値を変えて、ホワイトバランスを微調整することができます。
QS 駆動（120Hz）	• **アドバンス**（120Hz 駆動）：通常 60 コマ／秒で表示される映像を 120 コマ／秒に補間し、より滑らかに表示します。また、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **スタンダード**：動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 • **しない**：QS 駆動を停止します。
アクティブコントラスト	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。
ガンマ設定	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を、あらかじめ設定されている４つの中から選べます。
Ｉ／Ｐ設定	「動画より」の設定（通常のテレビ放送やビデオなどをきめ細かい映像で楽しむモード）と「静止画より」の設定（静止画やグラフィックなどの画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 元がプログレッシブの映像（480p、720p、1080p）および PC 信号入力では、選択できません。
フィルムモード	フィルム収録のＤＶＤなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生します。 ＡＶポジションが「ゲーム」のとき、元が 480p、720p、1080i、1080p の映像および PC 信号入力では、選択できません。
３次元ノイズリダクション	ビデオなどの再生映像を､すっきりさせる機能です。1080pの映像およびAVポジションが｢PC｣のときは､選択できません。
３次元設定	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、選択できません。
モノクロ	白黒映像にします。
明るさセンサー設定	明るさセンサー「入」時の、稼動範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。

プロ設定を工場出荷時の設定に戻したいときは

• ▶ **87** ページの手順**４**で｢リセット｣を選び､決定ボタンを押します。左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

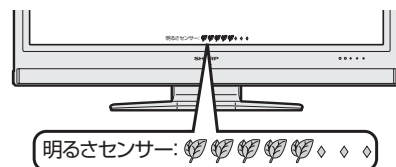
※1 **カラーマネージメントの調整項目について**
例: 色相の調整の場合

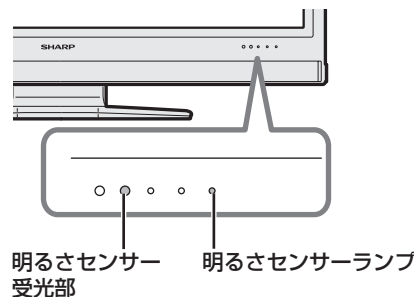
系統色	調　整 −30……………0……………+30
R(赤)	マゼンタに近づく⟷黄に近づく
Y(黄)	赤に近づく⟷緑に近づく
G(緑)	黄に近づく⟷シアンに近づく
C(シアン)	緑に近づく⟷青に近づく
B(青)	シアンに近づく⟷マゼンタに近づく
M(マゼンタ)	青に近づく⟷赤に近づく

おしらせ

• 「QS 駆動（120Hz)」の設定を「アドバンス」または「スタンダード」にすると映像が乱れる場合があります。その場合は「しない」にしてください。
• QS 駆動の設定を「アドバンス」にしても映像によっては、効果がわからないことがあります。

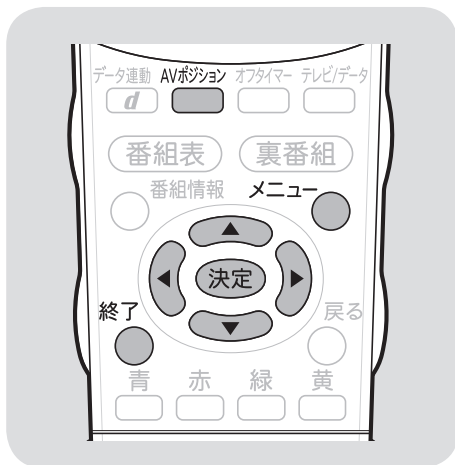
明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

• 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。

メニューや音量表示中、消音中は表示されません。

• 明るさセンサー受光部の前にものを置くと明るさを感知できなくなります。
• 明るさセンサーを「入」または「入：表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

画面のチラつきやざらつきを抑えてすっきりさせるには

• 左記の「プロ設定」の「3 次元ノイズリダクション」を「強」または「弱」に設定してみてください。

お好みの音質にするには（音声調整）

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。
- お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

おしらせ

- ＡＶポジションごとに、お好みの音声調整を記憶できます。先にＡＶポジション（▶ **86** ページ）を選んでから音声調整を行ってください。

次の場合は音声調整が行えません。

- AV ポジションを「ダイナミック（固定)」にしているとき
- 「ヘッドホン設定」が「モード 1」でヘッドホンを接続しているとき
- 入力 6 端子設定を「モニター出力（可変)」に設定しているとき
- ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS オーディオで聞く」に設定しているとき

サラウンドについて

- ヘッドホンで音声を聴いているときや、入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
- 放送や DVD などのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

工場出荷時の設定に戻したいときは

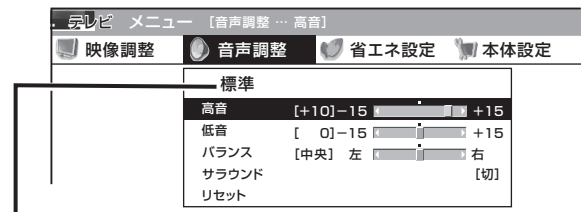
- 手順 **4** で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
  左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。

項目	内容
高音	高音を調整できます。
低音	低音を調整できます。
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

押すボタン

1 AVポジション
音声調整をしたい AV ポジションを選ぶ

2 メニュー
メニューを表示する

3 **「音声調整」を選ぶ**

- 選択中の AV ポジションが表示されます。
  この画面から AV ポジションボタンを押して AV ポジションを切り換えることもできます。

4 **調整したい項目を選ぶ**

5 **「高音」「低音」「バランス」を設定する場合**
左右カーソルボタンでお好みの設定にする

「サラウンド」を設定する場合

決定 **決定ボタンを押す**

「入」または「切」を選ぶ

決定 **決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

音声調整の設定範囲については、▶ 168ページをご覧ください。

はじめに / 準備 / 番組を見る / レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ / ファミリンクで録画・再生 / 本機の機能の活用 / 故障かな・仕様・寸法図など / English Guide

部屋や置きかたに適した音質を選ぶには

● この機能は、当社が開発した視聴環境に適した音質の設定機能です。

- 視聴環境設定は、一般的な洋室、寝室、和室を目安に音を設定していますが、部屋によっては効果が分かりにくい場合があります。その場合は、音声調整（▶**89** ページ）で調整してください。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「本体設定」－「視聴環境設定（音声）」を選ぶ**

決定する

3 **「個別設定」を選ぶ**

決定する

個別設定することで、本機を設置した部屋や
設置場所に合わせたサウンドに設定します。

［現在の設定］

ユーザー選択　：個別設定
部屋の種類　　：洋室
設置場所　　　：コーナー置き

標準　個別設定

- 「標準」は、設定オフの状態になります。

4 **視聴している部屋の種類を選ぶ**

決定する

洋室	フローリングの床のように反響の大きい部屋の場合に選びます。
寝室	ベッドなどの音声を吸収するものがある部屋の場合に選びます。
和室	畳部屋で音声を吸収する大きな家具がない部屋の場合に選びます。

5 **本機の設置場所を選ぶ**

決定する

壁寄せ	部屋の壁面に平行に設置している場合に選びます。
コーナー置き	部屋の角に設置している場合に選びます。
壁掛け	専用の壁掛け金具で、部屋の壁に設置する場合に選びます。（▶**176**ページ）

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

画面の位置がずれているときは（位置調整）

● メニューの「本体設定」－「位置調整」で設定します。

項目	内容
水平位置	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
垂直位置	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。

レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ

ビデオデッキやハードディスク・DVD(HDD/DVD)レコーダーで録画・再生する

AQUOSレコーダーで録画・再生する(ファミリンク機能を使う)

ハイビジョン録画対応の i.LINK 端子付き録画機器で録画・再生する(AQUOSレコーダー以外の機器)

パソコンやオーディオ機器など、その他の機器をつなぐ

ビデオデッキやDVDプレーヤーなどを再生する

ビデオデッキやDVD プレーヤーをつなぐ

● お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

おしらせ

- 映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（黄と黄、白と白、赤と赤）につなぎます。
- 映像の種類と画質について ▶ **97**・**180** ページ
- 高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- **ゲーム機との接続については、132 ページをご覧ください。**

※１ HDMI ケーブルは、必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。

※２ 入力６の S2 映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定できます。（S2 対応▶ **85** ページ）

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

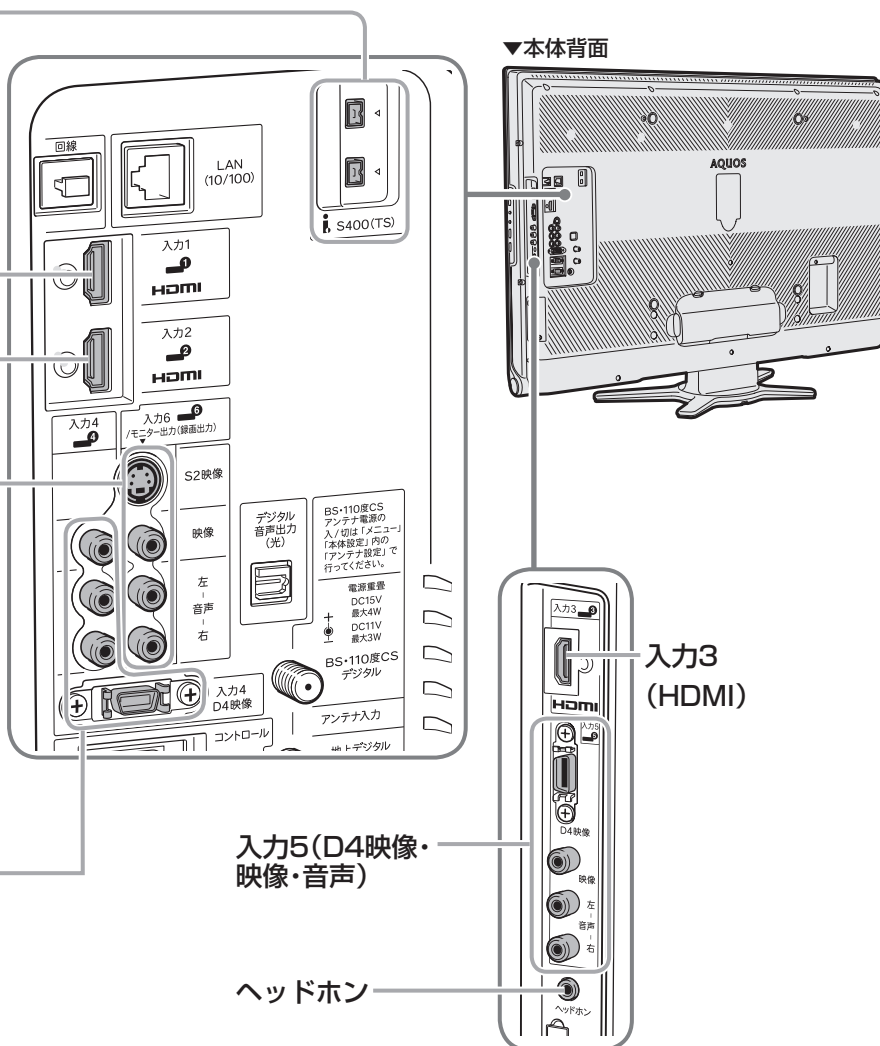
おしらせ

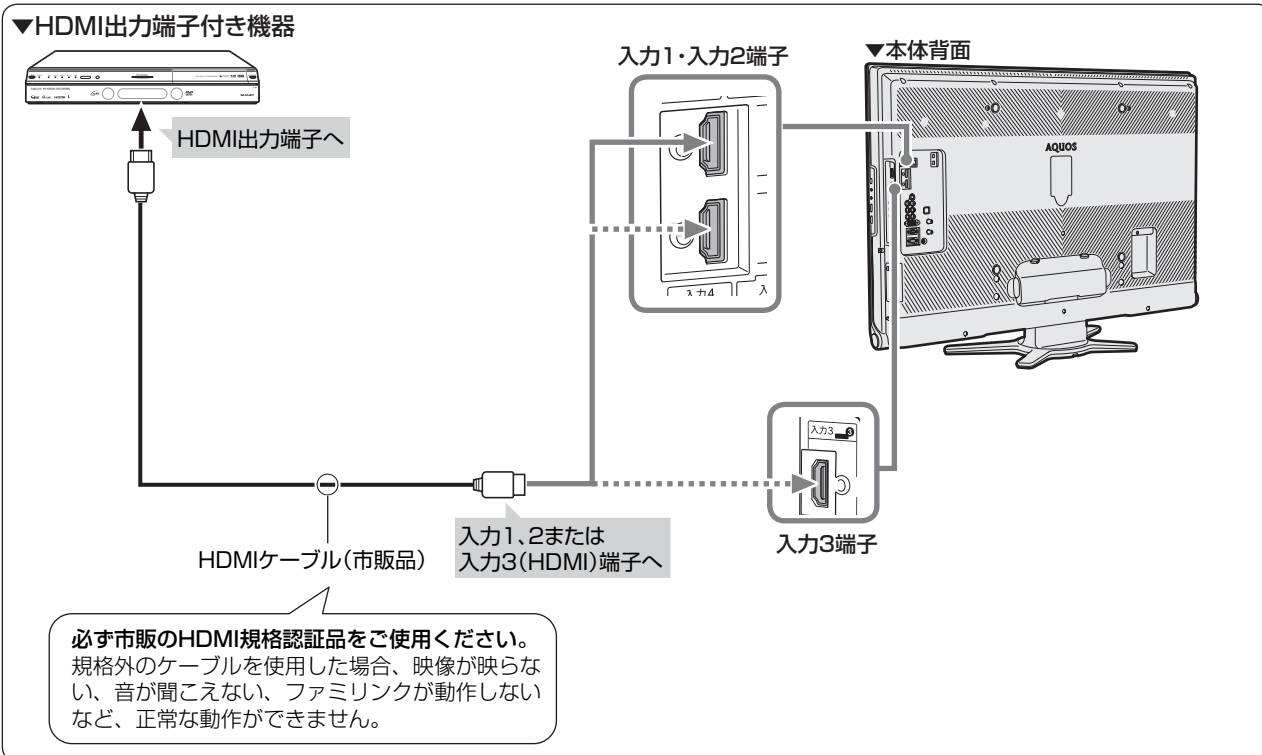
外部機器側の接続端子について

- 詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

ビデオデッキをお持ちの場合

- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

次のページに続く

HDMI 出力端子付き機器の接続のしかた

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
- HDMI 出力端子付き機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力 1」、「入力 2」または「入力 3」を選びます。

おしらせ

- HDMI 入力では、HDMI ケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI 認証ケーブルを使用してください。
- 「機能切換」－「PC 音声選択」を「入力 2（HDMI）」に設定しているときは、入力 2 に HDMI 機器を接続しても入力 2 の音は出ません。（入力 2 ／入力 7 音声入力端子に接続している機器の音声が出ます。）
  入力 2 に HDMI 機器を接続するときは、「機能切換」－「PC 音声選択」を「入力 7（PC）」にしてください。
  （▶ **140** ページ）

対応している映像信号

- 1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA
- PCの接続と対応する信号について、詳しくは▶ **137** ページをご覧ください。

対応している音声信号

- 種類：リニア PCM

  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

HDMI出力端子付き機器がファミリンク対応AQUOSレコーダーやAQUOSオーディオなどの場合は、本機のリモコンで操作できます。
詳しくは▶**110**ページをご覧ください。

ビデオデッキやDVDプレーヤーの画面に切り換える（入力切換）

灰色で表示した手順は外部機器の操作です。

押すボタン

1 外部機器を本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいビデオテープやディスクをセットする

3 入力切換メニューを表示する

入力切換

・表示中につぎの操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換

・選択した入力に切り換わります。
・上下カーソルボタンでも選べます。
・例えば、本機の入力１に接続した機器の映像を見たいときは、「入力１」を選びます。

選べる入力について

・入力４・５は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
・入力６は、入力６端子設定（▶ **105** ページ）を「入力」にし、入力６に外部機器が接続されているときのみ選択できます。
　出力に設定しているときは、「モニター出力」または「録画出力」と表示されます。

5 外部機器を再生状態にする

・外部機器の再生映像が本機の画面に表示されます。
・外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。
　設定のしかたについては、接続した外部機器の説明書をご覧ください。

おしらせ

本体の入力／放送切換（決定）ボタンでも入力を切り換えられます

・ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。
　→地上 A→地上 D→BS→CS→i.LINK（接続時）→入力1～7→（地上 Aに戻る）
　（放送の種類も切り換えられます。）
・このときは、入力切換メニューは表示されません。

次のページに続く

入力４～６の映像が表示されないときは（入力選択）

● 入力４～６の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 入力切換 **表示されない入力(入力４～６)を選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「機能切換」－「入力選択」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **「D 端子」「S 端子」「ビデオ映像」のいずれかを選ぶ**

決定 **決定する**

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子または S 端子がビデオ映像より優先されます。(D 端子は入力４・5、S 端子は入力６です。)

使用していない入力をスキップするには（入力スキップ設定）

● 入力１～３、入力７を使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「本体設定」－「入力スキップ設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **スキップしたい項目を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **「する」を選ぶ**

決定 **決定する**

おしらせ

- 同様の操作で、本体の入力／放送切換（決定）ボタンで入力／放送を切り換える場合に地上 A、地上 D、BS、CS を飛ばして切り換える（スキップする）設定もできます。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

● 入力１～７に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

例えば、入力５にゲーム機をつないだとき、入力切換メニューの「入力５」を「ゲーム」の表示にできます。

● お好みの名称を入力できる「ユーザー設定」の「編集」機能もあります。

例）入力5を「ゲーム」の表示にする

1 入力切換 **変更したい入力を選ぶ**

- ここでは「入力５」を選びます。

2 メニュー **メニューを表示する**

3 **「本体設定」－「入力表示選択」を選ぶ**

決定 **決定する**

4 **表示させたい名称を選ぶ**

- ここでは「ゲーム」を選びます。

決定 **決定する**

ユーザー設定について

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。
（「文字を入力するには」▶ **146**ページ）
- ここで入力できるのは全角で5文字まで、半角で10文字までです。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・入力ごとに設定できる名称は異なります。

表示できる名称について

入力1／入力2／入力3

(自動)入力1 ※	入力1 ※	ビデオ1 ※
ビデオ	HDMI	HDMI1 ※
DVD	ゲーム	HDD
DVR	BD	

※「入力2」選択時は、(自動)入力2 入力2 ビデオ2 HDMI2 と表示されます。(入力3も同様)

- HDMI機器を接続し、「(自動)入力1」の表示に設定されている場合、表示の内容が変わることがあります。(「自動(入力2)」「自動(入力3)」も同様)

入力4／入力5

入力4 ※	ビデオ4 ※	ビデオ
コンポーネント1 ※	コンポーネント	D端子1 ※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力5」選択時は、入力5 ビデオ5 コンポーネント2 D端子2 と表示されます。

入力6

入力6	ビデオ6	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

※ 入力6端子設定を「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定しているときは、「モニター出力」または「録画出力」と表示されます。

入力7

入力7	ビデオ7	ビデオ
RGB	DVD	ゲーム
PC		

見られる映像の種類について

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/60Hz)、720p、1080i、480p、480i、VGA

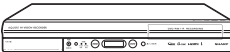
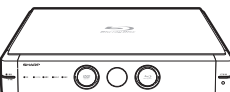
・対応している音声信号はリニアPCM、サンプリング周波数48kHz、44.1kHz、32kHzです。

D端子につないで見られる映像の種類

D端子の種類	映像の種類
D4	720p、1080i、480p、480i
D3	1080i、480p、480i
D2	480p、480i
D1	480i

おしらせ

・映像の種類について詳しくは、▶ **180** ページをご覧ください。

映像の種類（1080i など）は
放送方式の種類を走査線数で表したものです
数字が大きいほど高精細な映像になります
また D 端子の種類は数字が大きいほど
高画質な映像に対応しています
本機は D4 映像の入力に対応しています

デジタル放送の録画と予約について

デジタル放送の録画について

● 録画機器の種類と録画のしかたにより、つなぎかたや操作のしかたが異なります。

重要

・ あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・ 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

録画機器の種類	つなぎかた	すぐに録画する場合	録画予約する場合
ファミリンクに対応したレコーダー	▶**111**ページ	▶**114**ページ	▶**99～100**ページ ▶**115**ページ
ハイブリッドダブレコ※に対応したレコーダー ※ ハイブリッドダブレコについては▶**100**ページをご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。	レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
i.LINK機器	▶**120**ページ	▶**126**ページ ▶**128**ページ	▶**99～100**ページ ▶**130**ページ
ビデオデッキやデジタルチューナーが搭載されていない録画機器	▶**104**ページ	▶**105～106**ページ	▶**105・107～109**ページ

・ 本機の入力6 ／モニター出力（録画出力）端子から出力される映像は、**標準画質**です。ハイビジョン画質の映像をハイビジョン画質のまま録画するには、以下の方法があります。
  ・ i.LINK機器をお持ちの場合：i.LINK機器をi.LINK接続し本機で受信した放送を録画する。（▶**120**～**131**ページ）
  ・ デジタルチューナー付きハイビジョン対応録画機器をお持ちの場合：録画機器で録画する。（▶録画機器の取扱説明書）
・ 録画する場合は、「デジタル固定」または「VHSテープ予約」で録画することをおすすめします。

おしらせ

・ 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
・ 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを通してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とビデオデッキを直接接続してお楽しみください。

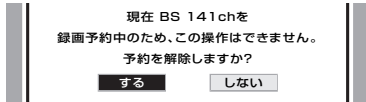
予約のながれ（「視聴予約」と「録画予約」）

おしらせ

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 予約は最大 16 番組です。
- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **102** ページをご覧ください。
- 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
- テレビの電源が切れている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、出力されません。MD へ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。

実行中の録画予約を解除するには

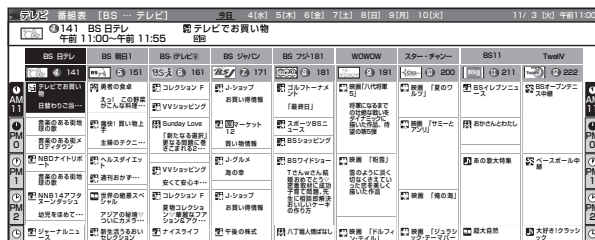
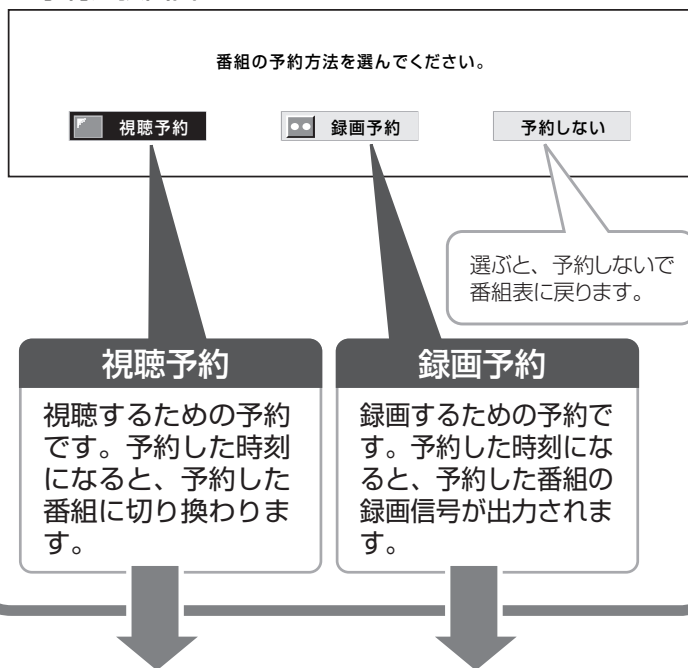
- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 141chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

録画予約したときの選局などの操作の制限について

- 「ファミリンク［1］（標準）」の場合
  録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局や番組表などの操作はできません。
  ※番組によっては終了時刻が未定の場合もあります。このときは、番組の終了時刻が決定するまで、選局や番組表などの操作はできません。
- 「ファミリンク［2］（i.LINK）」または「VHS テープ予約」の場合
  録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が終了するまで、選局や番組表などの操作はできません。

1 デジタル放送を視聴中に電子番組表を表示させる

2 予約したい番組を選ぶ

- 日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

3 予約の種類を選ぶ

次ページの手順5へ　　次ページの手順4へ

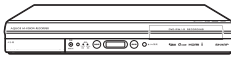
コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター
電話：0570-000-288（午前 10 時〜午後 8 時）
（2008 年 5 月現在）

ダビング 10 について

- デジタル放送のすべてがダビング 10 になるわけではありません。

4 録画予約の方法(録画機器)を選ぶ

※ ハイブリッドダブレコについて:対応のAQUOSレコーダーでは、レコーダーのチューナーで録画している時間でも本機のチューナーを利用して2番組同時に録画できます。詳細はレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 現在接続されている機器が表示されます。
- ファミリンク[1][2]は、機器が接続されていない場合は選択できません。予約する前に機器を接続し、録画に使用する機器を選択してください。

5 予約する

① 「予約する」を選ぶ

- 無料放送や契約済みの番組を予約します。

▼視聴予約·ファミリンク[1](標準)予約の場合

予約する	予約しない

▼ VHSテープ予約·ファミリンク[2](i.LINK)予約の場合

予約する	詳細を設定する	予約しない

「詳細を設定する」を選んだ場合は

- 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像や音声を選べます。(▶ **109** ページ)
- ファミリンク [2](i.LINK)で予約した場合は、録画する i.LINK 機器を変更できます。(▶ **131** ページ)

② 「戻る」を選び、予約を終了する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

見たい番組を予約する（視聴予約）

● 電子番組表で視聴予約すると、設定した時刻に自動的に予約した番組に切り換わります。（電源待機状態のときは、自動的に電源が入ります。）

● 見たい番組の見逃しを防いだり、番組開始までテレビを消しておきたい場合などに便利です。

押すボタン

1 電子番組表を表示する

2 予約したい番組（まだ放送されていない番組）を選ぶ

決定 決定する

• ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **73** ページ）

3 「視聴予約」を選ぶ

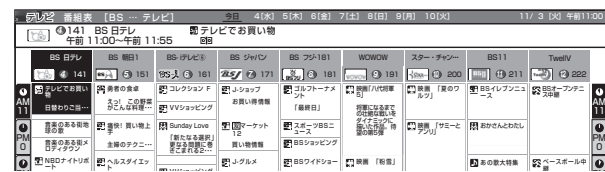
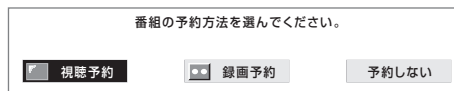
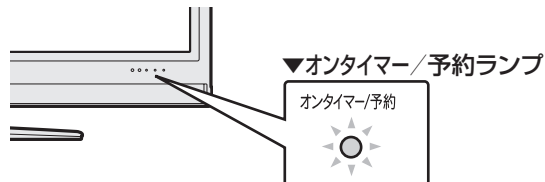
決定 決定する

4 「予約する」を選ぶ

決定 決定する

5 決定 「戻る」で決定する

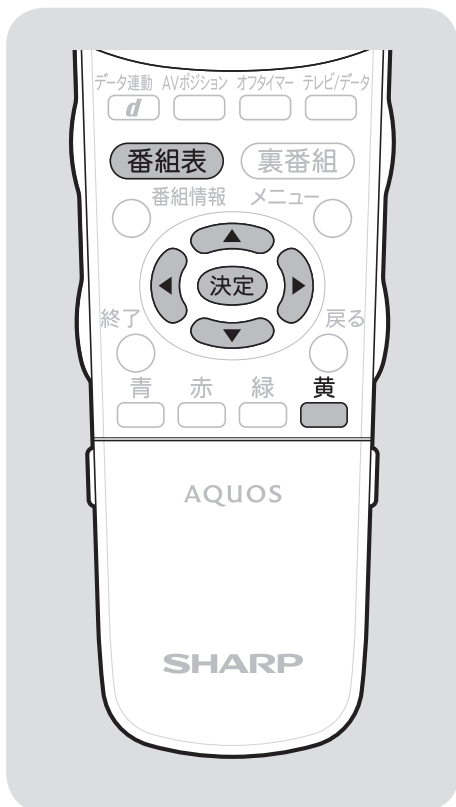
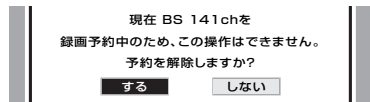
この番組を視聴予約しました。

戻る

• 視聴予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

• 本機の電源を切るときは、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

おしらせ

• 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
• 予約は最大 16 番組です。
• 予約の確認・取り消し・変更については▶ **102** ページをご覧ください。
• 別の予約と日時が重なっている場合は、先に設定した予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
• 視聴予約の開始によって本機の電源が入ったときは、番組が終了すると自動的に電源が切れます。ただし、何らかの操作をすると番組が終了しても電源は切れません。

予約の確認・取り消し・変更をするには

● 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

1 番組表 **電子番組表を表示する**

黄 **予約リストを表示する**

放送局名・番組名・放送日時

視聴のみの予約

テレビ 番組表 [BS … テレビ]　今日 4[水] 5[木] 6[金] 7[土] 8[日] 9[月] 10[火]　11/ 3 [火] 午前11:00

101 NHK BS1 午前 11:25:00~午前 11:55:00　街角ステーション

予約リスト　予約内容の確認・変更・取消ができます。

種別	放送局	チャンネル	番組名	放送日時
視聴予約	NHK BS1	101	街角ステーション	11/ 3[火]午前11:25:00~午前11:55:00
録画予約	BS日テレ	141	テレビでお買い物	11/ 3[火]午前11:00:00~午前11:55:00
視聴予約	BS-iテレビ⑥	161	コレクション F	11/ 3[火]午前11:00:00~午前11:30:00
視聴予約	BS日テレ	141	音楽のある街 地球の歌	11/ 3[火]午後 0:00:00~午後 0:30:00
録画予約	BS朝日1	151	痛快!買い物上手	11/ 3[火]午後 0:00:00~午後 0:55:00
視聴予約	BSジャパン	171	マーケット12	11/ 3[火]午後 0:00:00~午後 0:50:00
視聴予約	BS朝日1	151	ヘルスダイエット	11/ 3[火]午後 1:00:00~午後 1:30:00
録画予約	BS-iテレビ⑥	161	VVショッピング	11/ 3[火]午後 1:15:00~午後 2:00:00
録画予約	BSジャパン	171	J-グルメ	11/ 3[火]午後 1:00:00~午後 1:50:00
視聴予約	BS日テレ	141	NNB14アフタヌーンダッシュ	11/ 3[火]午後 2:00:00~午後 2:55:00
録画予約	BS朝日1	151	世界の絶景スペシャル	11/ 3[火]午後 2:00:00~午後 3:00:00
視聴予約	BS-iテレビ⑥	161	ニュースパーク	11/ 3[火]午後 3:30:00~午後 4:30:00

録画予約

2 **確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ**

決定 **決定する**

- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

3 ◆ **予約を取り消したいとき**

「取り消す」を選ぶ

決定 **決定する**

「する」を選ぶ

決定 **決定する**

◆ **予約を変更したいとき**

「変更する」を選ぶ

決定 **決定する**

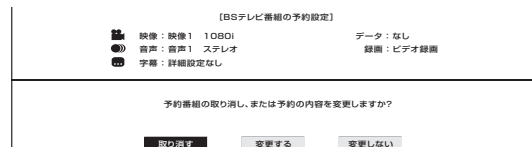
予約操作をやりなおす

- VHS テープ予約のときは ▶ **108** ページ
- ファミリンク [1]（標準）で予約したときは ▶ **115** ページ
- ファミリンク [2]（i.LINK）で予約したときは ▶ **130 ～ 131** ページ

[BSテレビ番組の予約設定]
映像：映像1　1080i　データ：なし
音声：音声1　ステレオ　録画：ビデオ録画
字幕：詳細設定なし
予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか?
取り消す　変更する　変更しない

実行中の録画予約を解除するには

- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか?」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

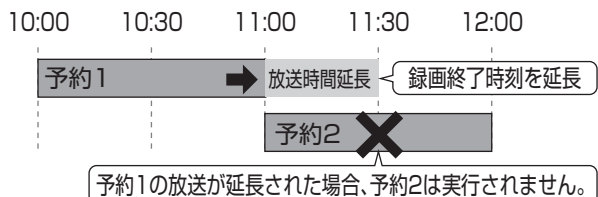
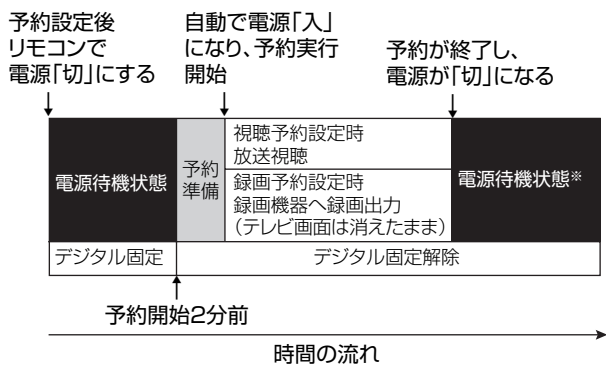
現在 BS 141chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

録画と予約のこんなときは／録画予約がうまくできないときは

こんなときは

電子番組表から予約した番組の放送時間が変更されたときは

- 変更された放送時間に合わせて、視聴または録画できます。（ファミリンク［1］（標準）の場合を除く）
  ［例］**録画予約したスポーツ中継が延長された場合**
  →スポーツ中継が終了するまで録画します。

  録画予約したドラマの放送時間がスポーツ中継の延長で遅れた場合
  →遅延した放送時間で録画します。
  ただし、放送局からの情報によっては、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

  ※「VHS テープ予約」で外部自動録画に対応していない録画機器の場合、録画機器に手動で予約設定するため放送時間の変更後は録画されません。
  外部自動録画に対応していない録画機器に、放送時間が変更される可能性が高い番組を録画したいときは、録画機器の予約設定をするときに、変更時間を見込んで予約してください。
- 延長した予約と他の予約が重なったときは、他の予約は実行されません。

予約設定時から予約終了後までの本機の動作

※ 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

デジタル固定中のときは

- デジタル固定中に視聴・録画予約開始 2 分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

録画予約ができないときは

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

- 受信機レポート（▶ **158** ページ）をご確認ください。
  - 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
  - レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
  - レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時刻に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。
  - 受信機レポートに「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の接続（▶ **120** ページ）や選択（▶ **124** ページ）を見直してください。

VHS テープ予約で録画できないときは

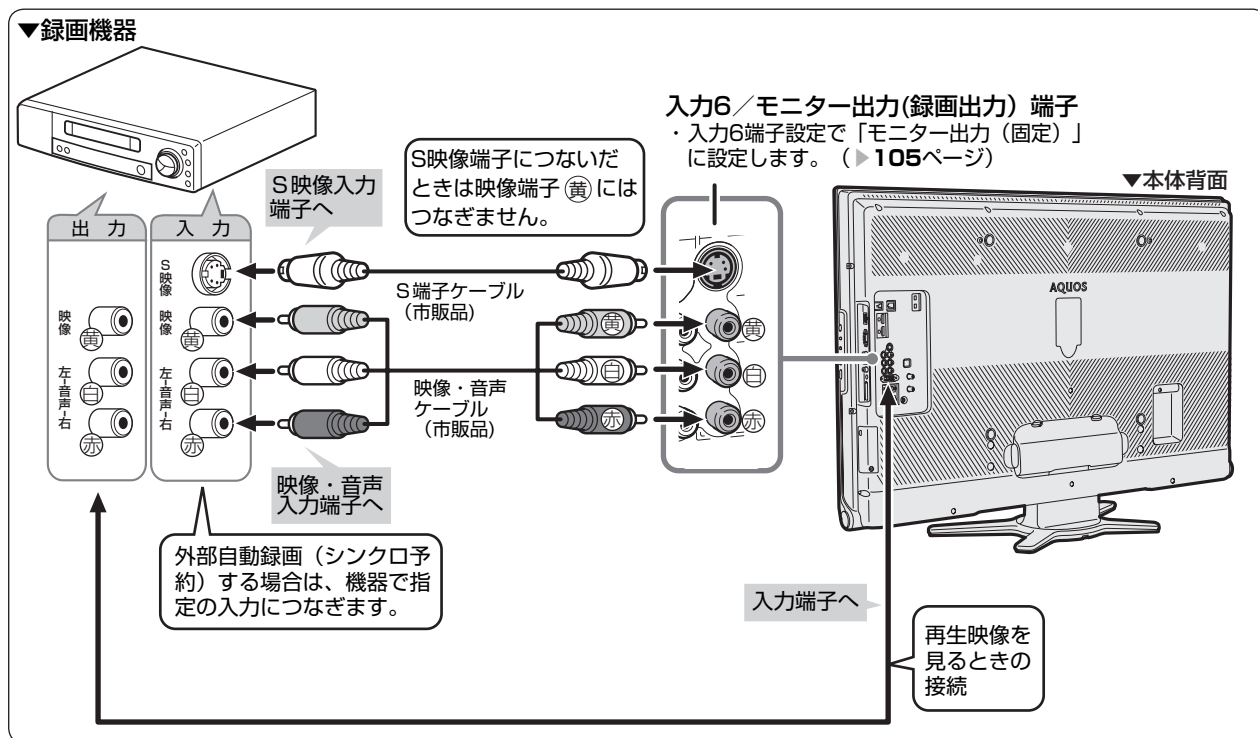
- 録画予約を設定したら、リモコンでビデオデッキの電源を切ってください。電源が入っていたり、ビデオデッキの操作中は、録画されない場合があります。（お使いの機器により操作のしかたが異なりますので、機器の取扱説明書をご覧ください。）
- 外部自動録画（シンクロ予約）に対応していないビデオデッキの場合は、本機の入力 6 ／モニター出力（録画出力）端子と接続した外部入力から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、デジタル放送を録画できません。
- ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が足りない場合は、正しく録画できません。

デジタル放送をデジタルチューナーが搭載されていない録画機器で録画する

録画の準備をする

● お持ちの録画機器にデジタルチューナーが付いていない場合でも、本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子と接続し、本機で受信したデジタル放送を録画できます。

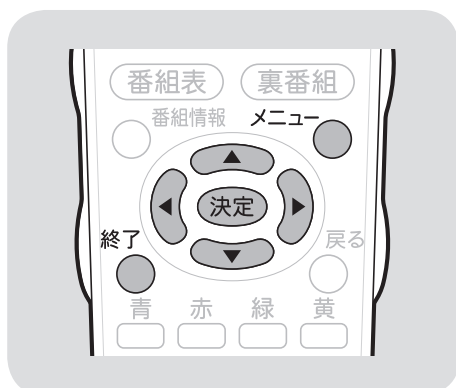
録画機器を接続する

● 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

おしらせ

・ 本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子から出力される映像は標準画質です。

外部自動録画（シンクロ予約）とは

・ 外部自動録画（シンクロ予約）とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。（詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。）
・ お持ちの録画機器に外部自動録画機能（シンクロ予約機能）が付いている場合、録画機器で予約を設定しなくても録画予約できます。
シンクロ予約機能が付いていない場合は、接続している録画機器側で同じ日、時、チャンネルなどの予約が必要です。（▶ **107** ページ）

入力６を出力端子にする（入力６端子設定）

おしらせ

- オンタイマー（▶ **79** ページ）で「オン入力」を「入力６」に設定しているときは、「入力６端子設定」は選べません。

入力端子として使うときは

- 手順 **3** で「入力」を選びます。

「モニター出力（固定）」に設定したときは

- 入力切換メニューの「入力６」の表示が「モニター出力」に変わります。
また、デジタル固定中や録画予約中は「録画出力」と表示されます。

モニター出力の設定には以下の制約があります。

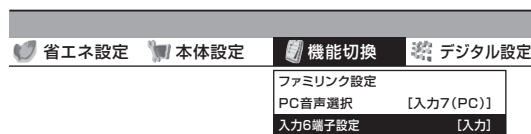
- 入力６／モニター出力（録画出力）端子からは、D4 映像端子、HDMI、アナログ RGB からの入力は出力されません。
- S2 端子は、デジタル放送のみ出力されます。

TV視聴状況＼出力	入力6／モニター出力(録画出力)	
	S2端子	映像端子
地上アナログ	×	○
地上D/BS/CS	○	○
ビデオ映像	×※	○※
D端子映像	×※	×※
HDMI信号	×※	×※
アナログRGB信号	×※	×※

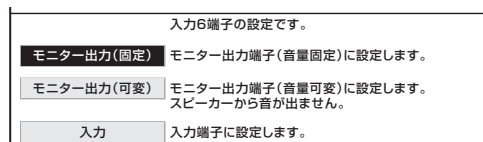
※録画予約中は、予約番組（デジタル放送）を出力します。また、デジタル固定中は、固定したデジタル放送を出力します。

押すボタン

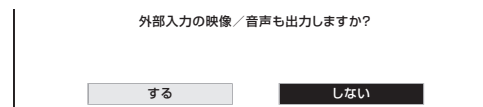
1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「入力６端子設定」を選ぶ

決定　決定する

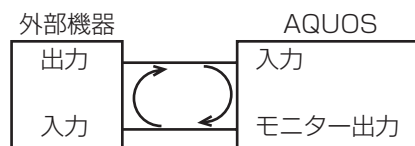
3 「モニター出力（固定）」を選ぶ

決定　決定する

- 音声出力端子から出力される音量レベルが一定の大きさで固定されます。
- スピーカーの音量を調整しても音声出力端子の音量レベルは変わりません。

4 「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 本機と録画機器をループ接続（下図）している場合、「する」を選ぶと、ハウリング（ブー音）や画面の乱れが生じます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

視聴中の番組を録画する

灰色で表示した手順は録画機器の操作です。

1 メニュー **入力６端子を「モニター出力(固定)」に切り換える（▶ 105ページ）**

2 **録画機器の電源を「入」にし、録画の準備をする**

- 録画機器を本機とつないだ外部入力に切り換えます。

3 **録画するデジタル放送の番組を選局する**

（NHK ハイビジョンを選局したときの画面表示例）

4 **録画機器側の録画操作をする**

- 録画が始まります。

録画される番組について

- 視聴している番組が録画されます。録画中に他の番組を選局するとその番組が録画されてしまいます。
- 録画中に他の番組を選局できないようにするには、右の「デジタル固定」を設定します。

録画の途中で電源を切るときは

- 右記の「デジタル固定」を設定し、リモコンで電源「切」（待機状態）にしてください。

- 録画機器の操作については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

録画中に選局できないようにしたり電源を切りたいときは（デジタル固定）

● デジタル放送を予約なしで録画している場合、通常は録画中に本機のチャンネルを変えると、変えたチャンネルで録画が続きます。また本機の電源を切った場合（待機状態）は映像が録画できなくなります。

「デジタル固定」を「する」に設定すると、選局の際にメッセージが表示されるので誤ってチャンネルが変わってしまうことを防げます。また、リモコンで電源を切っても映像や音声が出力されるので、録画を続けることができます。

1 **録画するチャンネルを選ぶ**

2 メニュー **メニューを表示する**

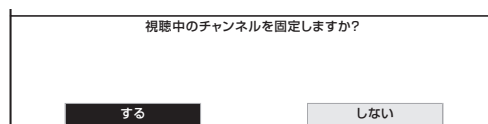
3 **「機能切換」－「デジタル固定」を選ぶ**

 決定する

4 **「する」を選ぶ**

 決定する

視聴中のチャンネルを固定しますか?

する　しない

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- デジタル固定を解除するときは、手順 **4** で「しない」を選び、決定します。
  また、選局に関する操作をして表示される「デジタル固定を解除しますか」の確認画面で「する」を選んでも解除できます。
- 録画予約実行中や i.LINK 入力時は、デジタル固定にできません。
- 録画予約の準備が始まると、デジタル固定は自動的に解除されます。
- 本体の電源スイッチを切ると、デジタル固定が解除されます。

デジタル放送をビデオデッキで録画予約する（VHS テープ予約）

- 「VHS テープ予約」は、デジタルチューナーのない録画機器（ビデオデッキや HDD レコーダーなど）にデジタル放送を録画するための予約です。

録画予約のながれ

録画機器と本機の電源を切る

↓

録画機器を本機につなぐ ▶104ページ

↓

本機の電源を入れる ▶37ページ

↓

入力6端子を出力用に切り換える ▶105ページ

↓

電子番組表（EPG）で、録画予約したい番組をVHSテープ予約する ▶108ページ

- 予約設定後、リモコンで本機の電源を「切」にします。

おしらせ

- 録画機器がどの方法に対応しているかは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 「外部自動録画に対応しているビデオデッキ」の場合は、番組の延長や放送時間の変更に追従して、録画できます。

外部自動録画に対応していないビデオデッキなどをお使いの場合は、個別の録画機器への予約が必要です。予約したい番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておきましょう。

↓

外部自動録画（シンクロ予約）に対応しているビデオデッキやレコーダーの場合

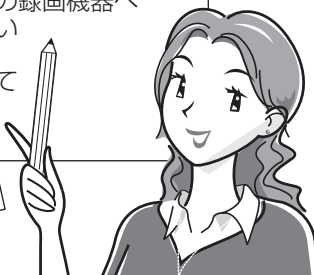
↓

録画機器側の設定をする

① 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定します。

② 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

③ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。（予約開始前に本機の電源を入れると、予約前の放送が録画されてしまいます。）

↓

設定完了

外部自動録画に対応していないビデオデッキやレコーダーなどの場合

↓

録画機器側の設定をする

① 本機で設定した予約と同じ日付・時刻を、録画機器の予約機能で設定します。（上で作成したメモをご覧ください。）

② 予約するチャンネルは、本機を接続した外部入力に設定します。

③ 録画用ビデオテープやディスクを入れ、録画の準備をします。

④ 録画機器のリモコンで電源を「切」にします。

↓

設定完了

- 予約開始時刻になると、録画機器の電源が入り、本機で受信したデジタル放送を録画機器側で録画開始します。
- 予約終了時刻になると、録画機器の電源が切れます。

次のページに続く

重要

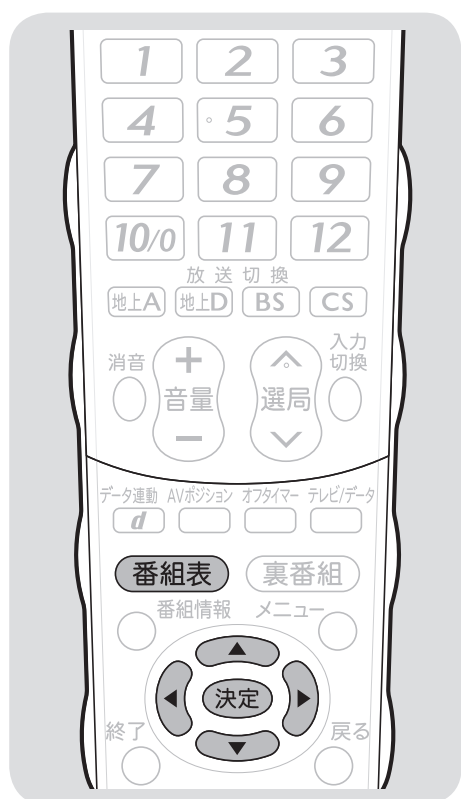
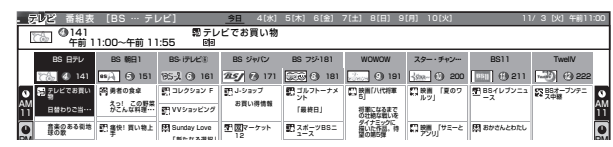
- 録画予約する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。番組が始まる 2 分前までに予約をしてください。開始 2 分前になると、予約できません。
- 録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を設定しているときに本機の電源を入れると､入力６／モニター出力(録画出力）端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）を「しない」状態にしてください。
- 録画機器は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画するので、他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると、予約開始時間になっても他のチャンネルを録画し続けます。
- 録画予約を実行しているときは、他の番組は視聴できません。選局の操作をすると、録画を中止するかどうかの確認メッセージが表示されます。

おしらせ

- 有料放送を予約する場合、有料放送のプラットフォームや放送局と契約していないと予約どおりに録画できません。
- 予約は最大 16 番組です。
- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **102** ページをご覧ください。

1 番組表 **電子番組表を表示する**

2 **予約したい番組を選ぶ**

 決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **73** ページ）
- 外部自動録画に対応していないビデオデッキなどの場合は、番組のチャンネル、録画日、開始時刻、終了時刻をメモしておくと、手順 **6** の後で録画機器側で同じ予約を設定するときに役に立ちます。

3 **「録画予約」を選ぶ**

 決定する

番組の予約方法を選んでください。

視聴予約　録画予約　予約しない

4 **「VHS テープ予約」を選ぶ**

 決定する

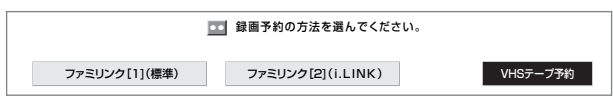
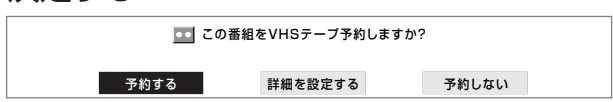
録画予約の方法を選んでください。

ファミリンク[1](標準)　ファミリンク[2](i.LINK)　VHSテープ予約

5 **「予約する」を選ぶ**

 決定する

この番組をVHSテープ予約しますか?

予約する　詳細を設定する　予約しない

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
- 「詳細を設定する」を選び、決定したときは「予約の詳細設定」（▶ **109** ページ）に進みます。

6 決定 **「戻る」で決定する**

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

録画予約設定後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタン（赤）で「切」（待機状態）にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

- **このあと、録画機器側でも同じ予約を設定します。**

予約の詳細設定

- 複数の映像や音声が含まれる番組を予約したときに、録画したい映像や音声を選ぶことができます。
- 映像（最大４つ）や音声（最大８つ）の数は、番組によって異なります。

押すボタン

1 ▶ **108ページの手順１ ～ ４を行う**

2 **「詳細を設定する」を選ぶ**

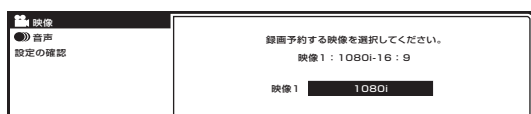
決定する

この番組をVHSテープ予約しますか?

予約する　詳細を設定する　予約しない

3 **「映像」または「音声」を選ぶ**

決定する

- マルチビュー（いろいろな角度から見た映像）を含む番組を予約したいときは、「マルチビュー」も選べます。

4 **録画したい映像や音声を選ぶ**

決定する

5 **「設定の確認」を選ぶ**

決定する

6 **画面に表示された内容を確認する**

決定 **「確認」で決定する**

- 番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで切ります。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

- **このあと、録画機器側でも同じ予約を設定します。**

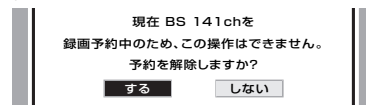
「詳細を設定する」時のメッセージについて

以下のようなメッセージが表示されることがあります。

▼視聴制限のある番組を予約したとき

- 数字ボタン（チャンネルボタン）で暗証番号を入力してください。（▶ **142** ページ）

実行中の録画予約を解除するには

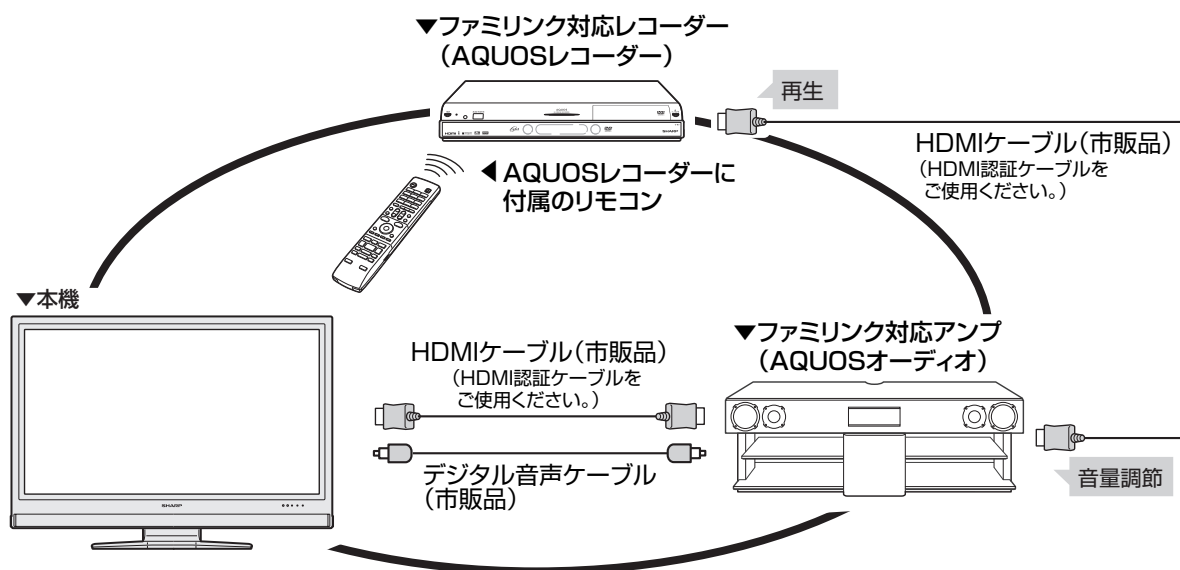
- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

デジタル固定の自動解除について

デジタル固定中に視聴・録画予約開始２分前になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

ファミリンクを使うための準備をする

ファミリンクでできること

- ファミリンク機能に対応したレコーダーや AV アンプを HDMI 認証ケーブルで接続すると、レコーダーや AV アンプを本機のリモコンで操作できます。
- ファミリンク対応の AQUOS レコーダーに付属のリモコンで、リモコンを持ち変えずに、本機・AQUOS レコーダー・AQUOS オーディオの操作ができるので便利です。

ファミリンクとは
HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使用し、HDMI で規格化されている AV アンプや DVD レコーダーを相互に制御するためのコントロール機能です。

おしらせ

- ファミリンクの対応機種については SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- ファミリンクを使うときは、本機のリモコンを本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオは直接リモコン信号を受信しません。

ファミリンクを使うには

最初に、
- **接続**（▶111 ページ）
- **本機の設定**（▶112 ～ 113 ページ）
- **接続する機器の設定**

を行ってください。

- AQUOS レコーダー側の設定も必要です。機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

ファミリンク対応機器の つなぎかた

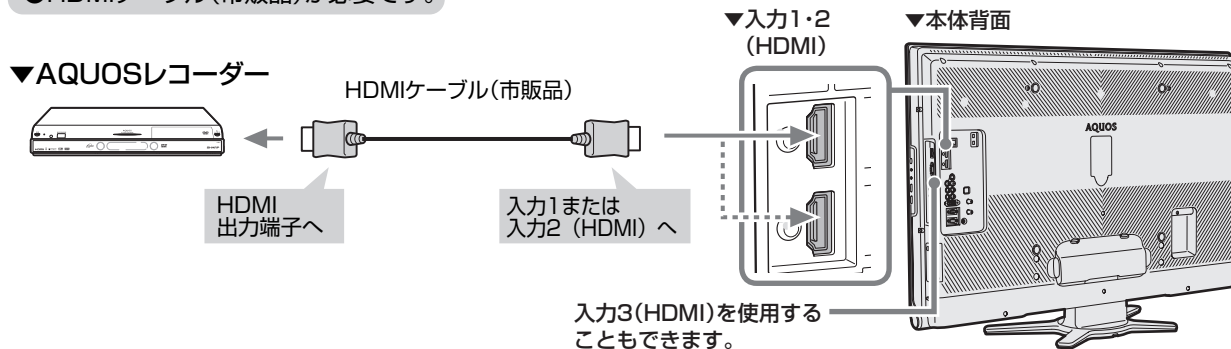
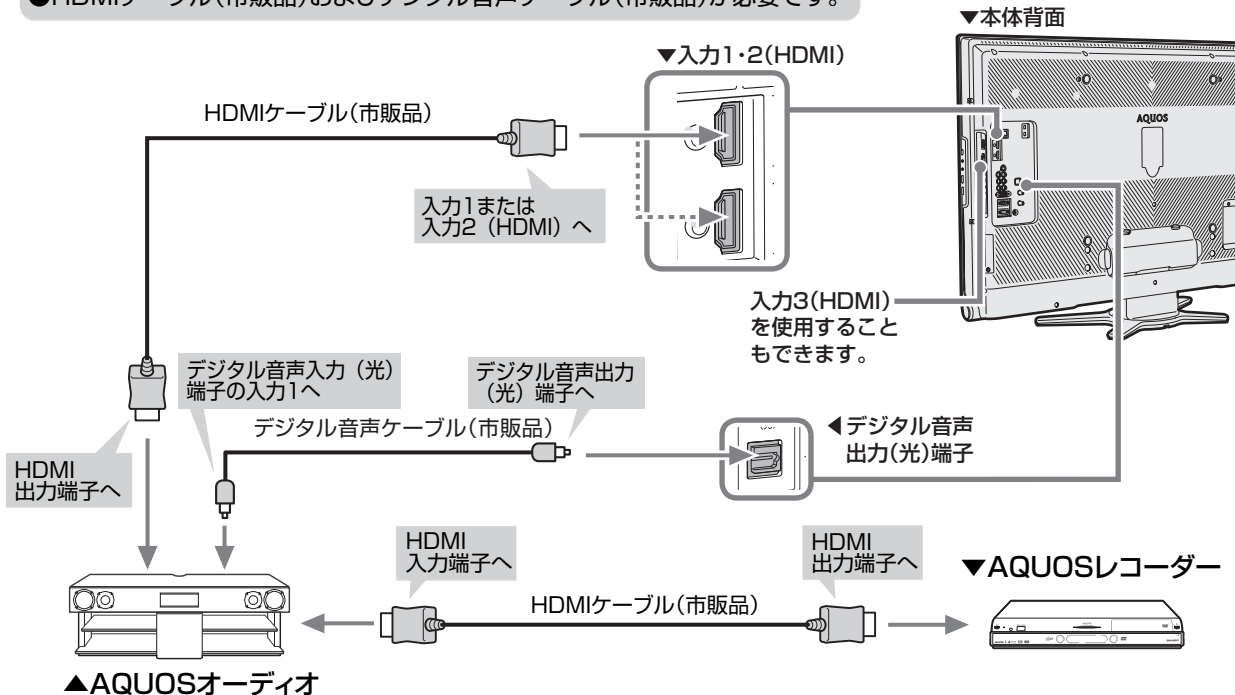
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 下記の接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

重要

- ケーブルを抜き差ししたり接続方法を変えた場合は、すべての機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れなおし、本機の入力を入力 1・2・3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

おしらせ

- 1 つの AQUOS レコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。(▶ **121** ページ)
  AQUOS レコーダーを i.LINK 接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

はじめに / 準備 / 番組を見る / レコーダー・プレーヤー・パソコンなどをつなぐ / ファミリンクで録画・再生 / 本機の機能の活用 / 故障かな・仕様・寸法図など / English Guide

ファミリンク機能を使うための設定をする

- 本機に付属のリモコンでも操作できます。
- 以下の設定をしないと、ファミリンクの連動機能などが働きません。

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- 「連動起動設定」を「する」に設定すると、ファミリンク対応機器を操作したときに、電源待機状態にある本機を自動的に電源「入」にできます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「ファミリンク設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「連動起動設定」を選ぶ

決定　決定する

4 「する」または「しない」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

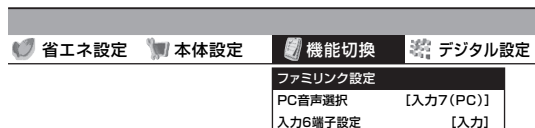
レコーダーを接続時に、録画を行う機器を選ぶ

● AQUOS レコーダーを本機に接続している場合は、「録画機器選択」で、リモコンの録画ボタンを押したときに録画を行うファミリンク対応レコーダーを設定します。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「機能切換」–「ファミリンク設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定
ファミリンク設定
PC音声選択　［入力7（PC）］
入力6端子設定　［入力］

3 **「録画機器選択」を選ぶ**

決定する

4 **リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ**

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

AQUOS オーディオを接続しているときの設定画面について

▲本機　▲AQUOS オーディオ　▲AQUOS レコーダー

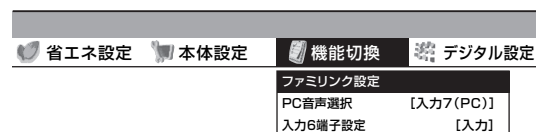
本機のリモコンで AQUOS レコーダーの選局などの操作をできるようにする

● 次の操作が本機のリモコンで行えます。

・選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 ～ 10/0 で選局の操作ができます。
・番組表ボタンで番組表を表示できます。
・番組情報ボタンで番組情報を表示できます。
・データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
※番組表ボタン、番組情報ボタン、データ連動ボタンは、機器によっては操作できない場合があります。

● この設定は、入力端子ごとに設定できます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「機能切換」–「ファミリンク設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **「選局キー設定」を選ぶ**

決定する

4 **本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ**

「する」を選ぶ

決定 **決定する**

連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
選局キー設定
HDMI入力別にファミリンク対応機器へ選局キーの連動設定をします

入力		
入力1	○する	◉しない
入力2	○する	◉しない
入力3	○する	◉しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

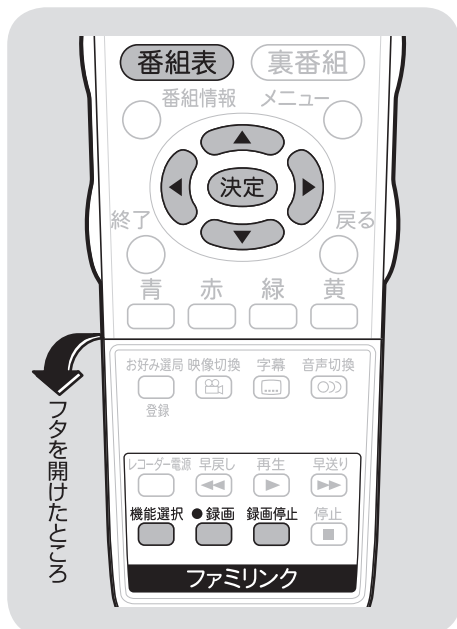
重要

ワンタッチ録画を行う前に

- AQUOS レコーダー側の録画準備をしてください。次のことなどを確認します。
  - B-CASカードが挿入されていますか
  - アンテナが接続されていますか
  - 録画メディア(HDD、DVDなど)に空き容量がありますか
- あらかじめ、「ファミリンク設定」の「録画機器選択」で録画機器を設定します。(▶ **113** ページ)
- 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

1 録画したい番組の視聴中に録画ボタン（赤）を押す

- 「録画機器選択」（▶ **113** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。

2 録画を停止する

おしらせ

- 「録画機器選択」(▶ **113** ページ) で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」(▶ **113** ページ) で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタン（赤）を押しても録画できません。

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「スタートメニュー」を選ぶ

決定する

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については SHARP web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するときは→ AQUOS ファミリンクについて（対応機種）」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

AQUOSレコーダーの再生・録画するメディア(HDD/DVDなど)を切り換える

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「メディア切換」を選ぶ

決定する

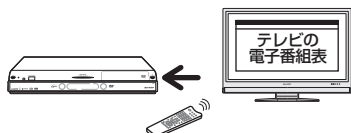
テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く

3 レコーダーのメディアの種類(「HDD」や「DVD」など)を選ぶ

- AQUOS レコーダー側の操作したい録画メディアを選びます。
- 「メディア切換」で(決定)を押すごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

AQUOS レコーダーに録画予約する

本機の電子番組表で録画予約するには

本機の電子番組表と同じ予約の内容で予約を設定

● 本機の電子番組表から接続している AQUOS レコーダーに録画予約できます。

重要

録画予約をする前に AQUOS レコーダー側の準備をしてください

- 本機と AQUOS レコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

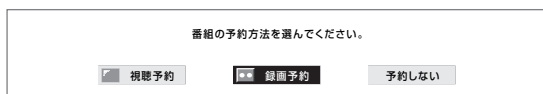
押すボタン

1 番組表 電子番組表を表示する

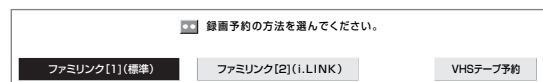
2 予約したい番組を選ぶ

決定 決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。(▶ **73** ページ)

3 「録画予約」を選ぶ

決定 決定する

4 「ファミリンク [1]（標準)」を選ぶ

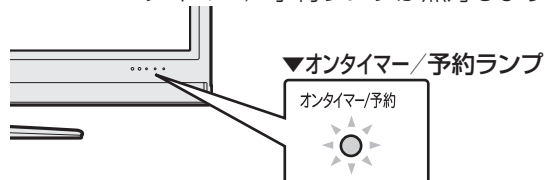
決定 決定する

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後に録画機器選択（▶ **113** ページ）を行ってください。

5 「予約する」を選ぶ

決定 決定する

- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。

6 決定 「戻る」で決定する

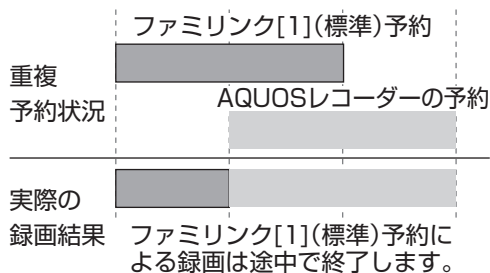
- 電子番組表画面に戻ります。
- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

重要

ファミリンク [1]（標準）で録画予約するときのご注意

- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

（例） 7:00　7:30　8:00　8:30

重複予約状況：ファミリンク[1](標準)予約／AQUOSレコーダーの予約

実際の録画結果：ファミリンク[1](標準)予約による録画は途中で終了します。

- レコーダー側の予約を取り消すと、本機でファミリンク [1]（標準）予約した番組が録画されます。
- 番組の放送時間が延長されても、録画の終了時刻は延長されません。番組が始まる時点で予定されていた終了時刻になると、録画が終了します。
- 録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局や番組表などの操作はできません。
  ※番組によっては終了時刻が未定の場合もあります。このときは、番組の終了時刻が決定するまで、選局や番組表などの操作はできません。

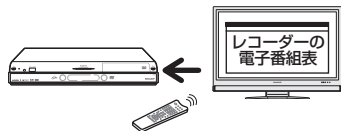
おしらせ

- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **102** ページをご覧ください。

録画エラーのメッセージが出たときは、▶ 165ページをご覧ください。

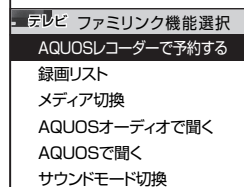
AQUOS レコーダーを再生する

AQUOS レコーダーの電子番組表で録画予約するには

AQUOS レコーダーの電子番組表を呼び出して予約

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 **「AQUOS レコーダーで予約する」を選ぶ**

決定する

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換

- 入力が切り換わり、レコーダー側の番組表が表示されます。

3 **予約したい番組を選び、録画予約の操作をする**

- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの (決定) 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で操作します。(詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。)

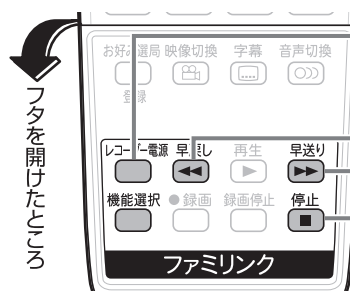
最後に録画した番組を、AQUOS のリモコンで再生する(ワンタッチプレー)

- 本機のリモコンでHDMI 接続したAQUOS レコーダーを操作できます。

録画した番組を再生する

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ファミリンク機能選択メニューから「録画リスト」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、リモコンフタ内のファミリンクボタンで次の操作が行えます。

録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機とHDMI接続したAQUOSレコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 **「録画リスト」を選ぶ**

決定する

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く

- AQUOSレコーダーの電源が入り、本機の入力が切り換わります。
- AQUOSレコーダーの録画リストが表示されます。

3 **再生したい番組(タイトル)を選ぶ**

再生 **再生する**

- 録画リストは本機のリモコンの

で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

おしらせ

- AQUOSレコーダーがDVDモードになっていてDVDビデオなどのディスクがセットされている場合など、録画リストがない場合、録画リストは表示されません。
ファミリンク機能選択メニューから「メディア切換」を選んで、AQUOSレコーダーのモードを切り換えてください。

視聴するHDMI対応の録画機器を選ぶ

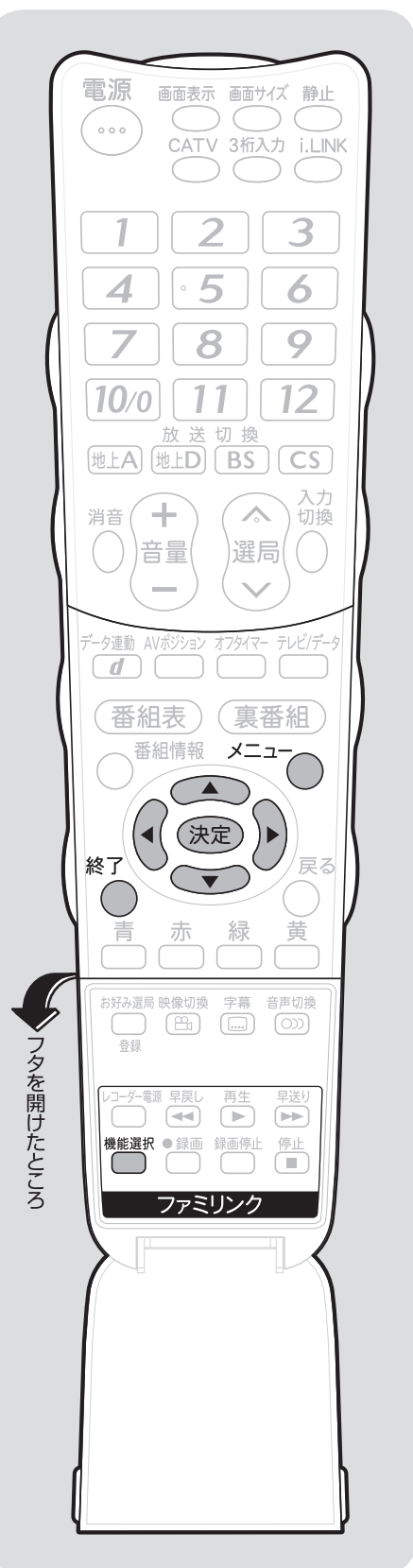
- 複数のHDMI機器を接続している場合、視聴したいHDMI機器を選ぶことができます。

1 機能選択 **ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 **「HDMI機器選択」を選ぶ**

決定 **決定する**

テレビ ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
スタートメニュー
HDMI機器選択

- 「HDMI機器選択」で 決定 を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。(ファミリンクに対応していない機器は、本機に直接接続されていない場合は選択することはできません。)

AQUOS オーディオで聞く

AQUOS オーディオで聞く

● AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。

押すボタン

1 ファミリンク機能選択メニューを表示する

2 「AQUOS オーディオで聞く」を選ぶ

決定 決定する

- 本機の音声が停止し、AQUOS オーディオからのみ音声が出力されます。
- 画面中央に「ファミリンク接続された AQUOS オーディオから音声を出力します。」と表示されます。
- 本機のリモコンで AQUOS オーディオの音量調整、消音、音声切換の操作ができます。
- 本機からの音声出力に戻したいときは、機能選択 を押し、上下カーソルボタンで「AQUOS で聞く」を選びます。

おしらせ

- AQUOS オーディオを接続していないときは、「AQUOS オーディオで聞く」は選べません。

「AQUOS オーディオで聞く」に設定中のご注意

- ヘッドホン設定を「モード 1」に設定している場合、ヘッドホンの音声は停止します。
- 入力 6 端子設定を「モニター出力（可変）」（▶ **135** ページ）に設定しているときは、モニター出力の音声が停止します。
- 本機のメニューの「音声調整」「視聴環境設定（音声）」の設定はできません。

番組内容に適した音に切り換える

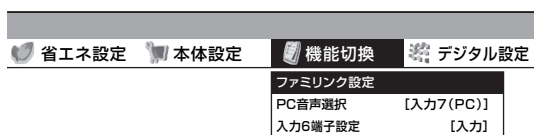
番組のジャンルに適したサウンドモードに自動切換する

● デジタル放送のジャンル情報に従って、AQUOS オーディオを適切なサウンドモードに切り換えられます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

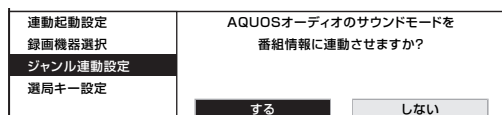
2 **「機能切換」−「ファミリンク設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

省エネ設定	本体設定	機能切換	デジタル設定
		ファミリンク設定	
		PC音声選択　［入力7（PC）］	
		入力6端子設定　［入力］	

3 **「ジャンル連動設定」を選ぶ**

決定する

4 **「する」を選ぶ**

決定　**決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 地上アナログ放送やDVD映像はジャンル情報がないので、「サウンドモード切換」で手動で切り換えます。
- サウンドモードについて詳しくは AQUOS オーディオの取扱説明書をご覧ください。

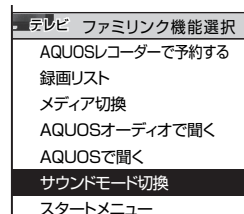
手動でサウンドモードを切り換える

● AQUOS オーディオのサウンドモードを手動で切り換えます。

1 機能選択　**ファミリンク機能選択メニューを表示する**

2 **「サウンドモード切換」を選ぶ**

決定　**決定する**

- 「サウンドモード切換」で決定ボタンを押すごとに、サウンドモードが順次切り換わります。

AQUOSレコーダー以外のi.LINK機器を使う

AQUOSレコーダーをi.LINK接続する場合は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応した i.LINK 対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。この DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINK でのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLA のコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

i.LINK(アイリンク)について

- i.LINK※は、i.LINK 端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINK ケーブル 1 本で接続できます。

  ※ i.LINK は、IEEE1394 の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbps/800Mbps の転送速度があり、それぞれ S100/S200/S400/S800 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送が可能です。

- 本機で接続できる i.LINK 機器は以下のとおりです。

  D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
  AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
  ブルーレイディスクレコーダー(BD)
  HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

  - 機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。
  - DVD レコーダーや DV 機器、PC(パソコン)、PC 周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

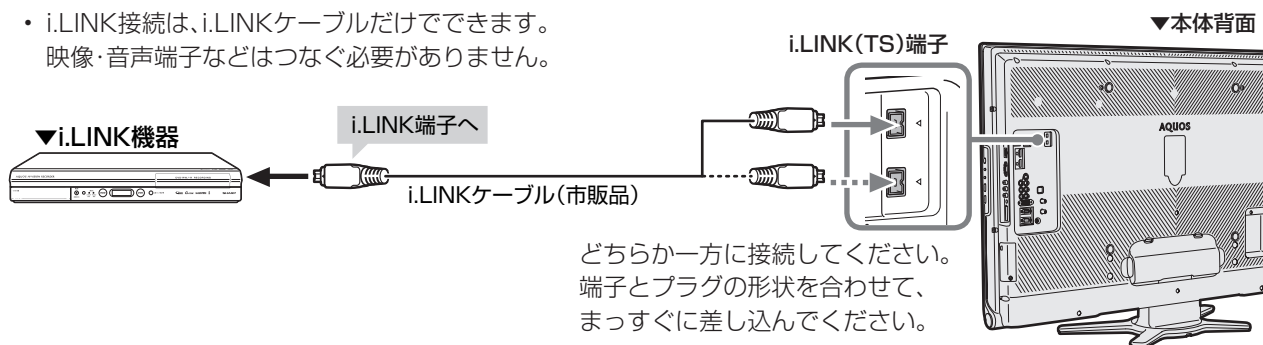
重要

- 本機と i.LINK 機器を i.LINK 接続して録画できるのは、本機で受信したデジタル放送のみです。地上アナログ放送や外部入力は、i.LINK 録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは本機のデジタル放送を i.LINK 録画できません。

i.LINK機器をつなぐ

- 接続には「S400」タイプの i.LINK ケーブル(市販品)をお使いください。

1 台のi.LINK機器を接続する場合(例)

- i.LINK接続は、i.LINKケーブルだけでできます。映像·音声端子などはつなぐ必要がありません。

i.LINK 機器を再生したときテレビの入力が切り換わるようにする

● 接続された i.LINK 機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

i.LINK機器を制御するための設定項目

項目	内容
i.LINK自動切換	・「する」に設定すると、i.LINK録画機器を再生したときに、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようになります。 ・AQUOSレコーダーをi.LINKとHDMIで同時に接続するときは「しない」に設定してください。
録画モード設定	・i.LINK機器の録画モードを自動的に制御するように設定できます。 ・現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、i.LINK機器側で録画モードを制御するため、**通常は「しない」に設定してください。** ・本機から録画モードを正常に制御できない場合は、「しない」に設定してください。

押すボタン

1 メニュー **メニュー画面を表示する**

2 **「デジタル設定」－「i.LINK 設定」を選ぶ**

決定 **決定する**

3 **設定したい項目を選ぶ**

決定 **決定する**

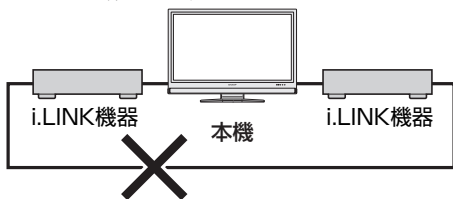
（例）「i.LINK 自動切換」を選んだとき

4 **「する」または「しない」を選ぶ**

決定 **決定する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

重要

・下図のようなループ（輪）接続をしないでください。

・i.LINK 機能使用中は、使用していない i.LINK 機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
・本機が対応していない機器（DVD レコーダーや DV 機器、PC、PC 周辺機器など）を同時に接続していると、誤動作することがあります。
・接続した i.LINK 機器の認識やコントロール、録画・再生が正しくできなくなったときは、i.LINK ケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
・１つのレコーダーを i.LINK と HDMI で同時に接続するときは、「i.LINK 自動切換」を「しない」にしてください。

おしらせ

・本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。

本機が電源待機状態のときは、データのやりとりができません。

i.LINK機器を操作(録画／再生)する

i.LINK操作パネルの使いかた

● 本機に対応したi.LINK 機器は、i.LINK 操作パネルを表示して、本機のリモコンで録画や再生などの操作ができます。

i.LINK 操作パネルを表示させる

● i.LINK 操作パネルからi.LINK 機器を選ぶための準備です。

1 **i.LINK 機器を接続し、i.LINK 機器の電源を入れる**

2 電源 **本機の電源を入れる**

3 i.LINK **i.LINK 操作パネルを表示する**

- i.LINK 機器をつなぎ変えたり、次のような画面が表示されたときは「i.LINK 機器の選択」(▶**124** ページ)が必要です。

(▶124 ページ)

4 **i.LINK 操作パネル上の操作ボタンを選ぶ**

決定する

- 操作を終了する場合は、i.LINKボタンを押します。

操作パネル(例)

● 操作パネルの使いかたについては、次ページをご覧ください。

D-VHSの操作パネル

▶ 再生中 00:00:00 予約 D-VHS ｜ 01 D-VHS ●● ●●●●●●
電源 ■ ▶ ❚❚ ● 機器選択
再生 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

BDの操作パネル

▶ 再生中 00:00:00／00:00:00 ディスク残 50% 録画中 ｜ 01 BD ●● ●●●●●●
電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作
再生 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択
▲ −10秒 +30秒 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

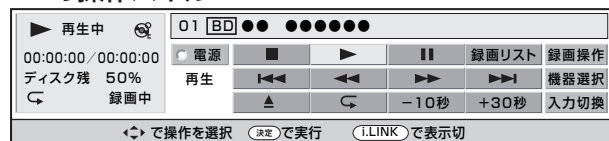
AV-HDDの操作パネル

■ 停止中 00:00:00／00:00:00 ディスク残 50% ｜ 01 AV-HDD ●● ●●●●●●
電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作
停止 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択
−10秒 +30秒 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

HDV(ビデオモード)の操作パネル

■ 停止中 00:00:00 ｜ 01 HDV ●● ●●●●●●
■ ▶ ❚❚ 機器選択
停止 ◀◀ ▶▶ 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

HDV(カメラモード)の操作パネル

カメラ 00:00:00 撮影中 ｜ 01 HDV ●● ●●●●●●
■ ● 機器選択
撮影 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

i.LINK 操作パネルの使いかた

- i.LINK 操作パネルの操作方法
  ① リモコンのカーソルボタンで、i.LINK 操作パネル上の操作ボタンを選ぶ
  ② リモコンの決定ボタンを押す
- 詳しい操作方法については、**126** ～ **129** ページをご覧ください。

i.LINK 操作パネルの見かた（BD の場合）

おもな操作ボタンの機能

i.LINK 機器を選択する

● i.LINK 機器をつなぎ変えた場合は、i.LINK 操作パネルの機器選択画面で操作する i.LINK 機器を選びます。

● 接続された i.LINK 機器は、自動的に機器選択画面のリストに表示されます。

押すボタン

1 i.LINK 操作パネルを表示する

- 「操作できる i.LINK 機器がありません」と表示されたときは、i.LINK 機器が正しく接続されているか確認してください。(▶ **120** ページ)
- i.LINK 機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順 **3** に進んでください。

2 「機器選択」を選ぶ

決定する

- 機器選択画面が表示されます。

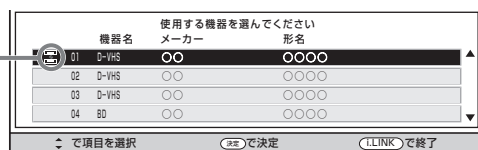
3 操作したい機器を選ぶ

決定する

現在選択されている機器のマーク

使用する機器を選んでください

	機器名	メーカー	形名
01	D-VHS	○○	○○○○
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

で項目を選択　決定で決定　i.LINKで終了

- 選んだ i.LINK 機器の操作パネルが表示されます。

おしらせ

- 本機で認識できない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。また、リストに表示されている機器であっても、機器によっては操作ができる機能が制限されているものもあります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続機器によっては、リストにメーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。この場合は、i.LINK ケーブルを取りはずし、リストから名前を削除した後で i.LINK ケーブルを接続しなおしてください。
- 接続した i.LINK 機器によっては、AV-HDD であっても「D-VHS」と表示されることがあります。この場合は、i.LINK 機器操作が D-VHS の機能に制限されます。(i.LINK 機器の制限により、録画リストなどはご利用になれません。)
- 機器選択画面のリストに⃠マークがついている i.LINK 機器は、本機が対応していないため、操作できません。
- 同じ機種であっても 1 台ごとに別の機器として認識します。
  機器選択画面に同一の機種名が複数表示される場合は、一方を選択して、操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  もし操作できない場合は、他方を選択して再度操作パネルから機器を操作できるか確認してください。
  接続しない機器が表示される場合は、登録削除してください。
- ハイビジョンビデオカメラ（HDV）が「DV 互換モード」に設定されていると、機器選択画面で選択できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

他の i.LINK 機器から使うときは

- i.LINK 機器を他の i.LINK 機器で使うときは、「機器使用解除」を行ってください。

押すボタン

1 i.LINK
i.LINK 操作パネルを表示する

2
「機器選択」を選ぶ

決定
決定する

- 機器選択画面が表示されます。

3
機器選択画面の一番下にある「機器使用解除」を選ぶ

決定
決定する

■i.LINK　11/3 [火] 午前11：00

使用する機器を選んでください

	機器名	メーカー	形名
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

機器使用解除

機器選択画面のリストから i.LINK 機器の名前を消す

- i.LINK 機器をはずしても、機器選択画面のリストから名前は自動的に消えません。名前を選んで消してください。
- 接続されている i.LINK 機器は、削除できません。

1 i.LINK
i.LINK 操作パネルを表示する

2
「機器選択」を選ぶ

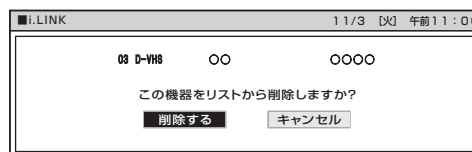
決定
決定する

- 機器選択画面が表示されます。

3
削除したい i.LINK 機器を選ぶ

決定
決定する

4
「削除する」を選ぶ

決定
決定する

D-VHS ビデオデッキで録画・再生する

• i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

デジタル放送を録画する

● この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

3 ●（録画ボタン）を選ぶ

決定　決定する

• 録画を止めるときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

録画した番組を再生する

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 開始地点（見たいところ）まで巻き戻す

• ◀◀（巻戻しボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

3 ▶（再生ボタン）を選ぶ

決定　決定する

• 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、❚❚（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、■（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

• 2 つの i.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **124** ページ）を済ませてから、操作してください。
• 機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
• D-VHS ビデオデッキのタイマーを使って録画予約しているときは、i.LINK 操作パネルで操作しないでください。録画予約に失敗することがあります。
• D-VHS ビデオデッキで記録するときは、D-VHS テープを使用してください。VHS テープや S-VHS テープではデジタル放送が記録できません。

機器（D-VHS ビデオデッキ）によっては、次のような場合があります

• 番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
• テープを再生しても映像・音声を視聴できない場合があります。
• 特殊再生時（送り再生や戻し再生など）に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
• VHS テープや S-VHS テープ、またはアナログで記録されている D-VHS テープの再生映像・音声を本機の i.LINK 入力で視聴できない場合があります。この場合は、D-VHS ビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力（入力 4 ～ 6）に接続し、本機を外部入力に切り換えて視聴してください。

ハイビジョンビデオカメラ（HDV）で撮影・再生する

• i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

● ビデオモードとカメラモードの切り換え（下記手順 **1**）は、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

• i.LINK 操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK 入力とその前の画面との切り換えを行います。

撮影する

● ハイビジョンビデオカメラ（HDV フォーマット）の撮影操作をi.LINK 操作パネルで行えます。

押すボタン

1 **ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする**

• 「カメラモード」に切り換えると、本機の画面が自動的に i.LINK 入力に切り換わります。

2 i.LINK **i.LINK 操作パネルを表示する**

3 **[●]（撮影ボタン）を選ぶ**

決定 **決定する**

• 撮影が開始されます。

• 撮影を止めるときは、[■]（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

• 機器（ハイビジョンビデオカメラ）によっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。「フォトモード」になっていると、i.LINK 操作パネルで操作できません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
• i.LINK 操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。
• 「カメラモード」で撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態になる機器があります。この場合、i.LINK 操作パネルで操作できません。ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
• 本機で受信している放送または外部入力は、ハイビジョンビデオカメラで録画できません。
• 本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

再生する

1 **ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする**

2 i.LINK **i.LINK 操作パネルを表示する**

3 **開始地点（見たいところ）まで巻き戻す**

決定

• [◀◀]（巻戻しボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、[■]（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

4

[▶]（再生ボタン）を選ぶ

決定 **決定する**

• 再生が開始されます。
• 再生中に特殊再生するときは、[▶▶]（早送りボタン）、[◀◀]（巻戻しボタン）、[❚❚]（一時停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。
• 停止するときは、[■]（停止ボタン）を選び、決定ボタンを押します。

おしらせ

• 本機で視聴することができる信号は、「HDV フォーマット」で撮影された信号のみです。「DV フォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴できません。
• 「HDV フォーマット」と「DV フォーマット」が混在したテープを再生した場合、DV フォーマットの部分で「この信号を本機で再生することはできません。HDV 機器の設定を確認してください。」のメッセージが表示されます。
• i.LINK 操作パネルで頭出し操作はできません。

おしらせ

• 2 つの i.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **124** ページ）を済ませてから、操作してください。
• 操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
• i.LINK 操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
• ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

AV専用ハードディスク(AV-HDD)やブルーレイディスクレコーダーで録画・再生する

・i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

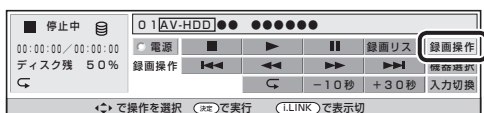
デジタル放送を録画する

● この操作では、本機が受信しているデジタル放送のチャンネルが録画されます。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

3 録画操作(録画操作ボタン)を選ぶ

決定 決定する

4 (録画ボタン)を選ぶ

決定 決定する

- 録画が開始されます。
- 録画を止めるときは、録画停止(録画停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

- 2 つの i.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」(▶ **124** ページ)を済ませてから、操作してください。
- AV-HDD レコーダーによっては、動作モードの設定が D-VHS モードになっていると D-VHS ビデオデッキとして認識されます。
- ブルーレイディスクレコーダーの設定によっては、音声が AC3 フォーマットで記録されることがあります。AC3 フォーマットで記録された音声は、本機では出力されません。

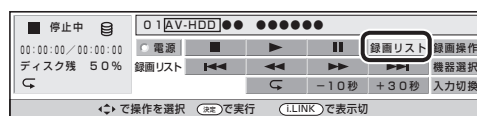
機器(AV-HDD/ブルーレイディスクレコーダー)によっては、次のような場合があります

- i.LINK 操作パネルで操作できない場合があります。
- i.LINK 操作パネルの一部のボタンが働かない場合があります。
- 再生しても映像･音声を視聴できない場合があります。
- 番組の内容によっては、録画・録音ができない場合があります。
- 特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- 録画中に、再生や録画リスト画面の表示などの操作ができない場合があります。
- 機器選択画面で他の i.LINK 機器を選ぶと自動的に再生を停止する場合があります。

録画リストから再生する

● 録画リストから再生する録画番組(タイトル)を選べます。

1 i.LINK i.LINK 操作パネルを表示する

2 録画リスト(録画リストボタン)を選ぶ

決定 決定する

- 録画リストが表示されます。

3 再生する録画番組を選ぶ

決定 決定する

4 ▶ 再生(再生ボタン)を選ぶ

決定 決定する

5 「先頭から再生」または「続きから再生」を選ぶ

決定 決定する

- 再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。
- 停止するときは、■(停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。

AV専用ハードディスク(AV-HDD)やブルーレイディスクレコーダーに録画した番組を消去・保護するには

- i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

● AV-HDD レコーダーまたはブルーレイディスクレコーダーの録画リストから、録画番組（タイトル）の保護や消去の操作ができます。

録画した番組を消去する

1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

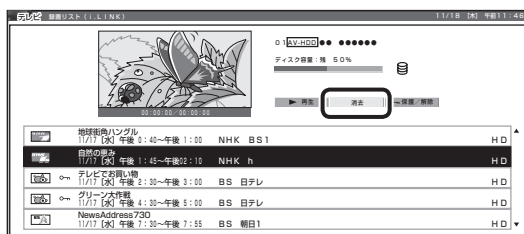
2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定　決定する

3 消去する録画番組を選ぶ

決定　決定する

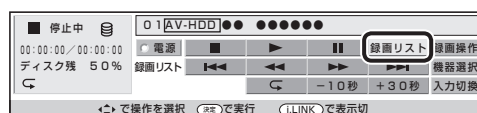
4 消去（消去ボタン）を選ぶ

決定　決定する

5 「消去する」を選ぶ

決定　決定する

録画した番組を保護する

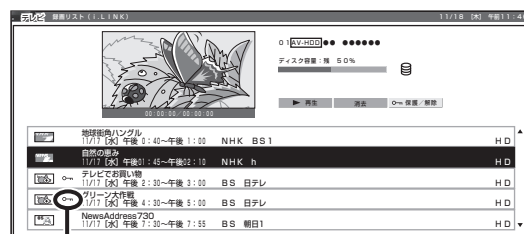
1 i.LINK　i.LINK 操作パネルを表示する

2 録画リスト（録画リストボタン）を選ぶ

決定　決定する

3 消去禁止（保護）する録画番組を選ぶ

決定　決定する

4 保護／解除（保護／解除ボタン）を選ぶ

決定　決定する

保護したタイトルには鍵マークが表示されます。

保護を解除したいときは

- 保護したタイトルを選んで決定ボタンを押し、保護／解除で決定ボタンを押すと、保護を解除します。

おしらせ

- 2 つの i.LINK 機器と接続している場合は、「i.LINK 機器の選択」（▶ **124** ページ）を済ませてから、操作してください。

録画リストについて

- 機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像・音声が表示されない場合があります。
- 機器によっては、録画中に録画リストを表示すると、録画を停止する場合があります。
- タイトルに表示される番組情報（番組名や日時）は、録画を始めたときの番組情報を元にしています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画を始めたときの番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作や字幕の表示はできません。
- 選局直後に録画を始めた場合、タイトルの番組情報が記録されないことがあります。
- 他の機器で録画した番組は、タイトルの番組情報が正しく表示されないことがあります。
- 録画中のタイトルには、録画中マーク「●」（赤丸）が表示されます。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- ブルーレイディスクレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
  プレイリストの場合、録画リストからの消去と保護／解除ができません。

電子番組表でi.LINK機器に録画予約する（ファミリンク [2]（i.LINK）予約）

● D-VHS ビデオデッキなどの i.LINK 機器に、予約した時間に合わせて録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送番組を録画します。i.LINK 機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

重要

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おしらせ

- i.LINK 機器によっては、i.LINK 機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
  i.LINK 機器のつなぎ変えや交換をした場合は、i.LINK 機器を選び直してください。（▶ **124** ページ）
- 番組開始の 2 分前から予約準備が始まります。
- 録画予約の準備が始まるとデジタル固定が解除されます。
- 本機のデジタル音声出力（光）端子に MD をつないで予約録音する場合は、ファミリンク [2]（i.LINK）予約ではなく、視聴予約を設定してください。
- 有料の放送は、契約しないと予約どおりの録画ができません。
- 予約は最大 16 番組です。
- 予約の確認・取り消し・変更については▶ **102** ページをご覧ください。
- 本機から i.LINK 端子経由で、外部の i.LINK 機器に録画した場合は、その i.LINK 機器がダビング 10 に対応していても、「1 回だけ録画可」の番組になり、録画した i.LINK 機器からはダビングできません。（ムーヴのみ可能。）
  ダビング 10 をご利用いただく場合は、ダビング 10 対応のハードディスクレコーダーに内蔵のチューナーでハードディスク (HDD) に録画してください。
- 私的目的で録画したものでも、著作権者等に無断で、販売したり、インターネットで公衆に送信すると著作権侵害となります。

1 i.LINK 機器と本機を 1 対 1 で接続する（▶ **120** ページ）

- 複数の i.LINK 機器を接続すると、正しく録画されない場合があります。

2 番組表　電子番組表を表示する

3 予約したい番組を選ぶ

決定　決定する

- ジャンルや日時を指定して番組を選ぶこともできます。（▶ **73** ページ）

4 「録画予約」を選ぶ

決定　決定する

録画予約した番組が録画されていなかった場合は

- 受信機レポート（▶ **158** ページ）に「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器を選び直してください。（▶ **124** ページ）

5 「ファミリンク [2]（i.LINK）」を選ぶ

決定 決定する

録画予約の方法を選んでください。

ファミリンク[1](標準)　ファミリンク[2](i.LINK)　VHSテープ予約

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、手順 **6** で「詳細を設定する」を選び、使用する i.LINK 機器を変更してください。
  （▶**右記**）
- 複数の i.LINK 機器を接続している場合は、詳細設定で録画する機器を設定してください。設定していない場合は、録画先が変更されることがあります。

6 「予約する」を選ぶ

決定する

▶**右記**

この番組をファミリンク[2](i.LINK)録画予約しますか?

予約する　詳細を設定する　予約しない

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

7 決定 「戻る」で決定する

- 予約が設定され、本体前面右下のオンタイマー／予約ランプが点灯します。

録画予約を設定した後に本機の電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタン（赤）で「切」にしてください。本体の電源スイッチ（赤）で「切」にした場合は、予約が実行されません。

実行中の録画予約を解除するには

- 選局に関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 141chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?

する　しない

録画する i.LINK 機器を変えるときは

● 録画先の i.LINK 機器を変更できます。

重要

- 複数の i.LINK 機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、録画に失敗することがあります。この場合、i.LINK 機器と本機を 1 対 1 で接続してください。

おしらせ

- 「詳細を設定する」を選んで決定すると、メッセージが表示される場合があります。（詳細設定時のメッセージ▶ **109** ページ）
  画面に従って操作してから詳細設定を行ってください。

押すボタン

1 左記の手順 1～ 5を行う

2 「詳細を設定する」を選ぶ

決定 決定する

この番組をファミリンク[2](i.LINK)録画予約しますか?

予約する　詳細を設定する　予約しない

3 「録画連動機器の変更」を選ぶ

決定 決定する

4 使用する i.LINK 機器を選ぶ

決定 決定する

5 「設定の確認」を選ぶ

決定 決定する

6 画面に表示された設定内容を確認する

決定 「確認」で決定する

- 番組表に戻ります。番組表ボタンを押すと、番組表が消えます。
- 電源を切るときは、リモコンの電源ボタン（赤）で切ります。

おしらせ

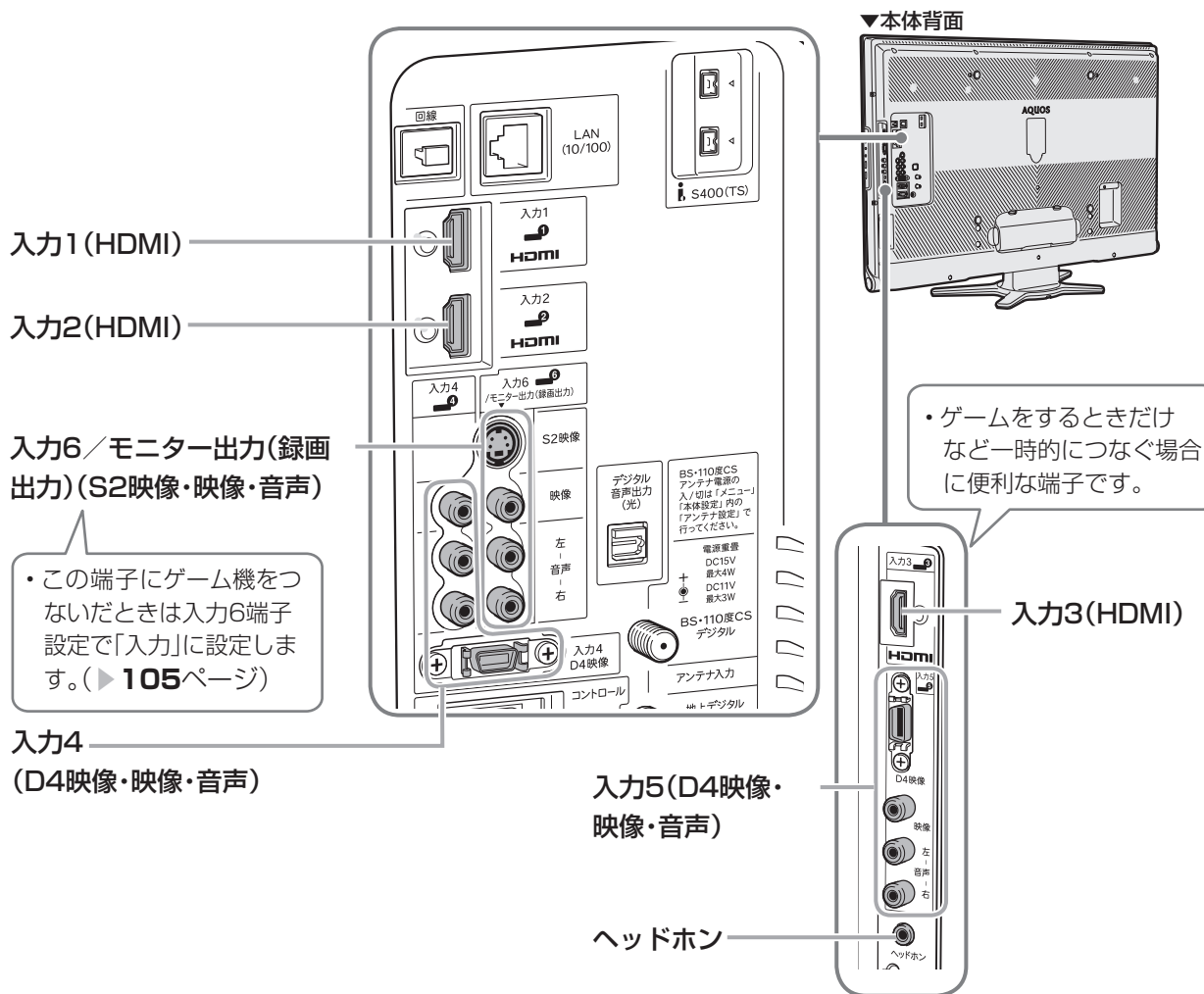
- ハイビジョンカメラには録画予約できません。（録画連動機器の変更で、選べません。）

ゲームをするときは

接続のしかた

- 接続について詳しくは、ゲーム機の取扱説明書をご覧ください。
  ゲーム機の種類により、本機と接続する端子や接続するケーブルが異なります。
- 本機の入力端子のうち、ゲーム機で対応している端子と接続してください。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

ゲームを楽しむときは

ゲームの画面に切り換える

- ゲーム機をつないだら、ゲーム機の画面を表示しましょう。

押すボタン

1 **ゲーム機と本機の電源を入れる**

2 入力切換 **入力切換メニューを表示する**

- 表示中につぎの操作を行います。

3 入力切換 **繰り返し押して、ゲーム機を接続した入力を選ぶ**

- 選択した入力に切り換わり、ゲーム機の画面が表示されます。
- 例えば、本機の入力 1 にゲーム機を接続した場合は、「入力 1」を選びます。

上下カーソルボタンでも選べます。
入力切換について詳しくは**95**ページをご覧ください。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
入力7
i.LINK

本機でテレビゲームをお楽しみになる前に

- テレビゲームをお楽しみになるときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にする、ゲームに最適なAVポジション「ゲーム」にして、お使いいただくことをおすすめします。
- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。
- ゲームによっては、映像の動きの速いシーンにおいて、反応が遅くなる場合があります。反応が遅くなるときは、AV ポジションを「ゲーム」に設定し、メニューの「映像調整」－「プロ設定」－「QS 駆動（120Hz）」で「しない」にしてください。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間をお知らせする機能です。
- メニューの「機能切換」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。（入力 1 ～ 7 を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびにメッセージが画面左下に表示されます。
しない	何も表示しません。

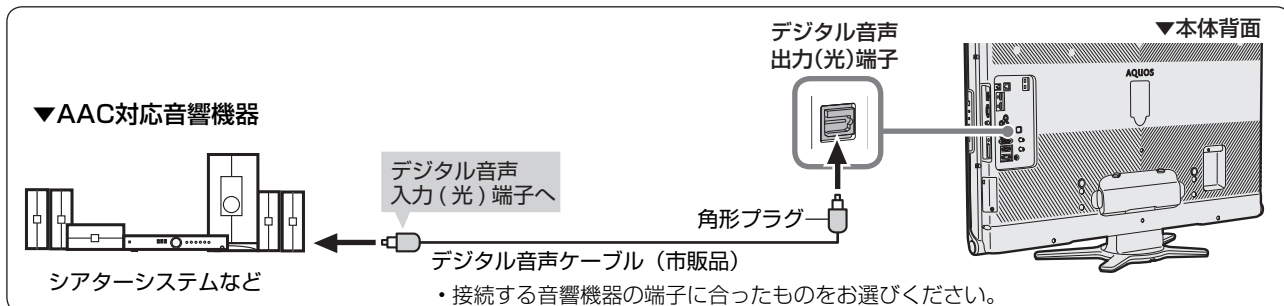
重要

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（▶ **86** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

オーディオ機器で音声を楽しむには

デジタル音声（光）端子付きのオーディオ機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

● 本機のデジタル音声出力（光）端子は、MPEG2 AAC 音声フォーマットを出力できます。AAC 対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

おしらせ

- 接続する機器が AAC/PCM の自動切換に対応していない場合は、機器側の設定を切り換えてください。
  詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 地上アナログ放送や CATV 放送、ビデオ入力の音声は、「AAC」に設定しても「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定すると、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。
- 本機の電源を切ると、デジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。（視聴しているときの音声が出力されます。）
- ファミリンク対応の AV アンプ（AQUOS オーディオ）を市販の HDMI 認証ケーブルとデジタル音声ケーブルでつなぐと、ファミリンク機能で操作できます。（▶ 110 ページ）
- 再生する機器、ソフトによってはデジタル音声出力されない場合があります。

デジタル音声出力（光）端子から出力される音声の種類について

HDMI 端子からの入力音声信号※	2ch のリニア PCM
視聴中のデジタル放送音声	AAC

※ HDMI 端子に接続したレコーダーからの音声信号は、本機のデジタル音声出力 (光) 端子から、2ch のリニア PCM で出力されます。レコーダーからの音声をサラウンドで楽しみたい場合は、直接レコーダーから AV アンプへ音声信号を入力してください。詳しくは、お手持ちのレコーダーおよび AV アンプの取扱説明書をご確認ください。本機で受信したデジタル放送 (サラウンド対応番組) の場合は、デジタル音声出力 (光) 端子からサラウンドの AAC で出力できます。

出力される音声信号の設定（デジタル音声設定）

押すボタン

1

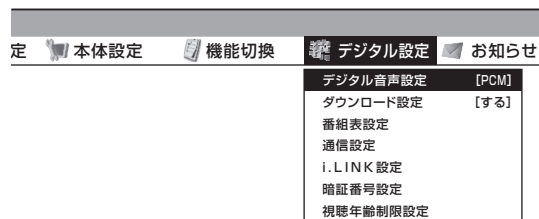
メニューを表示する

2

「デジタル設定」－「デジタル音声設定」を選ぶ

決定する

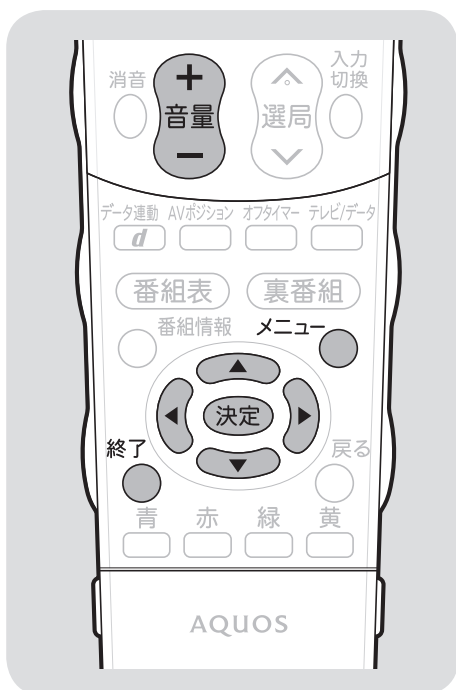
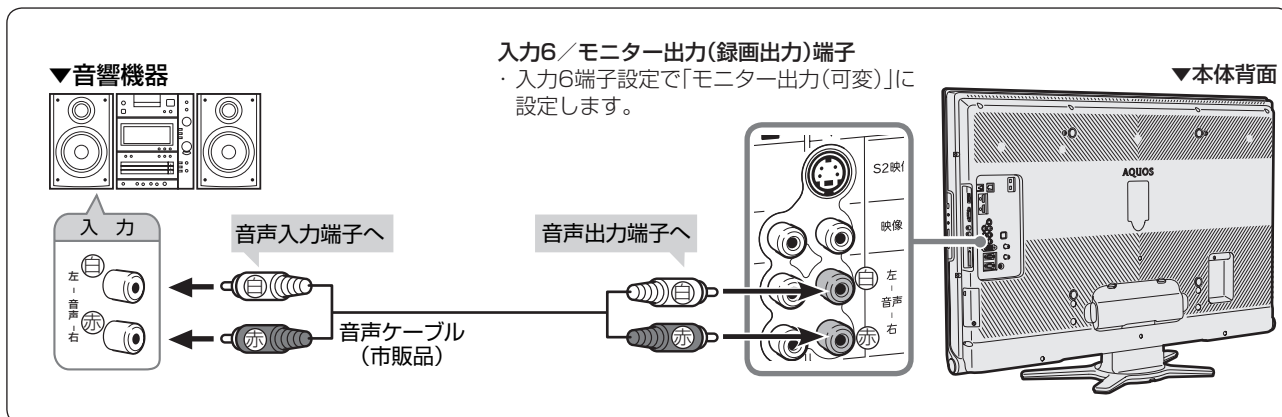
3 「PCM」または「AAC」を選ぶ

決定する

- 「AAC」：AAC 対応の AV アンプなどをつなぐときは、「AAC」に設定します。主と副の両方の音声が同時に出力されます。
- 「PCM」：AAC に対応していない機器につなぐときは、「PCM」に設定します。視聴している番組の音声と同じ音声（主、副、主／副）が出力されます。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

アナログ音声のオーディオ機器で聞く

・接続の前に、本機と音響機器の電源を切ってください。

● 本機の入力６／モニター出力（録画出力）端子につなぐとアナログ音声を楽しめます。

モニター出力端子から音を出したいときは（入力６端子設定）

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「入力６端子設定」を選ぶ

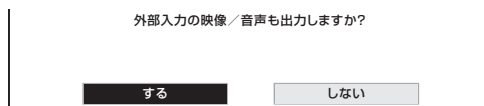
決定　決定する

3 「モニター出力（可変）」を選ぶ

決定　決定する

- 本機のスピーカーからの音声が停止します。
- 出力される音量は音量ボタン（青）で調整できます。
- 「外部入力の映像／音声も出力しますか？」という表示がでます。

4 「する」を選ぶ

決定　決定する

- 本機と音響機器をループ接続（▶ **105** ページ）しないでください。ハウリング（ブー音）や画面の乱れを生じます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- 「モニター出力（固定）」または「モニター出力（可変）」に設定すると、入力切換メニューの「入力６」の表示が「モニター出力」に変わります。
- 「モニター出力（可変）」に設定すると、メニューの「音声調整」は設定できません。

パソコンと接続する

● 本機をパソコン(PC)のモニターとしても使用できます。

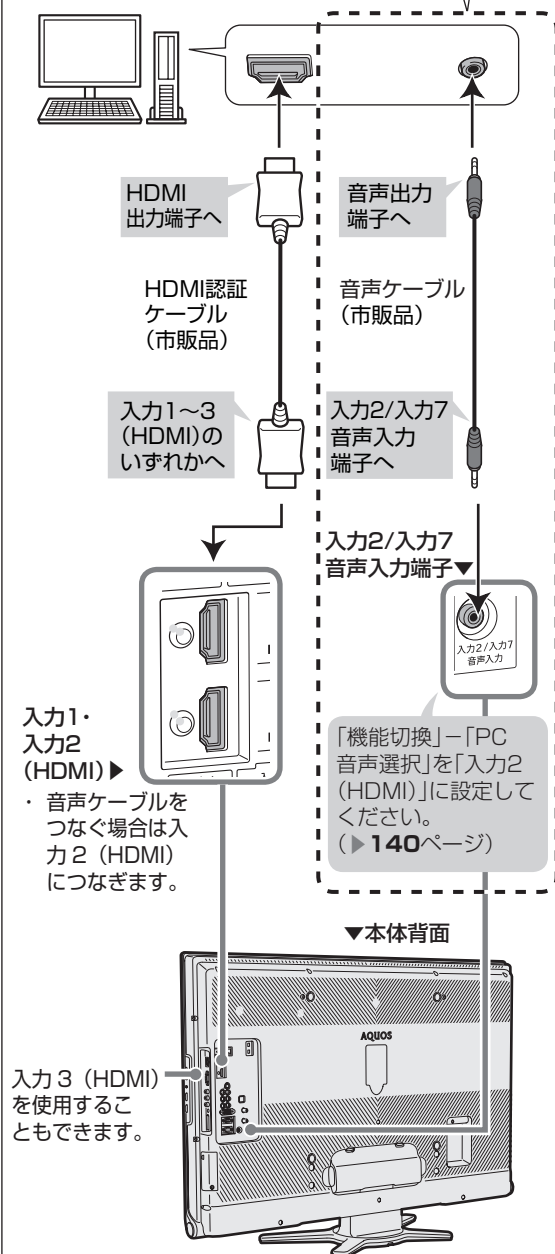
・省エネの設定をすることができます。(▶ **157** ページ)

・接続の前に、本機とパソコンの電源を切ってください。

パソコンの出力端子を確認して適合するケーブルをご用意ください。

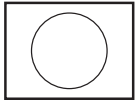
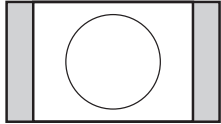
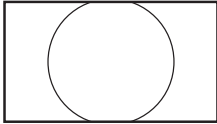
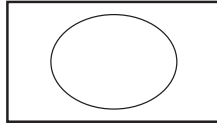
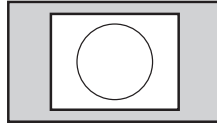
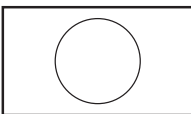
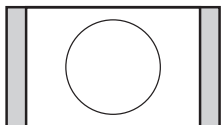
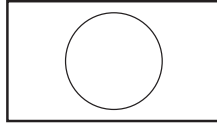
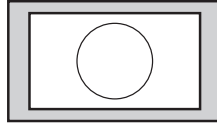
HDMI 出力端子付きパソコンと接続する(デジタル接続)

・市販のHDMI認証ケーブルが必要です。

・パソコンのHDMI出力端子から音声が出力されない場合につなぎます。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

DVI 出力端子付きパソコンと接続する(デジタル接続)

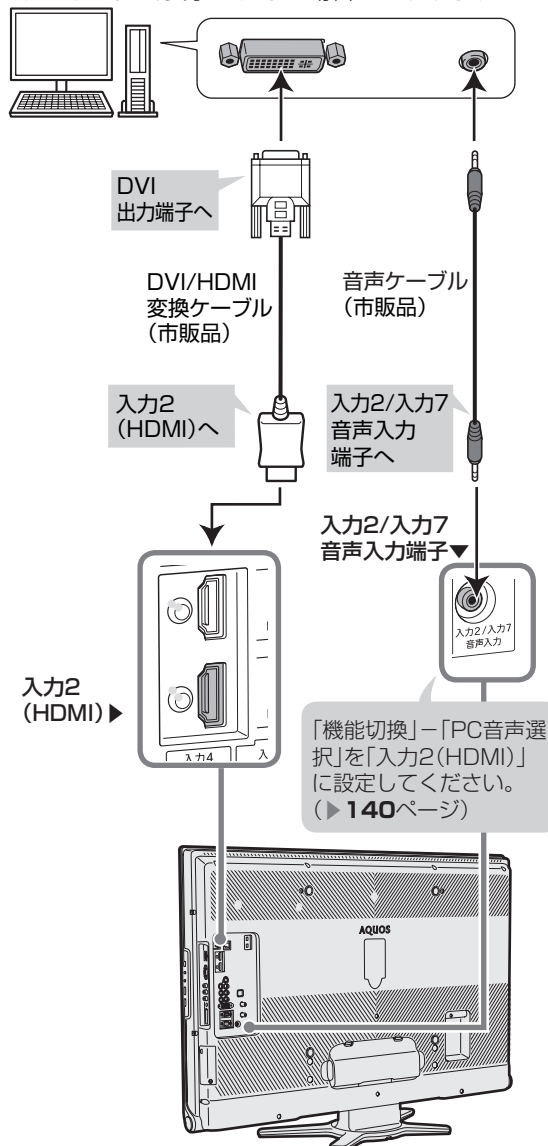
・市販のDVI/HDMI変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

・本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされてないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。

アナログ RGB 出力端子付きパソコンと接続する（アナログ接続）

・市販のD-subケーブルと音声ケーブルが必要です。
音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

◀入力7(アナログRGB)・入力2/入力7音声入力端子

「機能切換」−「PC音声選択」を「入力7(PC)」に設定してください。（▶140ページ）

▼本体背面

パソコンの解像度について

- パソコン（PC) の DVI 出力／ RGB 出力の解像度を確認してください。
- 次の表は、本機が対応している解像度です。

	解像度(ピクセル)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
	VGA	720×400	31.5	70	
		640×480	31.5	60	○
			37.9	72	○
			37.5	75	○
	SVGA	800×600	35.1	56	○
			37.9	60	○
			48.1	72	○
			46.9	75	○
	XGA	1024×768	48.4	60	○
			56.5	70	○
			60.0	75	○
	WXGA	1360×768	47.7	60	○
	SXGA	1280×1024	64.0	60	○
※	SXGA+	1400×1050	65.3	60	○
※	480p	720×480	31.5	60	
※	1080i	1920×1080	33.8	60	
※	720p	1280×720	45.0	60	
※	1080p	1920×1080	67.5	60	

※の入力信号はデジタル接続時のみ可能です。画面サイズについては、▶ **84** ページをご覧ください。

おしらせ

- アナログ接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。（自動で画面を調整する ▶ **139** ページ）
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、「パソコンの画面を表示する」（▶ **138** ページ）をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

パソコンの画面を表示する

画面サイズの選びかた

● 以下の画面サイズを選べます。（入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1360×768、 1920×1080など	入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。		画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

※ 1080p の信号を入力している場合で、AV ポジションを「PC」にしているときは、Dot by Dot は選べません。

押すボタン

1 PC（パソコン）の電源を入れる

2 入力切換 パソコンを接続した入力を選ぶ

- PC（パソコン）の画面が表示されます。

3 画面サイズ 画面サイズ切換メニューを表示する

- 表示中に次の操作を行います。

4 画面サイズ お好みの画面サイズを選ぶ

- 上下カーソルボタンでも選べます。

5 決定 画面サイズ切換メニューを消す

画面サイズ切換
ノーマル
シネマ
フル
Dot by Dot

- 画面の調整が必要なときは次のページをご覧ください。
- 画面が正しく映らないときは、▶ **140** ページをご覧ください。
- パソコンの画面解像度を「1024 × 768」または、「1360 × 768」でお使いになるときは、入力解像度の設定（▶ **140** ページ）が必要です。

入力７に接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

- 画面の調整が必要なときは、まず、自動同期調整を行ってください。クロック周波数、クロック位相などが調整され、最良に近い画面になります。

・動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整だけでは、最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（▶**右記**）

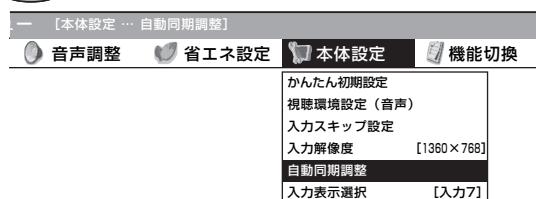
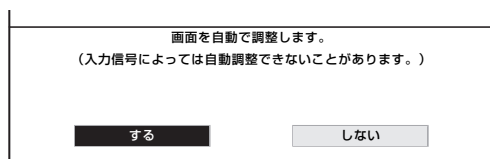
1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「本体設定」ー「自動同期調整」を選ぶ**

決定する

3 **「する」を選ぶ**

決定する

画面を自動で調整します。
（入力信号によっては自動調整できないことがあります。）
する　しない

・「自動同期調整中」と表示されます。
・自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
　正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・画面が正しく映らないときは、▶ **140** ページをご覧ください。
・お使いのパソコンによっては、外部出力ボードを有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、Fn キーと F5 キーを同時に押すと、外部出力ボードが有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

手動で画面を調整する

- 以下の項目が調整できます。

項目	内容
水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。
クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。0 ～ 180 の範囲で調整できます。
クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。0 ～ 30 の範囲で調整できます。
リセット	工場出荷時の設定に戻します。

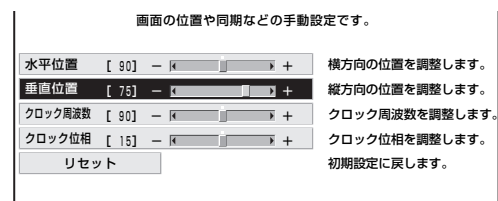
（例）　画面の垂直位置を調整する

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「本体設定」ー「画面調整」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 **「垂直位置」を選ぶ**

4 **適切な位置に調整する**

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

画面が正しく映らないときは

入力解像度の設定

- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768 ライン）が自動判別できないため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「本体設定」－「入力解像度」を選ぶ

決定　決定する

3 入力解像度を選ぶ

決定　決定する

入力映像信号の解像度の手動設定です。
1024×768
1360×768

・垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
・映像を表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像を表示させると、位置が大きくずれてしまうことがあります。
・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

入力 2 に接続したパソコンの画面を調整する

- メニューの「本体設定」－「位置調整」で設定します。
  詳しくは、「画面の位置がずれているときは」（▶ **90** ページ）をご覧ください。

おしらせ

・画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」（▶ **87 ～ 88** ページ）をご覧ください。

パソコンの音声入力端子を設定する（PC 音声選択）

- 入力 2 ／入力 7 音声入力端子（アナログ音声用ミニプラグ）を入力 7（PC）の音声入力端子として使うか入力 2（HDMI) の音声入力端子として使うかを選択します。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「機能切換」－「PC 音声選択」を選ぶ

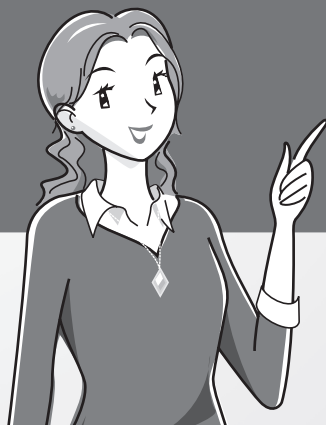
3 「入力 2（HDMI)」または「入力 7（PC)」を選ぶ

決定　決定する

項目	内容
入力 2（HDMI)	DVI-D 端子を入力 2（HDMI）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合
入力 7（PC)	アナログＲＧＢ端子を入力 7（PC）に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合

・操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

・「PC 音声選択」で「入力 2（HDMI)」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルのみで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「PC 音声選択」を「入力 7（PC)」に戻してください。

本機の機能を活かした使いかた

ページ

視聴できる番組や操作を制限するには

暗証番号を設定し、視聴を制限する

● 視聴する人の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。

暗証番号設定

押すボタン

1 メニュー　メニューを表示する

2 「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ

決定　決定する

3 「する」を選ぶ

決定　決定する

4 1 〜 10/0　4 桁の暗証番号を入力する

- 「0」を入力したい場合は 10/0 を押します。
- 暗証番号は必ずメモしてください。

5 1 〜 10/0　確認のため、再度同じ暗証番号を入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順 **4** からやり直してください。

6 決定　「確認」で決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

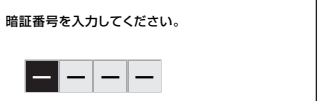
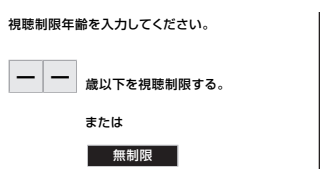
おしらせ

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2008 年 5 月現在）

暗証番号を変更するときは

① メニューから「デジタル設定」ー「暗証番号設定」を選ぶ
- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（チャンネルボタン）で、暗証番号を入力する
- 暗証番号を入力すると、暗証番号を設定するときの画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

視聴年齢制限設定

- 年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。
- この設定をするには、前のページの暗証番号設定が必要です。

1

メニューを表示する

2 **「デジタル設定」を選ぶ**

3 **「視聴年齢制限設定」を選ぶ**

決定する

4 1 ～ 10/0 **暗証番号を入力する**

5 **年齢の入力欄を選ぶ**
- 制限しない場合は「無制限」を選び、決定ボタンを押します。

6 1 ～ 10/0 **制限する年齢の上限を入力する**

決定する
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンまたは本体の操作をロックする（チャイルドロック）

- リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。

チャイルドロックの設定項目

項目	内容
しない	リモコンでも本体ボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	本体ボタンでの操作ができない状態にします。（本体の電源スイッチ（赤）はロックされません。）

1 メニュー **メニューを表示する**

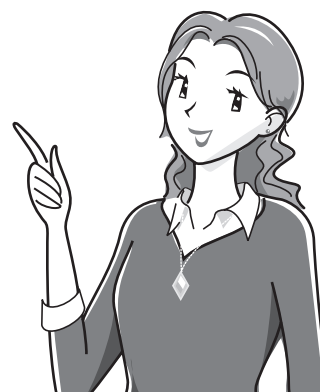
2 **「機能切換」－「チャイルドロック」を選ぶ**

決定する

3 **「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ**

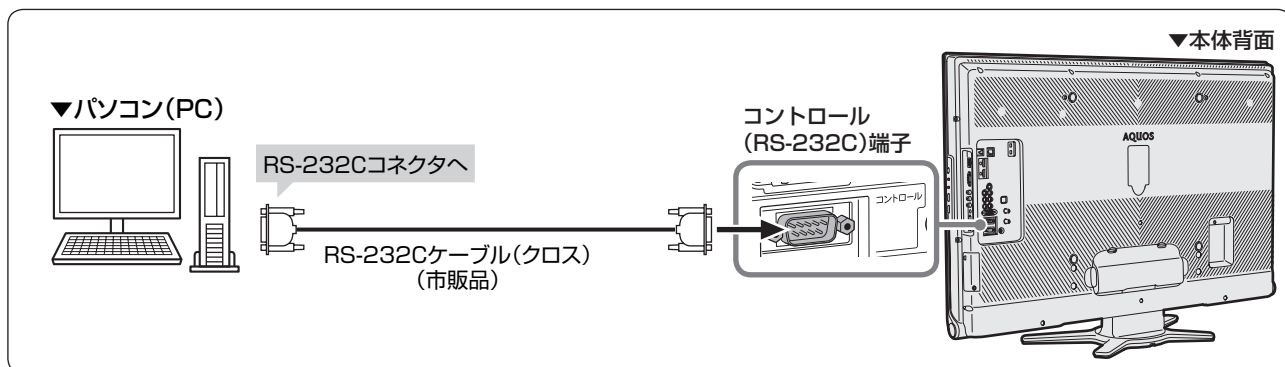
決定 **決定する**

おしらせ
- 誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタンで上記の操作をし、ロックを解除してください。（▶ **38** ページ）

お子様などが誤って操作しても変わらないようにできます。

パソコンで本機を操作するには

パソコン(PC)を使い慣れたかたのご利用をお願いします。

接続のしかた

- ターミナルソフトなどを使って、チャンネル切換、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。

- パソコン側の RS-232C 通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
- 本機の仕様は、右のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信のしかた

- パソコンからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。
- 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(パソコンから本機へ)

レスポンス(本機からパソコンへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

O	K	⏎

リターンコード(0DH)

E	R	R	⏎

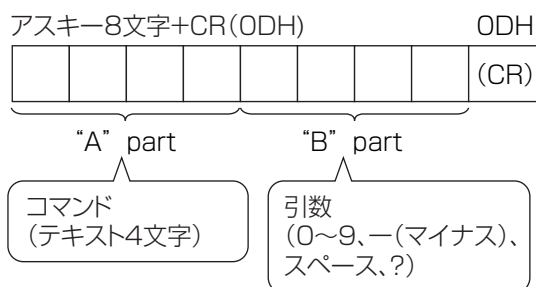
リターンコード(0DH)

戻り値について

・コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

O	K	(CR)

・コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

コマンドと引数について

・"B" part は左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字にしてください。)設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

・次ページのコマンド一覧で引数が「ー」になっているものは、「0」〜「9」、「ー」(マイナス)、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。

・いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

RS-232C コマンド一覧

●下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		"A"part	"B"part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	－※1	（トグル）	トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ）
	テレビ	ITVD	－		テレビに入力切換（チャンネルはそのまま[ラストメモリー]）
	入力1～7	IAVD	1～7※1	（入力端子番号）	入力1～入力7に入力切換
	i.LINK	LINK	－		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	－	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1～20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む（リモコン番号選択）
	CATV	CATV	13～63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0～999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0～999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0～999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	－	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作（入力切換含む）
	選局逆	CHDW	－	テレビのチャンネル番号－1	リモコン選局逆と同じ動作（入力切換含む）
入力選択	入力4 入力5 入力6	INP4 INP5 INP6※1	0	自動	入力切換含む。入力1～3･7以外で有効
			1	D端子	入力4･5のみ有効
			3	S端子	入力6のみ有効
			4	ビデオ映像端子	入力4～6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック（固定）	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
音量		VOLM	0～60	音量値	
位置調整･画面調整	水平位置	HPOS	※2	移動値	
	垂直位置	VPOS	※2	移動値	
	クロック周波数	CLCK	0～180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0～30	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	（AV系／PC系）
			2	スマートズーム	（AV系）
			3	ワイド	（AV系）
			4	シネマ	（AV系／PC系）
			5	フル	（AV系／PC系）
			6	フル1	（AV系1080i）
			7	フル2	（AV系1080i）
			8	アンダースキャン	（AV系720p）
			9	Dot by Dot	（AV系1080i、1080p／PC系）
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	－	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 入力6は、入力6端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

※2 調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。

- "B"part欄の「－」は、「0」～「9」、「－」（マイナス）、スペース、「？」であれば何を入力してもかまいません。

文字を入力するには（ソフトウェアキーボード）

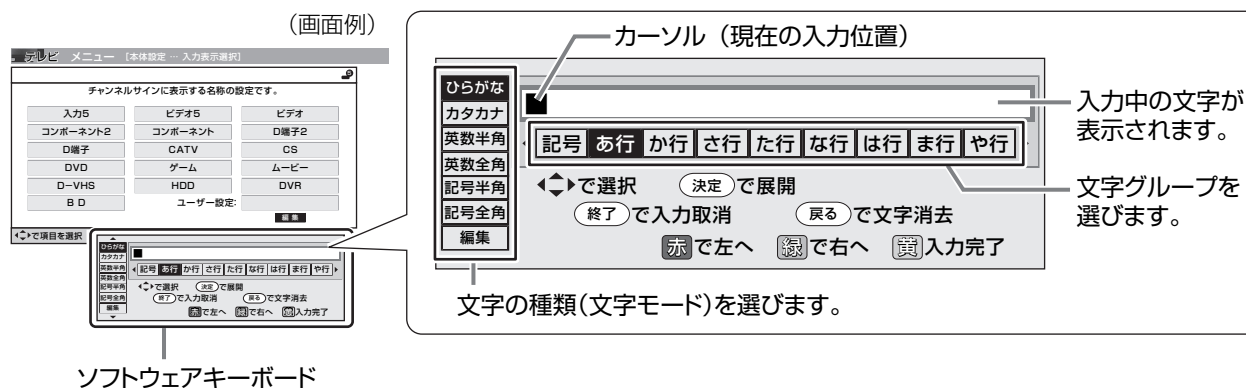
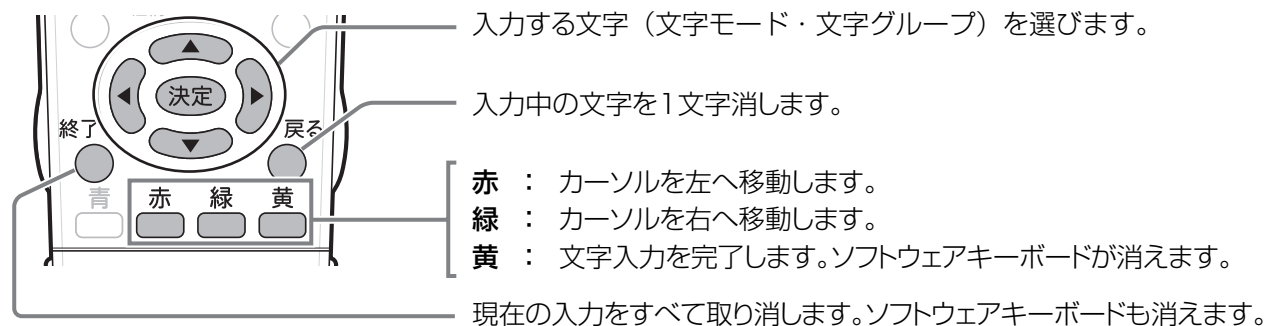
- 入力表示の編集や LAN 設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。
- ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと、表示されます。

文字の入力に使うリモコンのボタン

入力する文字（文字モード・文字グループ）を選びます。

入力中の文字を1文字消します。

赤 ： カーソルを左へ移動します。
緑 ： カーソルを右へ移動します。
黄 ： 文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。

現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

入力できる文字の一覧

文字モード	入力できる文字
ひらがな	（下表）
カタカナ	ひらがなと同じ文字をカタカナで入力できます。
英数半角	（下表）
英数全角	「英数半角」と同じ文字を全角で入力できます。

ひらがな

記号	ー、。・「」ー（全角ハイフン）		
あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ		
か行	かきくけこ゛	さ行	さしすせそ゛
た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも
や行	やゆよゃゅょ	ら行	らりるれろ
わ行	わをんゎ		
空白	（全角スペース）		

英数半角

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0		
ABC	a b c A B C	DEF	d e f D E F
GHI	g h i G H I	JKL	j k l J K L
MNO	m n o M N O	PQRS	p q r s P Q R S
TUV	t u v T U V	WXYZ	w x y z W X Y Z
空白	（半角スペース）		

文字モード	入力できる文字
記号半角	（下表）
記号全角	「記号半角」と同じ文字を全角で入力できます。
編集	入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去 カラーボタンや戻るボタンなどを押したときと同じ働きをします。

記号半角

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>; _ − ¥</td><td>; _ − ¥</td></tr>
<tr><td>$ % ! ?</td><td>$ % ! ?</td><td>& # + *</td><td>& # + *</td></tr>
<tr><td>= / | ~</td><td>= / | ~</td><td>” ’ ^ `</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>( ) < ></td><td>( ) < ></td><td>[ ] { }</td><td>[ ] { }</td></tr>
<tr><td>空白</td><td colspan="3">（半角スペース）</td></tr>
</table>

文字を入力する

- ここでは、例として入力表示選択画面で文字入力する手順を説明します。

1

入力表示選択（▶ 96 ページ）「ユーザー設定」の「編集」を選ぶ

決定する

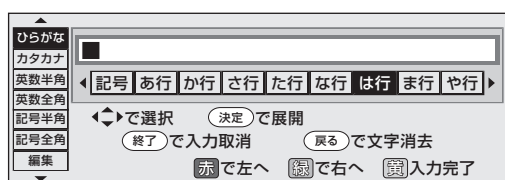
- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2

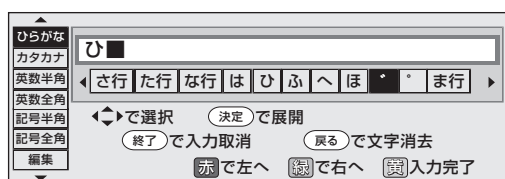
文字モードを選ぶ

文字グループを選ぶ

決定する

3

入力する文字を選ぶ

決定する

- キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

- 続けて手順 **2** ～ **3** を行い、文字を入力します。

4 黄

文字入力を完了する

- 黄ボタンを押すと入力中の文字が、入力欄に入力され、ソフトウェアキーボードが消えます。
  これで文字の入力は完了です。

おしらせ

- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

［例］「び」を入力する

1

「ひらがな」を選ぶ

「は行」を選ぶ

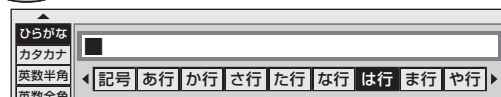
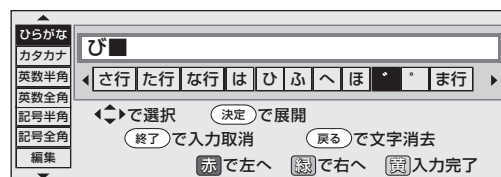
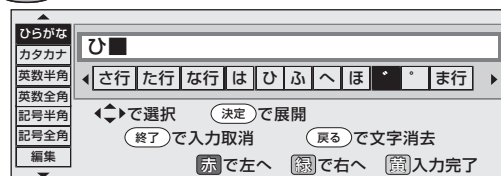
決定する

2

「ひ」を選ぶ

決定する

3

「゛」を選ぶ

決定する

- 「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

スペースを入力するとき

文字グループから「空白」を選ぶ

決定する

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

電話回線の接続と設定

● 双方向通信をお楽しみになるには、電話回線が必要です。

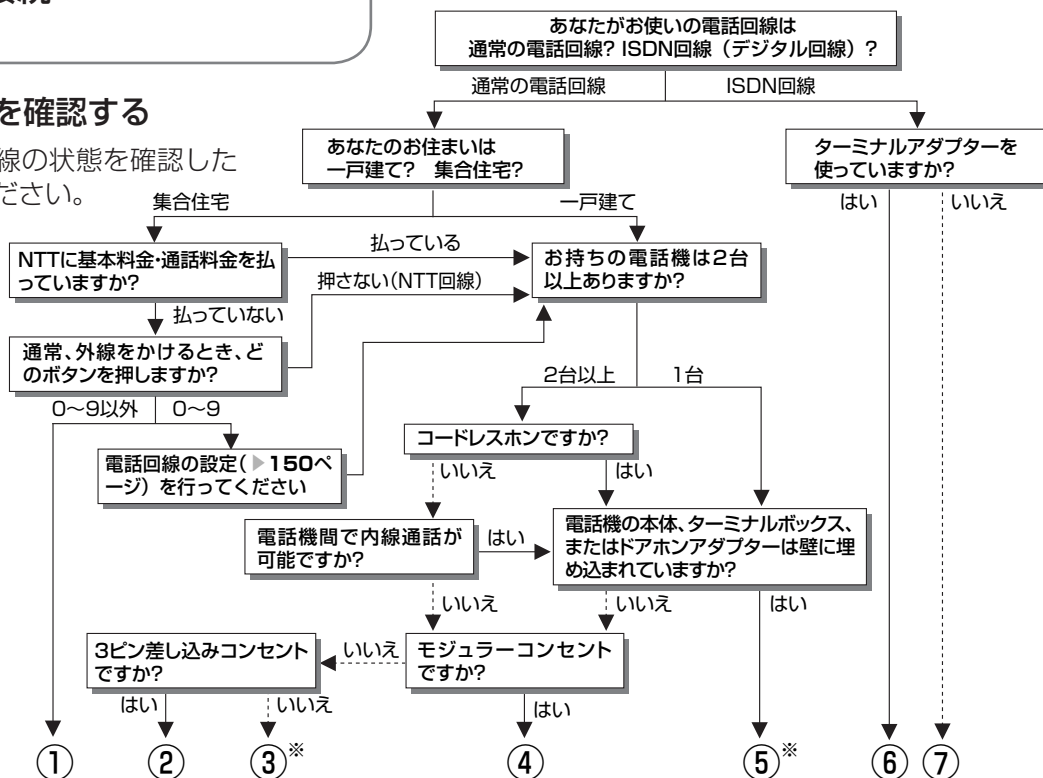
電話回線の接続と設定のながれ

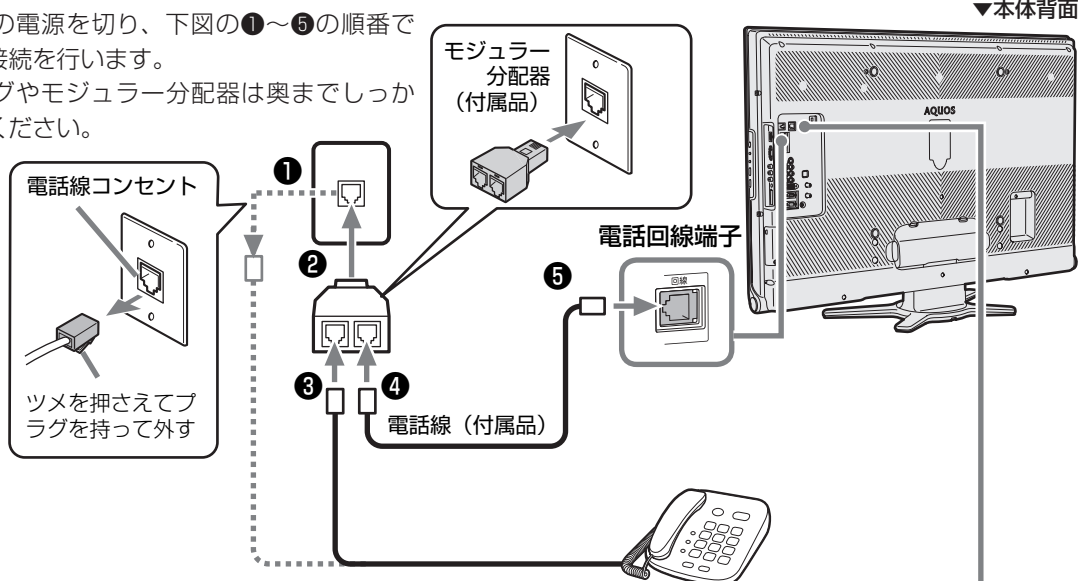
・一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。この場合、ブロードバンド環境が必要です。

電話回線の接続

電話回線の状態を確認する

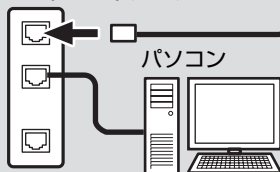
● 右の図で電話回線の状態を確認した後、接続してください。

● 詳細はNTTへお問い合わせください。

① マンション交換機（PBX）を使用している可能性が大きいので、交換機を通さない電話回線につないでください。
② 市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。
③ 専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。
④ 付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（▶149ページ）
⑤ 専門業者による分岐工事が必要です。
⑥ 本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
⑦ ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。
※ ③、⑤についての詳細は、お近くのNTT営業窓口、もしくは116（局番なし）でご相談ください。

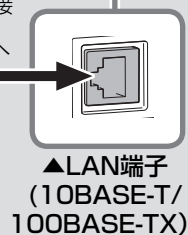
電話回線に接続する

ブロードバンドルーターに接続するときは

一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。ご家庭にブロードバンド環境がある場合は、本機のLAN端子と接続できます。ただし、電話回線を使った通信が行われることもありますので、必ず電話回線にも接続してください。

ブロードバンドルーター

パソコン

LAN端子へ

LANケーブル（市販品）
10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
また、LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルがあり、接続する機器の種類によって、使用するものが異なります。
購入する前にブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

▲LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）

ADSL回線をお使いの場合は：上記の「電話回線に接続する」の❷で付属のモジュラー分配器をスプリッターに接続してください。

おしらせ

・ 電話回線接続時には電話料金がかかります。（クイズ番組の答えを送信するときなど）
・ 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機や FAX が鳴る場合がありますが、異常ではありません。

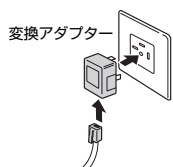
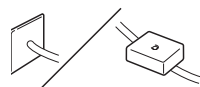
次のページに続く

つぎの電話回線では注意が必要です。

光回線や ADSL を使用する、インターネットを介した IP 電話などの電話回線の場合

- ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続

- 3ピンプラグの場合は、市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお求めください。

- 直結配線方式の場合は、簡単な工事が必要です。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）の場合

- そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
  詳細は電話設置会社にご相談ください。

キャッチホンの場合

- 通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
  詳細はお近くの NTT 営業窓口、もしくは 116（局番なし）にお問い合わせください。

FAX を使っている場合

- FAX の「電話機へ」と書かれたモジュラージャック端子に接続している電話機の電話線をはずし、代わりにモジュラー分配器を差し込み、分配器の一方に電話機の電話線を、もう一方に付属の電話線を接続してください。分配器で FAX と本機に分配すると、FAX が誤動作する場合があります。

本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。

- 通信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ ....）が聞こえます。その間は電話をしないでください。

直接デジタル回線に接続することはできません。

- 会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDN などのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプター（TA）等の端末器を介して接続してください。

電話回線の設定

● 接続した電話回線の設定をします。

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料がかかります。
- 電話回線のテスト実行には、回線の種類により最長7分程度かかる場合があります。
- 「電話回線設定－手動」で設定した内容を確認したい場合は、「電話回線設定－自動」で「テスト実行」を行ってください。

押すボタン

1 メニュー　**メニューを表示する**

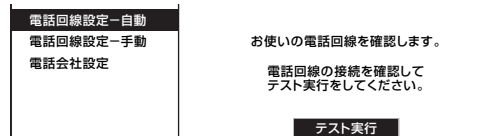
2 **「デジタル設定」－「通信設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 **「電話回線設定－自動」を選ぶ**

 決定する

 「テスト実行」で決定する

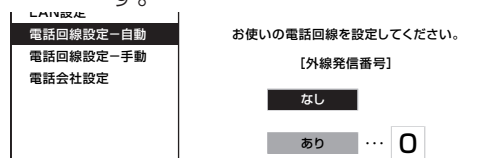
電話回線設定－自動 電話回線設定－手動 電話会社設定	お使いの電話回線を確認します。 電話回線の接続を確認して テスト実行をしてください。 テスト実行

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。

◆外線発信番号の設定

4 **「なし」または「あり」を選ぶ**

 決定する

- 外線交換機を使用しない場合は、「なし」を選びます。（通常はこちらを選びます。）
- 電話交換機などをご使用の場合は、「あり」を選びます。数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

LAN設定 電話回線設定－自動 電話回線設定－手動 電話会社設定	お使いの電話回線を設定してください。 ［外線発信番号］ なし あり … 0

5 決定 「テスト実行」で決定する

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
- 自動で電話回線の設定ができない場合は、以降の手順を行います。

◆手動による電話回線設定

6 「電話回線設定－手動」を選ぶ

 決定する

 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定する

7 電話回線種別を選ぶ

 決定する

- 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）が分からない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

8 外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

 決定する

- 「あり」を選んだ場合は、数字ボタン（チャンネルボタン）（1～10/0）で、外線発信番号（0～9）を右のボックスに入力し、決定ボタンを押します。

9 ダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選ぶ

決定 決定する

- NTT回線に直結している場合は「する」を選び、交換機を中継する場合は、交換機の機種により、「する」または「しない」を選んでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

電話会社の設定
（通常は設定する必要はありません）

- 各放送局など、電話回線を使って通信する際に利用する電話会社に関する設定です。

発信者番号通知設定

- 通信時、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

① メニューボタンを押し、メニューを表示する
② カーソルボタンで「デジタル設定」－「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
③ 上下カーソルボタンで「電話会社設定」を選び、決定ボタンを押す
④「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定ボタンを押す

⑤ 上下カーソルボタンで「設定しない」「186」（電話番号を通知する）「184」（電話番号を通知しない）のいずれかを選び、決定ボタンを押す

事業者番号設定

- 電話回線での通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

⑥ カーソルボタンで利用している電話会社の事業者番号を選び、決定ボタンを押す

解除番号設定

- マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

⑦ 左右カーソルボタンで「する」（マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信する）または「しない」（マイラインプラスを解除しないで発信する）を選び、決定ボタンを押す

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

次のページに続く

システム動作テスト

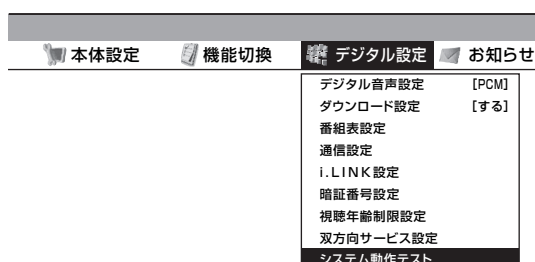
- 本機は、電話回線の接続やB-CASカードの挿入が正しく行われているかなどをテストできます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「システム動作テスト」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 決定　**「テスト実行」で決定する**

- 表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

4 決定　**結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

バージョン番号 : 00000000 0000000
システム状態 : 0000−0000−0000−0000−0000
B−CASカード : 0000−0000−0000−0000−0000
電話線接続 : 接続無し
テスト終了

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

システム動作テストに失敗したときは

- 電話回線の接続と設定を確認してください。
（▶ **148**～**151** ページ）
- B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
（▶ **24**ページ）

双方向サービスの利用を制限する

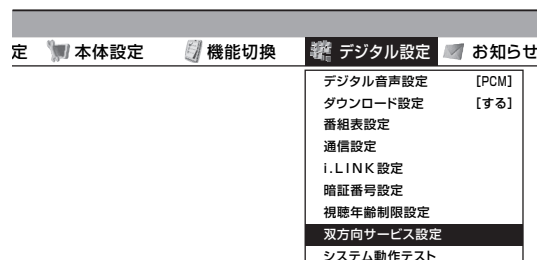
- 双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、電話回線やLANでの接続を禁止したいときに便利な設定です。

おしらせ

- この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（▶ **142** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2 **「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ**

決定　**決定する**

3 1 ～ 10/0　**暗証番号を入力する**

4 **以下の設定項目を選ぶ**

決定　**決定する**

項目
電話回線を禁止する
電話回線とLAN接続を禁止する
禁止しない

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 「禁止しない」に設定した場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示します。

LAN 設定

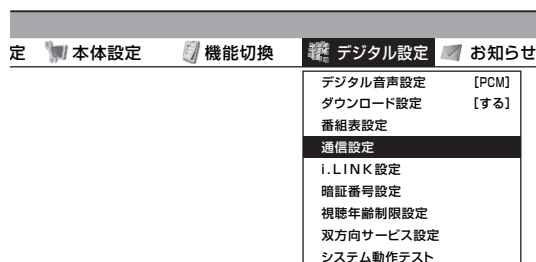
● LAN 接続（▶149 ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダが指定した LAN の設定が必要となります。

おしらせ

・LAN 設定は専門知識が必要ですので、お買いあげの販売店や ADSL 事業者などにご相談ください。

● メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN 設定」を選び、設定します。

定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

デジタル音声設定　[PCM]
ダウンロード設定　[する]
番組表設定
通信設定
i.LINK設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
双方向サービス設定
システム動作テスト

IP アドレスを設定する

・IPアドレスの自動取得設定
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

「する」……IPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

DNS の IP アドレスを設定する

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

・「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス（ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合）またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

プロキシサーバーの設定

・プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

「する」……「する」を選んだときは、プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力してください。

「しない」…プロキシサーバーを利用しません。

より詳細な設定

・LAN接続スピードの設定を行います。
通常は「しない」を選びます。

LAN 接続スピードを設定する

・通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

LAN に接続するためのテストを実行する

・テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

設定項目について

項目	内容
DHCP	IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。
IPアドレス	TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。
ネットマスク	TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。
ゲートウェイ	ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

LAN 設定の内容を変更・消去する

● LAN 設定を行ったあとで、メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN 設定」を選び、設定の内容を変更・消去できます。

変更するとき

「変更する」を選んだあと設定をやり直します。

・この画面に表示されている数値は一例です。
お客様のネットワーク環境によって表示される数値は異なります。

消去するとき

「初期化する」－「する」を選びます。

こんなときは

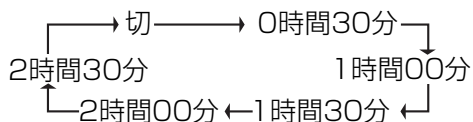
省エネの設定をする

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

● テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

時間を指定してオフタイマーを設定する

- 押すごとに次のように画面の表示が変わります。

切 → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 → 切

- オフタイマーの残り時間が５分になると、残り時間が画面左下に表示されます。

● メニューを表示して設定することもできます。

1

メニューを表示する

2 **「省エネ設定」−「オフタイマー」を選ぶ**

決定する

3
電源が切れるまでの時間を選ぶ

- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

決定 **決定する**

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

オフタイマーの残り時間を確認するには

オフタイマー **オフタイマーの残り時間を確認する**

- オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
- しばらくすると表示が消えます。
- 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

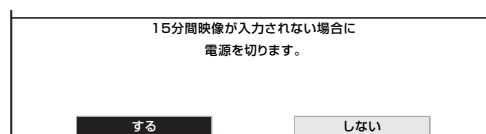
● 放送終了後など、番組が映らない状態になると、約１５分後に電源が切れるように設定できます。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「省エネ設定」−「無信号オフ」を選ぶ**

決定する

3 **「する」を選ぶ**

決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- 電源が切れる５分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ機能について

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- 入力７のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。（▶ **157** ページ）

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

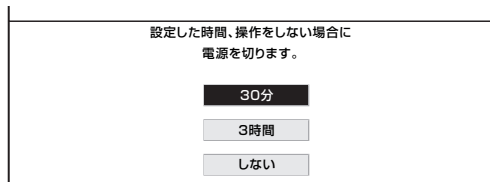
- 操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「省エネ設定」－「無操作オフ」を選ぶ

決定　決定する

3 「30 分」または「3 時間」を選ぶ

決定　決定する

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

おしらせ

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

パソコンをつないでいるときに省エネを設定する（パワーマネージメント）

- パソコン（PC）の画面が消えたときに自動的に本機の電源も切れるように設定できます。（パワーマネージメント）
- 「パワーマネージメント」は、入力 7 を選択しているときに選べます。

（例） パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 入力切換　「入力 7」（PC 入力）を選ぶ

2 メニュー　メニューを表示する

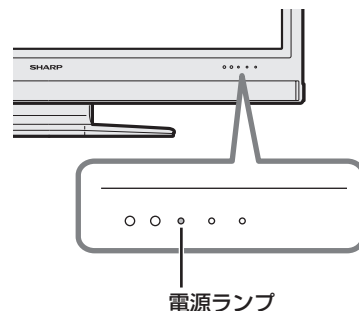
3 「省エネ設定」－「パワーマネージメント」を選ぶ

決定　決定する

4 「モード 1」を選ぶ

決定　決定する

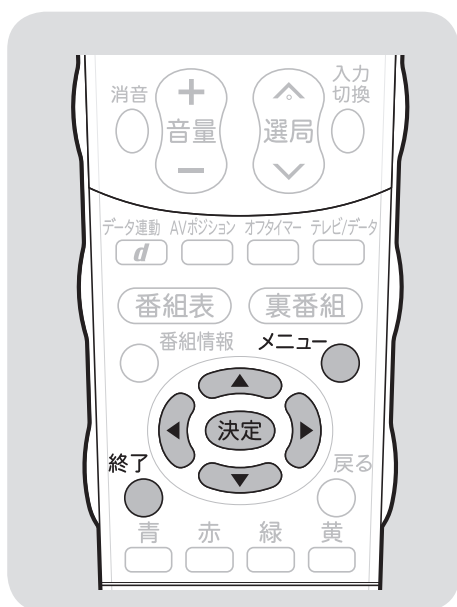
項目	内容
しない	パワーマネージメントを行いません。
モード 1	PC（パソコン）の画面が消えると、約 8 分後に自動的に電源が切れる機能です。電源が切れる 5 分前から、画面左下に残り時間が表示されます。 パワーマネージメント　残り　5分
モード 2	PC（パソコン）の画面が消えると、8 秒後に自動的に電源が切れる機能です。PC の映像信号が入力されると電源が入ります。

- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。
- パワーマネージメントを「モード 2」に設定している場合、パワーマネージメント状態になると、本体前面右下の電源ランプが橙色に点灯します。

おしらせ

- パワーマネージメントを「モード 2」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして本機の電源をしゃ断すると、電源を入れなおしても正常に動作しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタン（赤）を押してください。

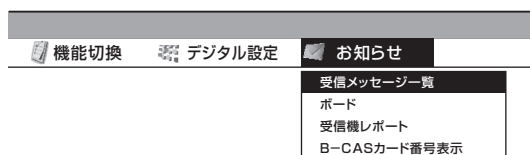
お知らせを見る

● 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、B-CAS カード番号などが確認できます。

項目	内容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 ※ 地上アナログ放送視聴中、録画予約実行中、デジタル固定を「する」にしているときは選べません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 カードID……カード固有の番号です。

1 メニュー **メニューを表示する**

2 **「お知らせ」を選ぶ**

3 **見たい項目を選ぶ**

決定する

- 項目によっては、この後ネットワーク（放送の種類）を選ぶ手順になります。

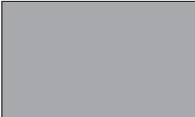
4 **見たい情報を選ぶ**

決定する

(例)「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

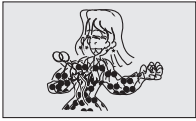
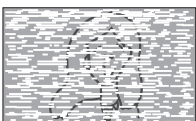
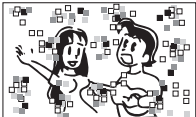
	受信日時	
未読	2/26［月］	ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

5 **情報の内容を確認する**

- ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを選び、決定ボタンを押します。
- 画面に従って操作してください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

- 未読の受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。
- 受信機レポートの表示中、左右カーソルボタンで「消す」を選んで決定ボタンを押すと、その受信機レポートが消去されます。
- 受信機レポートに「予約時に指定された i.LINK 機器が使えませんでした。」という表示が出た場合は、i.LINK 機器の接続（▶ **120** ページ）や選択を見直してください。（▶ **124** ページ）

故障かな？と思ったら

・つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（▶ 173ページ）をご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ（地上アナログ放送、CATV）やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・接続ケーブルが抜けていないか確認してください。	33 37 95 –
	リモコンが動作しない	・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。 ・リモコン番号が本体と一致しているか確認してください。画面左下に「リモコン番号が異なります」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 **以下の場合はリモコンで動作しにくくなります。** ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。 ・乾電池が消耗すると、操作できる距離が徐々に短くなりますので、早めに新しい乾電池に交換してください。 ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていると、リモコンが動作しにくくなります。向きを変えるなどしてみてください。 ・蛍光灯などが近くにある場合には、動作しにくいことがあります。 ・受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます） ・電池の端子が酸化（薄黒く）、消耗、室温低下で不活発になり動作しにくいことがあります。	36 36 36 82 –
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・入力6端子設定が「モニター出力（可変）」に設定されていませんか。「モニター出力（固定）」にしてください。 ・D映像･S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。 ・「PC音声選択」が「入力2（HDMI）」になっていませんか。	65 65 18 105 92•93 140
	音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。 ・映像ケーブルが抜けていませんか。	80 92•93
	色がうすい 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	87
	画面が暗い 黒色が潰れる	・「AVポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AVメモリー」を試してください。	86
	特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	58
	画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	85

次のページに続く

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般(つづき)	テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
	画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	– – –
	リモコンや本体ボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。 ・チャイルドロックが設定されていませんか。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号が異なります」と表示されるときは、リモコン番号の設定が必要です。	– 143 82
	ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	–
	リモコンで電源を切った後に、ときどき「カチ」と音がする(数回鳴る場合があります。)	・本機の電源が待機状態のときでも、次の場合は動作している音が鳴ることがあります。 ・デジタル放送の録画予約を実行している場合 ・ダウンロードをしている場合 ・有料放送の契約情報を取得している場合 ・地上デジタル放送の電子番組表の情報を取得している場合	99 166 – 74
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	28~31
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	14
	映像が二重になる(ゴースト)	・近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。	–
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	– 8•28~31
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	28~31 – – 28

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	・個人でBS・110度CS放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・個人でBS・110度CS放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 ・その局が放送していない時間帯ではありませんか。 ・ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	44 44 – 95 24
	画面に四角のノイズ(モザイク)が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・受信強度を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 44～45 – 28～31
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。	24 25
	110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器などをご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。	29～31 29
	BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	・強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 ・春分や秋分の前後 20 日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	– 22 28～31 46 48
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・受信強度を確認してください。	25 44～45
	電子番組表(EPG)が表示されない 電子番組表(EPG)に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」(待機状態)にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 ・スキップを「する」に設定していませんか。	74 – 49～50
	番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
	デジタル放送が受信できない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。本体の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を「入」にしてみてください。	–

次のページに続く

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
その他	i.LINK接続されない	• 接続先の機器の電源は入っていますか。 • i.LINKケーブルがはずれていませんか。 • 接続する機器はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・ブルーレイディスクレコーダー・HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はこれらの機器のみ接続が可能です。 • i.LINK機器を正しく選択していますか。 i.LINK録画機器の接続を変更、あるいはi.LINK録画機器の交換を行った場合は、i.LINK機器の設定を再度行ってください。	– **120** **120** **124**

おしらせ **停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目**

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。デジタル放送が受信できないなど、時刻の自動設定がされないときは、メニューの「本体設定」－「時計設定」－「時刻設定」で設定してください。（時刻が合っていないときは（時刻設定）▶ **79** ページ）
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  ・静止画　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・デジタル固定　・映像オフ

エラーメッセージが出たら

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CASカードを正しく挿入してください。 B-CASカードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	＊＊＊＊	B-CASカードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入しなおしてください。	**24**
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	＊＊＊＊	本機に付属のB-CASカードを挿入してください。	**24**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	**E200**	このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	**E201**	降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	**23**
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	＊＊＊＊	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	**E202**	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**28~31** **44**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	**E203**	番組表などで放送時間を確かめてください。	–

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	**E204**	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	＊＊＊＊	電源を入れなおしてください。 BSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	**29〜31**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	**E210**	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	＊＊＊＊	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	電話回線の接続を確認のうえ、電源を切ってからB-CASカードを一度抜き、挿入しなおしてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**24・ 148〜150**
データの通信に失敗しました。	**E301**	電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	**148〜151**
データが受信できません。	**E400**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	**E402**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

■アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が60以下です。【B】	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**44〜45**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。 ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や挿入が必要です。 販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号が良くありません。【D】	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**28〜31 44**
受信できません。【E】	BS・110度CSデジタル共用アンテナが正しく設置されているか確認してください。 アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**22〜23 28〜31 44**

次のページに続く

■i.LINKに関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。他の機器を選択しなおしてください。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。「i.LINK機器をつなぐ」（▶**120**ページ）をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作し、選択している機器の使用を中断する必要があります。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**148~151**
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**148~151**
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	**148~151**
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定で「禁止しない」を選択してください。	**152**
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	****	電話回線設定を確認してください。	**150~151**
まだルート証明書※3を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター……双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書……暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

■ファミリンク録画時のエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S05**	録画ができないコンテンツ（放送や番組）、または録画ができない記録メディア（HDD・DVDなどの録画媒体）です。コンテンツまたは録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S06** **S07**	このネットワークは録画することができません。 ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。 録画に失敗しました。	**S09** **S10** **S11** **S12**	ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	**S13** **S14**	このコンテンツ（放送や番組）は録画することができません。 コンテンツを確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S16**	録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	**S17**	再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	**S18**	現在録画中のため、あらたに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S19**	録画メディアが書き込み禁止です。 録画メディアを確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	**S20**	放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	**S21**	録画メディアに録画できません。 録画メディアを確かめてください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	**S22**	録画メディアの容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	**S23**	視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	**S31**	録画機器を確認してください。

● ダウンロードとは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのもので、自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。

● お買いあげ時は利便性を考えて「する」(自動)に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードは BS デジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについて

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定しなおしてください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン(赤)で、待機状態にしてください。本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合、ダウンロードは実行されません。**

自動ダウンロードを「しない」に設定する

● 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 メニュー　**メニューを表示する**

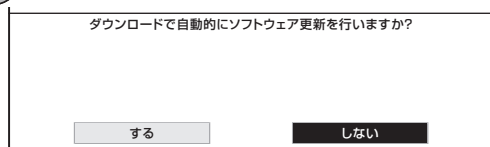
2 **「デジタル設定」—「ダウンロード設定」を選ぶ**

決定する

3 **「しない」を選ぶ**

決定する

ダウンロードで自動的にソフトウェア更新を行いますか?

する　しない

- 操作を終了する場合には、終了ボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

● 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、受信メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードを行えます。

1 メニュー　**メニューを表示する**

2

「お知らせ」—「受信メッセージ一覧」を選ぶ

決定する

3

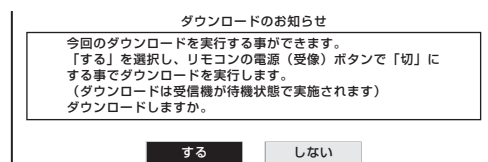
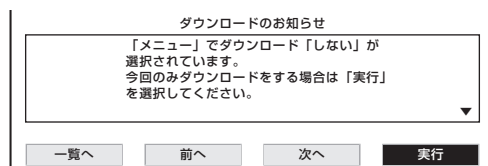
「ダウンロードのお知らせ」を選ぶ

決定する

4 **画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ**

決定する

5 **画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ**

決定する

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。

(お知らせを見る ▶ **158** ページ)

本機の個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

● 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

- お客さまが設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、本体側のリモコン番号、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
  データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 メニュー　メニューを表示する

2 「本体設定」－「個人情報初期化」を選ぶ

決定　決定する

3 「する」を選ぶ

決定　決定する

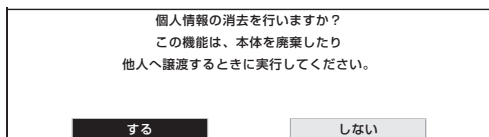
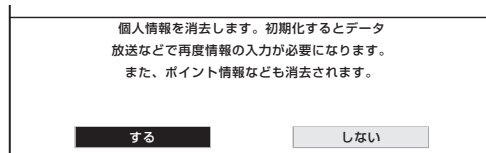
個人情報の消去を行いますか？
この機能は、本体を廃棄したり
他人へ譲渡するときに実行してください。

する　　しない

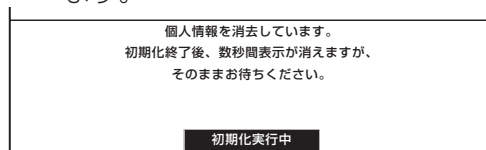
4 「する」を選ぶ

決定　決定する

個人情報を消去します。初期化するとデータ
放送などで再度情報の入力が必要になります。
また、ポイント情報なども消去されます。

する　　しない

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。
  初期化には、しばらく時間がかかります。

個人情報を消去しています。
初期化終了後、数秒間表示が消えますが、
そのままお待ちください。

初期化実行中

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、本体の電源スイッチ（赤）を押してください。
- 初期化すると本体のリモコン番号は「1」になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。（▶ **82** ページ）

本機の操作ができなくなったときには

● 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
このときは、本体の電源スイッチを押して一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやりなおしてください。
電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源スイッチを 5 秒以上押し続けてください。本機の電源が一旦切れますので、電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。この操作をしてもチャンネル設定やメニューなどの設定項目は保持されます。

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

メニュー項目の一覧

テレビ、入力4～6選択時（入力1～3、入力7選択時については▶170ページをご覧ください）

● ここでは、本機で表示されるすべてのメニュー項目を記載していますが、実際にすべての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

機能切換

項目	設定内容
ファミリンク設定	(▶112〜113・119ページ) → 下位メニュー
入力選択 ※27	自動、D端子、S端子、ビデオ映像（▶96ページ）
PC音声選択	入力2(HDMI)、入力7(PC)（▶140ページ）
入力6端子設定※18	モニター出力(固定)、モニター出力(可変)、入力（▶105・135ページ）
ヘッドホン設定	モード1、モード2（▶81ページ）
デジタル固定 ※10※11	する、しない（▶106ページ）
字幕表示設定 ※9※10	する、しない（▶77ページ）
番組名表示設定 ※10	する、しない（▶78ページ）
ゲーム時間表示設定※19	する、しない（▶133ページ）
映像オフ	する、しない（▶80ページ）
オンタイマー設定※20	(▶79ページ) → 下位メニュー
チャイルドロック	しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック（▶143ページ）
画面表示色設定	ブルー系、グレー系、レッド系、グリーン系（▶81ページ）
画面文字サイズ設定	標準、大きな文字（▶81ページ）

ファミリンク設定（▶112〜113・119ページ）

項目	設定内容
連動起動設定	する、しない
録画機器選択	入力1、入力1(サブ)、入力2、入力2(サブ)、入力3、入力3(サブ)
ジャンル連動設定 ※17	する、しない
選局キー設定	入力1、入力2、入力3

オンタイマー設定（▶79ページ）

項目	設定内容
オンタイマー	切、入
オン時刻(時)	
オン時刻(分)	
オン入力※21	
オンCH	
音量	0〜60

デジタル設定

項目	設定内容
デジタル音声設定 ※9※10	PCM、AAC（▶134ページ）
ダウンロード設定 ※10	する、しない（▶166ページ）
番組表設定 ※10	(▶74〜75ページ) → 下位メニュー
通信設定 ※10	(▶150・151・153ページ) → 下位メニュー
i.LINK設定	(▶121ページ) → 下位メニュー
暗証番号設定 ※10	暗証番号設定画面（▶142ページ）
視聴年齢制限設定 ※10	無制限、XX歳以下（▶143ページ）
双方向サービス設定 ※10	電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない（▶152ページ）
システム動作テスト ※10	システム動作テスト画面（▶152ページ）

番組表設定（▶74〜75ページ）

項目	設定内容
番組表取得設定	する、しない
表示方式設定	モード1、モード2、モード3、モード4
ジャンルアイコン設定	標準、薄く、注目

通信設定（▶150・151・153ページ）

項目	下位項目	設定内容
LAN設定	IPアドレス設定	する、しない
	DNSアドレス設定	する、しない
	プロキシサーバー設定	する、しない
	詳細設定	する、しない
電話回線設定−自動 電話回線設定−手動	電話回線種別	20pps、10pps、トーン
	外線発信番号	なし、あり
	ダイヤルトーン検出	する、しない
電話会社設定	発信者番号通知	設定しない、186、184
	事業者番号	
	解除番号設定	する、しない

i.LINK設定（▶121ページ）

項目	設定内容
i.LINK自動切換	する、しない
録画モード設定	する、しない

お知らせ

（▶158 ページ）

項目	設定内容
受信メッセージ一覧	受信メッセージ一覧画面
ボード※9※11	ボード画面(CS1、CS2)
受信機レポート	受信機レポート画面
B-CASカード番号表示	B-CASカード番号表示画面

・ 表中の※については▶ 171 ページのおしらせをご覧ください。

入力1～3、入力7選択時（記載以外の参照ページについては、▶168～169ページをご覧ください。）

映像調整※1 ※2
- 明るさセンサー：切、入、入:表示あり
- 明るさ：−16～標準～+16
- 映像：0～+40
- 黒レベル：−30～0～+30
- 色の濃さ：−30～0～+30
- 色あい ※3：−30～0～+30
- 画質※22：0～+15
- 肌色補正
  - 色相：−30～0～+30
  - 彩度：−30～0～+30
  - 明度：−30～0～+30
  - リセット
- プロ設定
  - カラーマネージメント一色相／カラーマネージメント一彩度／カラーマネージメント一明度
    - R：−30～0～+30
    - Y：−30～0～+30
    - G：−30～0～+30
    - C：−30～0～+30
    - B：−30～0～+30
    - M：−30～0～+30
    - リセット
  - 色温度
    - 低／中一低／中／高一中／高
      - Rゲイン：−30～0～+30
      - Gゲイン：−30～0～+30
      - Bゲイン：−30～0～+30
      - リセット
  - QS駆動（120Hz）：アドバンス、スタンダード、しない
  - アクティブコントラスト：する、しない
  - ガンマ設定：モード1、モード2、モード3、モード4
  - I／P設定※4※23：動画より、静止画より
  - フィルムモード ※4※5※28：する、しない
  - 3次元ノイズリダクション※22※30：しない、強、弱
  - モノクロ：する、しない
  - 明るさセンサー設定：最大値設定:−16～0～+16、最小値設定:−16～0～+16
- リセット：する、しない

音声調整※1 ※2 ※7 ※8
▶168ページと同じ

省エネ設定
- 無信号オフ ※24：する、しない
- パワーマネージメント ※29：しない、モード1、モード2 （▶157ページ）
- 無操作オフ：30分、3時間、しない
- オフタイマー：残り××時間××分、0時間30分、1時間00分、1時間30分、2時間00分、2時間30分、切

本体設定
- かんたん初期設定※9
- 視聴環境設定（音声）※7※8
  - 標準
  - 個別設定：部屋の種類：洋室、寝室、和室／設置場所：壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
- 入力スキップ設定
  - 入力1（HDMI）：する、しない
  - 入力2（HDMI）：する、しない
  - 入力3（HDMI）：する、しない
  - 入力7（PC）：する、しない
  - 地上アナログ（本体）：する、しない
  - 地上デジタル（本体）：する、しない
  - BSデジタル（本体）：する、しない
  - CSデジタル（本体）：する、しない
- 入力解像度 ※26※29：1024×768、1360×768 （▶140ページ）
- 自動同期調整 ※25：する、しない（▶139ページ）
- 入力表示選択 ※12：（自動）入力1、（自動）入力2、（自動）入力3、入力1、入力2、入力3、入力7、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ7、ビデオ、HDMI、HDMI1、HDMI2、HDMI3、RGB、DVD、ゲーム、HDD、DVR、BD、PC、ユーザー設定
- 位置調整 ※24
  - 水平位置：調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
  - 垂直位置：調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
  - リセット
- 画面調整 ※25（▶139ページ）
  - 水平位置：調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
  - 垂直位置：調整できる範囲は、入力信号や画面サイズによって変わります。
  - クロック周波数：0～+180
  - クロック位相：0～+30
  - リセット
- オートワイド ※24
  - 映像判別：する、しない
  - HDMI識別：する、しない （▶85ページ）
- 映像反転：しない、左右反転、上下反転、上下左右
- クイック起動設定：しない、する（常に有効）、する（2時間のみ有効）
- Language （言語設定）：日本語、English
- 時計設定
  - 時刻設定※16：時刻　時　分
  - 時刻表示：する、する（30分ごと）、しない
- リモコン番号設定：リモコン番号1、リモコン番号2
- 個人情報初期化：する、しない

機能切換
- ファミリンク設定
  - 連動起動設定：する、しない
  - 録画機器選択：入力1、入力1（サブ）、入力2、入力2（サブ）、入力3、入力3（サブ）
  - ジャンル連動設定 ※17：する、しない
  - 選局キー設定：入力1、入力2、入力3
- PC音声選択：入力2（HDMI）、入力7（PC）
- 入力6端子設定※18：モニター出力（固定）、モニター出力（可変）、入力
- ヘッドホン設定：モード1、モード2
- ゲーム時間表示設定※19：する、しない
- 映像オフ：する、しない
- オンタイマー設定※20
  - オンタイマー：切、入
  - オン時刻（時）
  - オン時刻（分）
  - オン入力※21
  - オンCH
  - 音量：0～60
- チャイルドロック：しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック
- 画面表示色設定：ブルー系、グレー系、レッド系、グリーン系
- 画面文字サイズ設定：標準、大きな文字

デジタル設定
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない

お知らせ
▶169ページと同じ

※ 1　AV ポジションごとに設定できます。また、AV ポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※ 2　AV ポジションが「ダイナミック（固定)」になっているときは設定できません。
※ 3　「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※ 4　プログレッシブ信号入力時には選択できません。また PC 信号入力時も選択できません。
※ 5　AV ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。
※ 6　アナログ放送視聴時またはビデオ映像端子から入力された映像を表示しているときのみ選択できます。
※ 7　ヘッドホン設定が「モード 1」のときに、ヘッドホンが挿入されていると選択できません。
※ 8　「入力 6 端子設定」が「モニター出力（可変)」に設定されているとき、または「AQUOS オーディオで聞く」に設定されているときは選択できません。
※ 9　録画予約実行中およびデジタル固定中は選択できません。
※ 10 テレビ視聴時のみ表示されます。
※ 11 アナログ放送視聴時は選択できません。
※ 12 入力 1 ～ 7 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。また、選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 13 デジタル放送視聴時には選択できません。
※ 14 入力 6 選択時のみ表示されます。
※ 15 入力 4・5 選択時のみ表示されます。
※ 16 時刻が自動設定されているときは選択できません。
※ 17 ファミリンク対応の AQUOS オーディオが接続されていないときは選択できません。
※ 18 オンタイマーの入力が「入力 6」に設定されているときは選択できません。
※ 19 入力 1 ～ 7 選択時のみ表示されます。
※ 20 時刻が設定されていないときは時刻設定を行います。オンタイマー機能を使うためには時刻が設定されている必要があります。
※ 21 入力 6 端子設定が入力以外のとき「入力 6」はスキップされます。
※ 22 AV ポジションが「PC」のときは選択できません。
※ 23 入力 7 選択時は選べません。
※ 24 入力 1 ～ 3 選択時のみ表示されます。
※ 25 入力 7 選択時のみ表示されます。また、入力 7 に PC 信号が入力されているときのみ選択できます。
※ 26 入力 7 選択時に、入力信号の解像度が 1024 × 768 または 1360 × 768 のときに選択できます。
※ 27 入力 4 ～ 6 選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。また、選択されている入力により、表示項目が異なります。
※ 28 入力信号が 1080i のときは選択できません。
※ 29 入力 7 選択時のみ表示されます。
※ 30 入力信号が 1080p のときは選択できません。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ		
形名		LC-42DS5	LC-37DS5	LC-32DS5
液晶パネル	画面サイズ	42V型 （横930mm×縦523mm／対角1067mm）	37V型 （横819mm×縦461mm／対角940mm）	32V型 （横698mm×縦393mm／対角801mm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式		
	画素数	1,920（水平）×1080（垂直） 画素		
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型		
スピーカー		6.5cm 丸型2個、2.0cm 丸型2個		
音声実用最大出力（JEITA）		総合20W （10W+10W）		
使用電源		AC100V・50/60Hz		
消費電力		226W（待機時電力：0.1W、クイック起動「する」時電力：23W	195W（待機時電力：0.1W、クイック起動「する」時電力：23W	154W（待機時電力：0.1W、クイック起動「する」時電力：23W
年間消費電力量		・区分名：BII ・受信機型サイズ：42V ・年間消費電力量： 180kWh／年[標準時※1]	・区分名：BII ・受信機型サイズ：37V ・年間消費電力量： 143kWh／年[標準時※1]	・区分名：BII ・受信機型サイズ：32V ・年間消費電力量： 130kWh／年[標準時※1]
接続端子		HDMI入力3系統3端子、D4映像入力2系統2端子、S2映像入力1系統1端子、 ビデオ入力3系統3端子（入力6はモニター出力／録画出力兼用）、 モニター出力1系統1端子（入力6／録画出力兼用・S2映像付き）、 アナログRGB（PC入力）端子、音声入力端子（入力2／入力7用）、i.LINK（TS）2端子、 デジタル音声出力（光）1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル地上アナログ（VHF・UHF）端子、 アンテナ入力BS・110度CSデジタル端子、ヘッドホン接続端子、AC入力端子、 コントロール（RS-232C）端子、電話回線端子、LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX）		
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch・UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル001～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル（ワンセグを除く）011～528ch （CATVパススルー対応）		
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK		
	トランスポート	MPEG2 システム		
	映像	MPEG2 （MP@HL）		
	音声	MPEG2 AAC		
	限定受信システム	ARIB CASシステム		
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz		
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz		
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）		
	トランスポート	MPEG2 システム		
	映像	MPEG2 （MP@HL）		
	音声	MPEG2 AAC		
	限定受信システム	ARIB CASシステム		
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz		
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯		
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅1020×奥行86（最薄部82）×高さ675（mm）	幅913×奥行86（最薄部82）×高さ609（mm）	幅786×奥行86（最薄部82）×高さ544（mm）
	スタンド装着時	幅1020×奥行297×高さ742（mm）	幅913×奥行297×高さ674（mm）	幅786×奥行241×高さ604（mm）
本体質量	ディスプレイ部のみ	約19.5kg	約17.0kg	約15.5kg
	スタンド装着時	約23.0kg	約20.0kg	約17.5kg
使用温度		0℃～40℃		

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。

■ 年間消費電力量とは：省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。

※1：一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。（本機では、AVポジション「標準」の場合です。）

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】
0120 - 001 - 251
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■「故障かな？と思ったら」(▶159ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　名：LC-42DS5／LC-37DS5／LC-32DS5
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

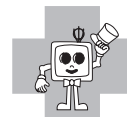
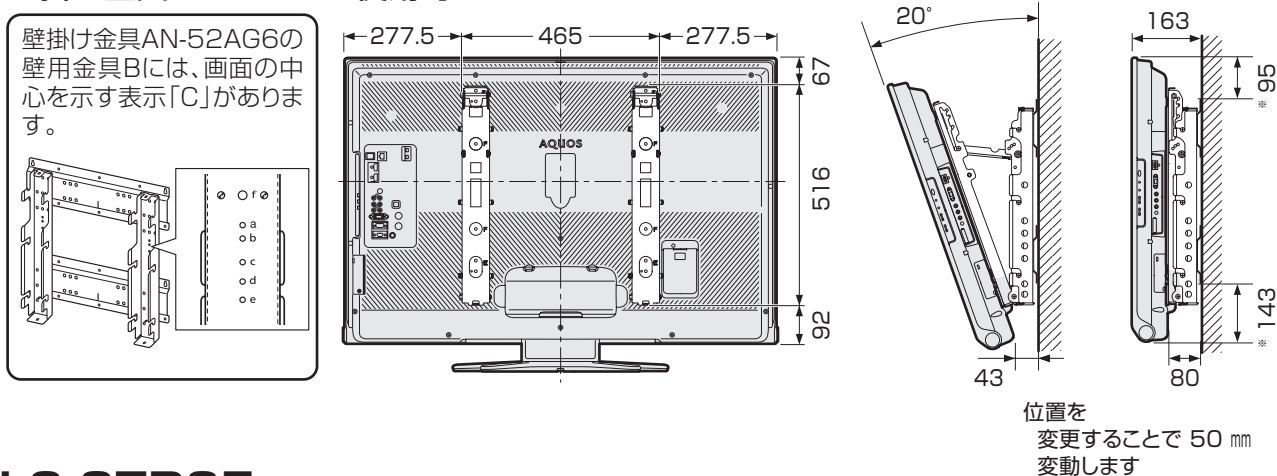
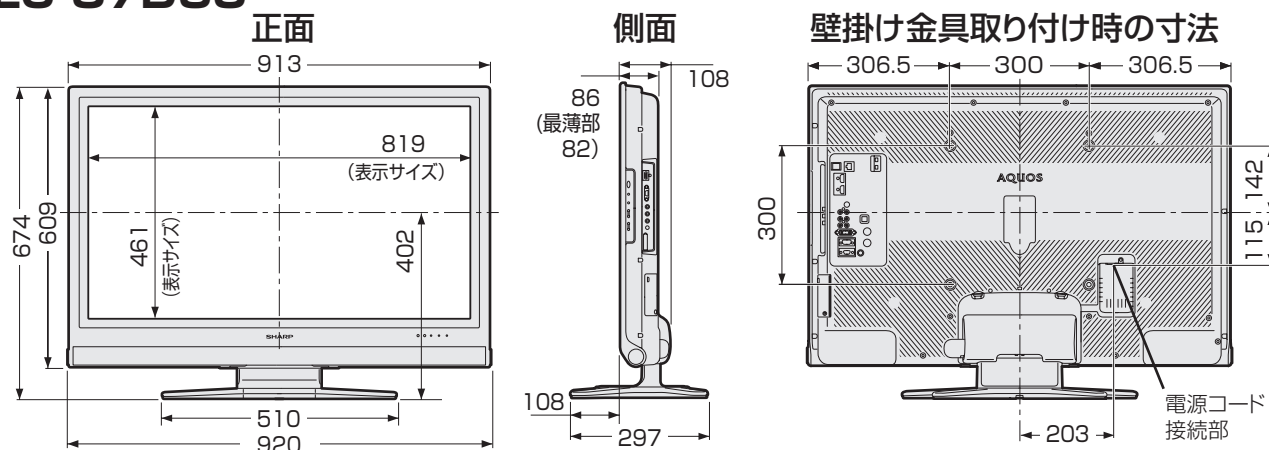
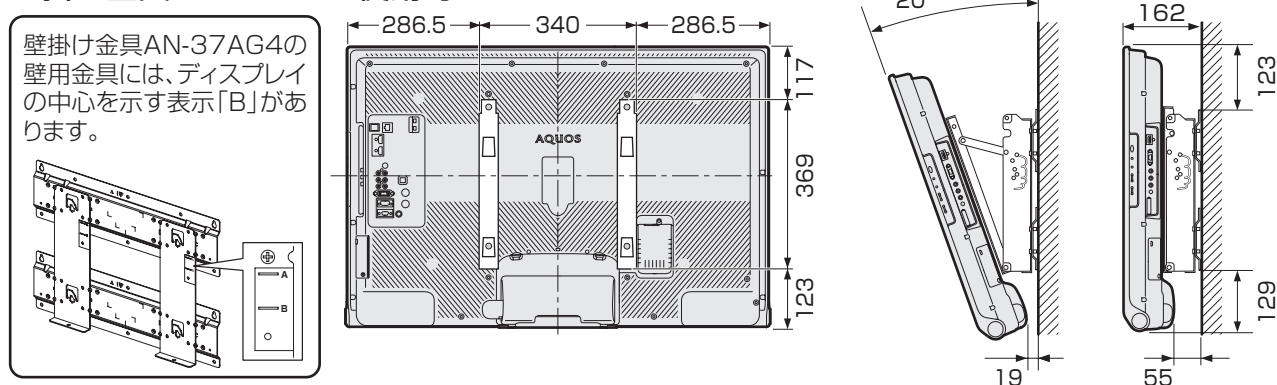
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

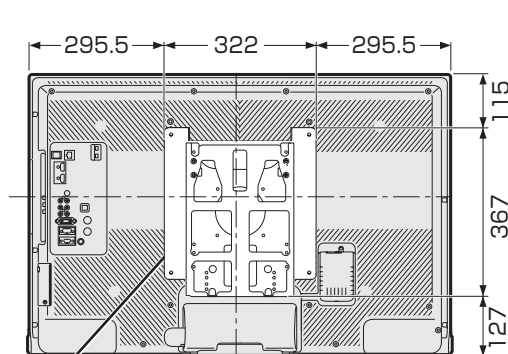
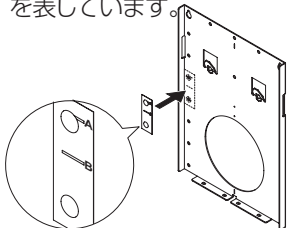
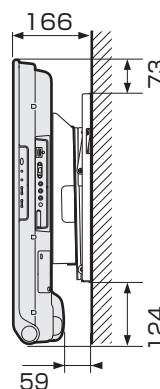
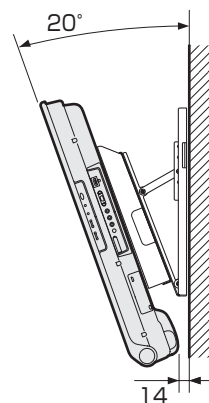
愛情点検

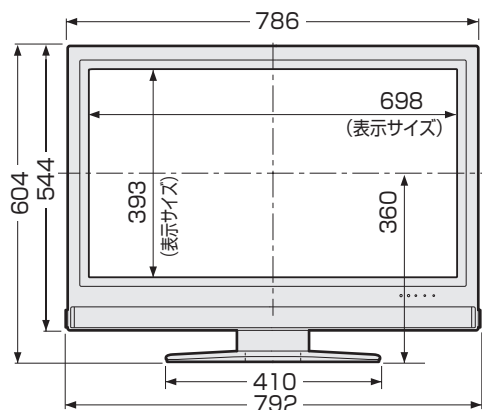
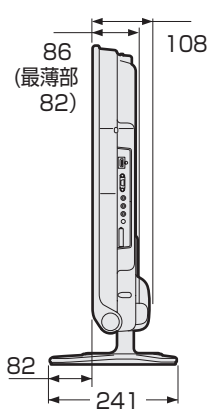
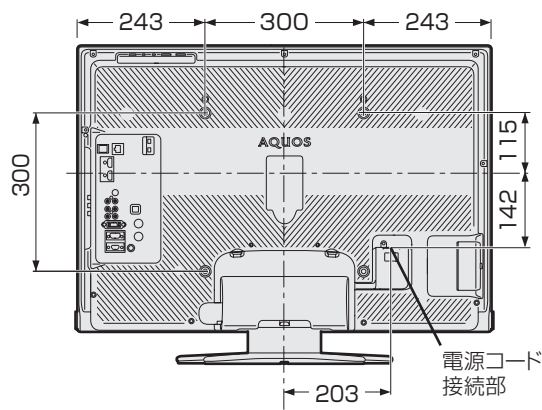
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

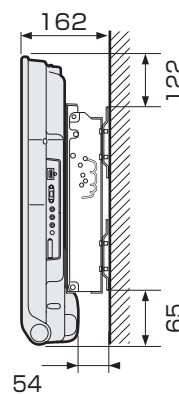
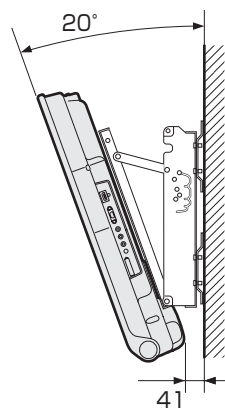
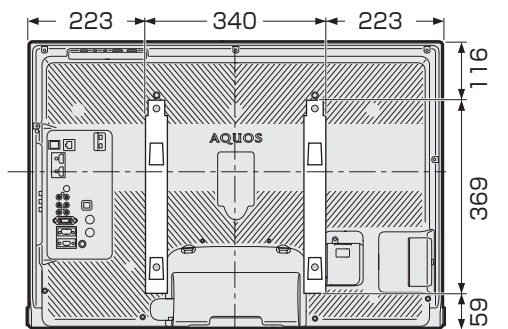
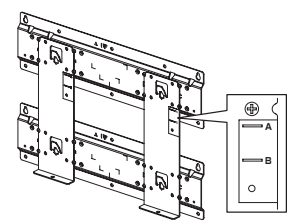
このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

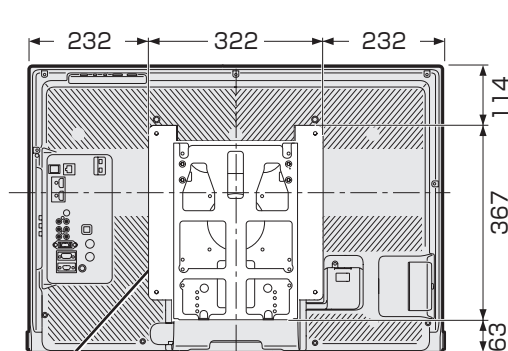
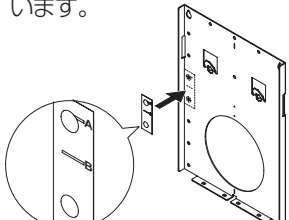
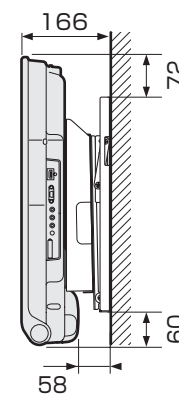
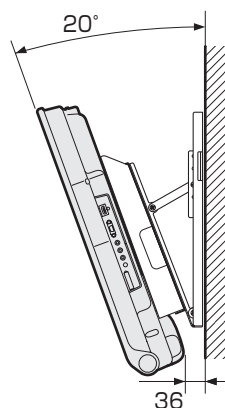
ちょっとした心づかいでテレビの安全

寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-37AG2使用時（アタッチメントAN-37P30が必要です）

壁掛け金具AN-37AG2の壁用金具に、AN-37P30に同梱の画面センター表示ラベルを貼り付けてください。そのラベルの表示「B」がディスプレイの中心を表しています。

LC-32DS5

正面

側面

壁掛け金具取り付け時の寸法

壁掛け金具AN-37AG4使用時

壁掛け金具AN-37AG4の壁用金具には、ディスプレイの中心を示す表示「A」があります。

壁掛け金具AN-37AG2使用時（アタッチメントAN-37P30が必要です）

壁掛け金具AN-37AG2の壁用金具に、AN-37P30に同梱の画面センター表示ラベルを貼り付けてください。そのラベルの表示「A」がディスプレイの中心を表しています。

壁に掛けて設置するには

スタンドをはずす (LC-42DS5 の場合)

● 別売の壁掛け金具(AN-52AG6)で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。(壁掛け設置のしかた(例) ▶ **178** ページ)

重要

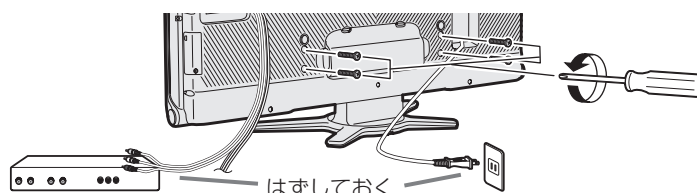
- 取付け方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

準備する

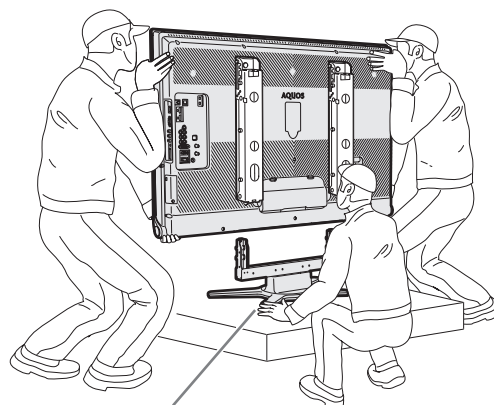
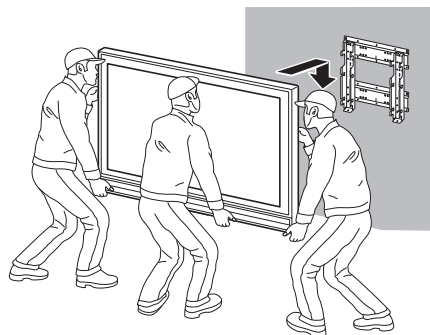
- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
  これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- 本体背面のキャップ(4 箇所)を取りはずしておきます。

1 スタンドのネジ(4 箇所)を取りはずす

- ⊕(プラス)ドライバーを使います。

2 壁掛け金具ユニットを取り付ける

- 角度設定していない状態(0° 設定)で取り付けます。

3 本機を持ち上げてスタンドから取りはずす

- スタンドを押さえ、液晶テレビを少し後ろに傾けながらはずしてください。
- スピーカーネット部を強く押さないでください。

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。
- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。

スタンドをはずす
(LC-37DS5/LC-32DS5 の場合)

● 別売の壁掛け金具(AN-37AG4/AN-37AG2 と AN-37P30)で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。(壁掛け設置のしかた(例) ▶ **178** ページ)

重要

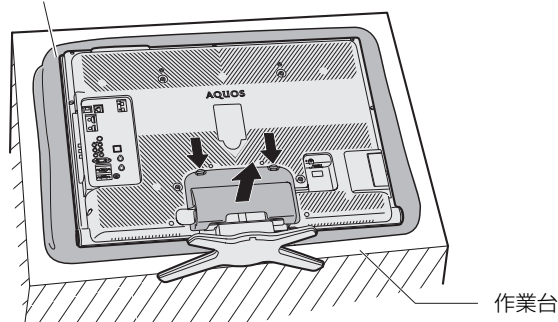
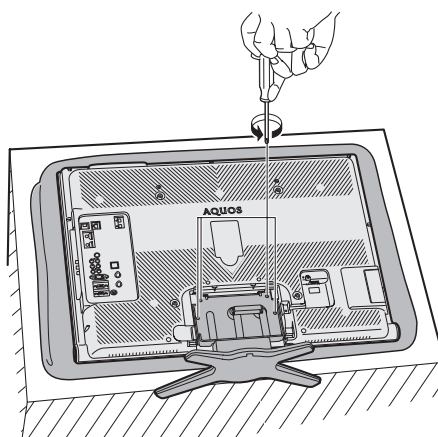
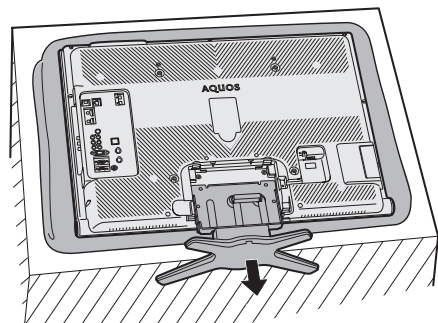
- 取付け方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。
  当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

壁に掛ける前の準備

- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグはコンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルは、録画機器側をはずしておいてください。
  これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。
- 本体背面のキャップ(4 箇所)を取りはずしておきます。

1 テーブルなどの台を用意し、毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に画面を下向きにして本機を置く

2 スタンドカバーを取りはずす
- 2カ所のツメを押さえてはずします。

3 スタンドのジョイントアングル部のネジ(4 箇所)を取りはずす
- ⊕(プラス)ドライバーを使います。

4 スタンドを手前に引いて取りはずす

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置します。

壁掛け設置のしかた（例）

- この方法はあくまで参考です。設置環境に合った方法で取付設置を行ってください。
- くわしくは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

● 本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置することができます。その場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。（スタンドをはずす ▶ **176・177 ページ**）

おしらせ

- 壁掛け金具 AN-52AG6 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-52AG6 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-37AG4 を取り付ける場合は、AN-37AG4 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-37AG2 を取り付ける場合は、壁掛け金具アタッチメント AN-37P30 が必要です。テレビとアタッチメントの取り付けには AN-37AG2 に付属のテレビ取付用ねじⒷ（M6、長さ 12mm）を、アタッチメントと壁掛け金具ユニットの取り付けには AN-37P30 に付属の金具取付用ねじⒶ（M6、長さ 10mm）をご使用ください。
- 壁掛け金具 AN-37AG4、AN-37AG2 の壁用金具を壁に取り付ける場合は、市販のねじ（径 6mm）をご使用ください。

取り付け角度について

- 0 度、5 度、10 度、15 度、20 度です。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

- 水平・垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
- テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4 箇所の目印から対角線を引き、その交点（テレビのほぼ中心となる位置）に目印を付ける

- 糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

- 下記の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

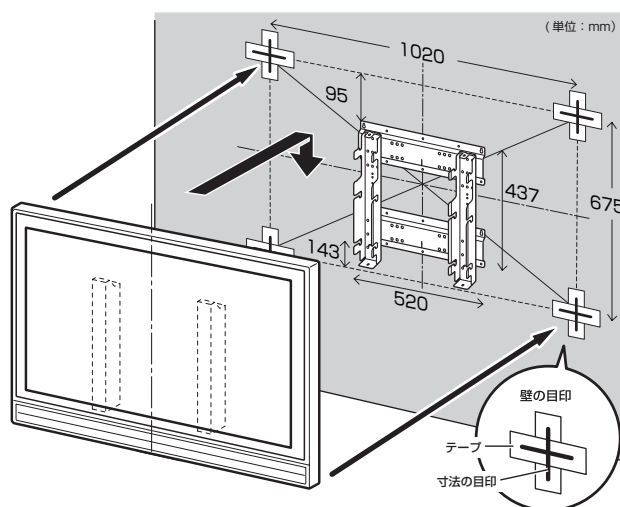
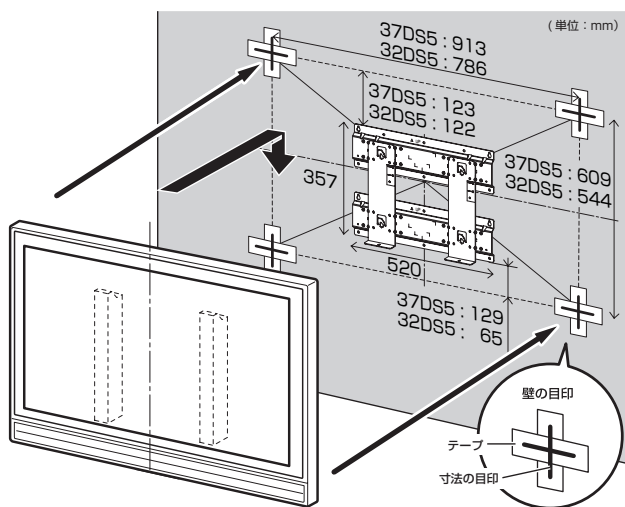
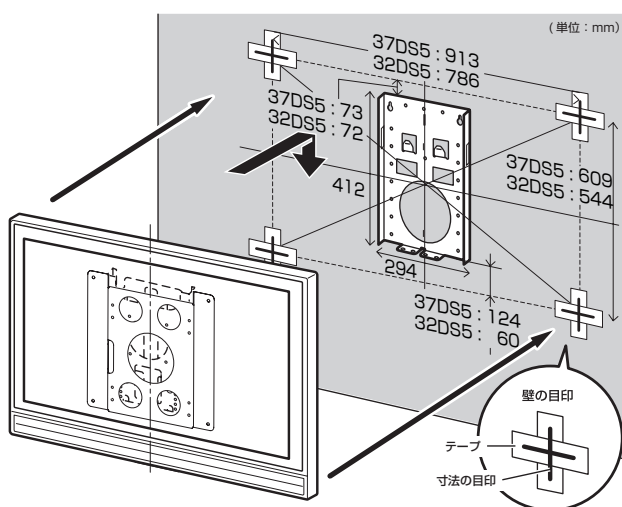
4 スタンドを外し、接続ケーブル類を踏まないように壁掛け金具に取り付ける

- 壁掛け金具の取扱説明書に従って、本機を固定してください。

5 目印のテープ類を取り除く

6 本機につないでいる電源コードをコンセントにつなぐ

- 録画機器などと接続するためのケーブルをつないでいるときは、そのケーブルを録画機器につなぐ

壁掛け金具 AN-52AG6 使用時

壁掛け金具 AN-37AG4 使用時

壁掛け金具 AN-37AG2 使用時

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント(複製禁止)が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。

● 1ビットデジタルアンプ
シャープ独自開発の1ビットデジタルアンプ技術は、アナログ信号を内部で１ビットのデジタル信号に変換し、そのまま伝達/増幅を行う技術です。
１秒間に1228.8万回（12.288MHz）というCDの約278倍に相当する超高速サンプリングによって、音の分解能を向上させています。
従来のマルチビット信号処理のように、情報の間引きや補完といった音質処理がないため、より原音に近い音で、「音の立ち上がり」の速さや滑らかさを高品位に再現します。

● 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用したデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

● 1080p、720p、1080i、480p、480i

映像の種類	画質（放送の種類）
1080p	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
720p	走査線 750 本（有効走査線 720 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
1080i	走査線 1125 本（有効走査線 1080 本）、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。
480p	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。
480i	走査線 525 本（有効走査線 480 本）、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。

● 1080p（24Hz）
映像信号の方式の1つであり、フィルム映画などはこの方式により毎秒24コマ（24p信号）で撮影されています。

● 16：9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

● AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるにもかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

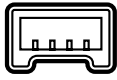
● ADSL回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

● B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

● BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

● CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。本機は「パススルー方式」のCATVに対応しています。

● CATV回線
ブロードバンド回線のひとつで、ケーブルテレビ網を使った回線です。

● D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

● EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。
本機では、電子番組表から番組を選んで選局や録画予約をすることができます。

● HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。
高精細な映像入力に対応しています。

● **i.LINK(アイリンク)**
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbps、800Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400、S800と表示されます。本機は最大400Mbpsの転送が可能です。
4ピンの場合

● **MPEG(Moving Picture Experts Group)**
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要です。MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

● **NTSC(National Television System Committee)**
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、有効走査線数480本のインターレース方式です。

● **PCM(Pulse Code Modulation)**
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

● **S1/S2映像**
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。
セパレート(S)映像信号は、輝度信号と色信号を分離して伝送することで映像の劣化を抑えています。

● **インターレース(飛び越し走査)**
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、480本の有効走査線のうち、まず奇数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの有効走査線(240本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて有効走査線480本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「480i」「1080i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

● **液晶パネル**
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

● **お知らせ**
BS/110度CS/地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

● **コンポーネント接続**
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

● **コンポジット接続**
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

● **地上デジタル放送**
2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、2006年12月に全国の都道府県庁所在地で開始されている放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

● **ハイビジョン放送**
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が480本の有効走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は720本や1080本の有効走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

● **ハブ**
LANなどのネットワークのケーブルを分けたり、中継したりする機器です。

● **光回線**
ブロードバンド回線のひとつで、光ファイバー網を使った回線です。
ADSL回線やCATV回線に比べてデータの転送スピードの速さが特長です。

● **ブロードバンド回線**
一度に大量のデータをやりとりすることができるインターネットに接続するための回線のことです。ADSL回線、CATV回線、光回線などがあります。

● **プログレッシブ(順次走査)**
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。480pの場合、480本の有効走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「480p」「720p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

索引

本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、▶ **17** ～ **20** ページをご覧ください。

●な行

●は行

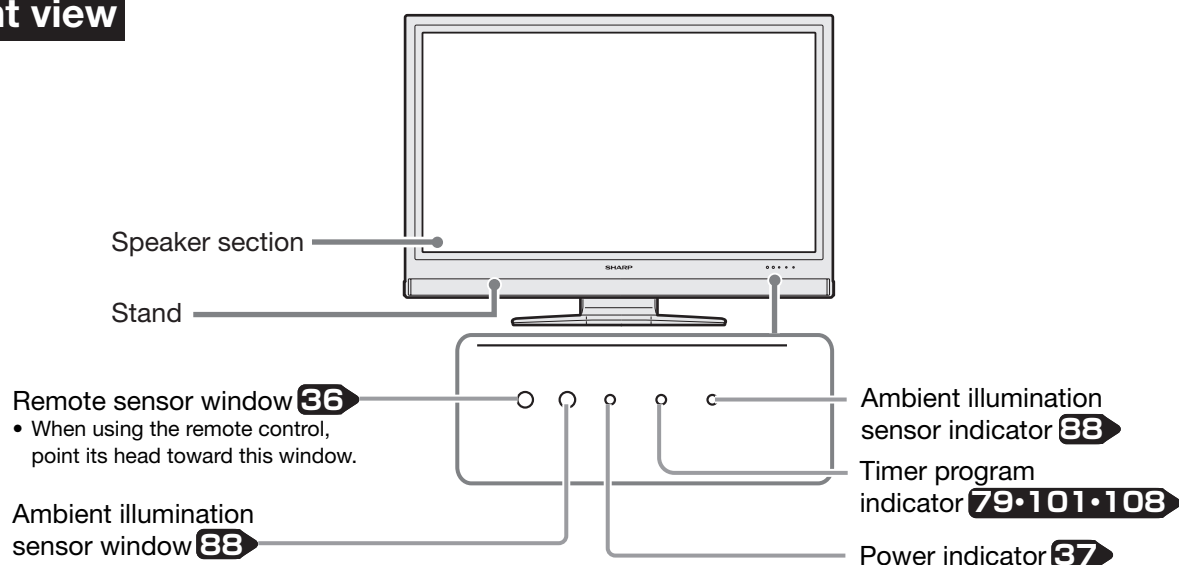
●ま行

●や行

●ら行

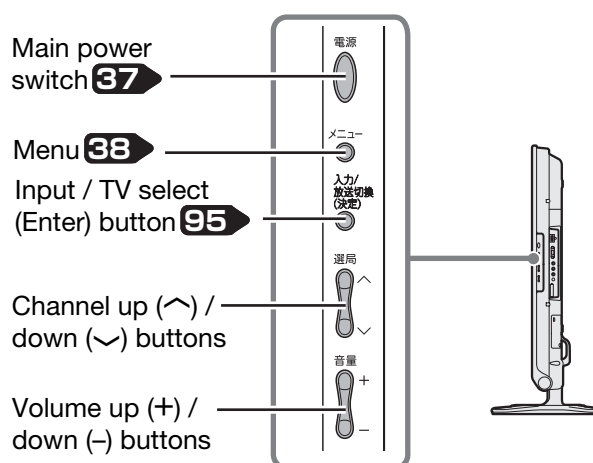
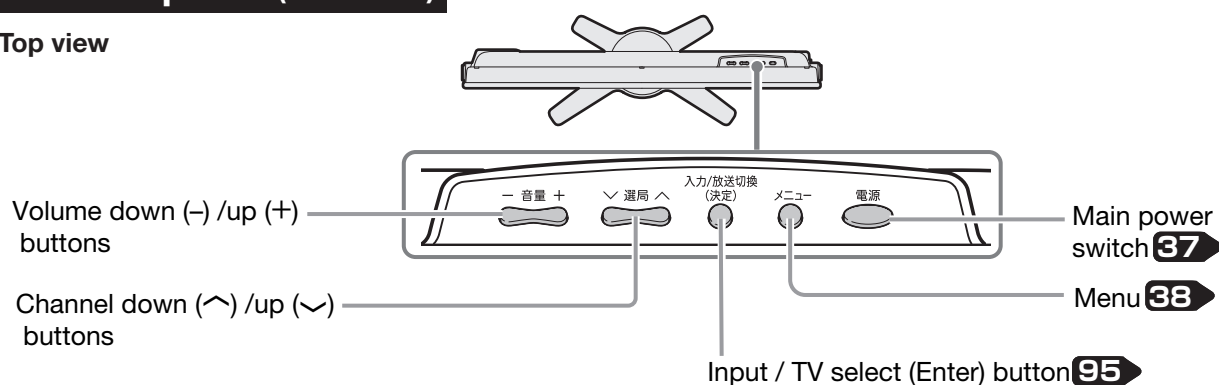
●わ行

- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle

- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Control panel (LC-42DS5/LC-37DS5)

Right side view

Control panel (LC-32DS5)

Top view

The illustrations below are those of LC-42DS5.
LC-37DS5/LC-32DS5 has the same layout of jacks and terminals as.

Connect the telephone line

Telephone line jack 149

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1 and 2 (HDMI) 92•93•94•111•136

Connect a recorder

AV in 6 /Monitor out (REC OUT) 92•93•104•135

AV in 4 92•93

RS-232C 144

AV in 7 (PC) 137

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX) 149

i.LINK (TS) jack 120

Digital audio output jack (optical) 134

BS·CS 110 antenna input terminal 29~31

VHF·UHF antenna input terminal 28~31

PC input (audio) 136•137

Connect the AC cord

AC cord connector 33 (AC 100V)

AV in 3 (HDMI) 92•93•94•111•136

AV in 5 92•93

Connect a video game equipment, video camera, etc.

Headphones jack

LC-42DS5/ LC-37DS5

LC-32DS5

B-CAS Card

B-CAS card slot 24

B-CAS card slot 24

Active/Standby 37
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

CATV
CATV 67
When selecting a CATV channel by entering the channel number, press this button first, then enter the 2-digit number with the TV channel select buttons (1-10/0).

3桁入力
Digital channel number input 67
Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

地上A **Terrestrial analog select** 64

地上D **Terrestrial digital select** 64

BS **BS select** 64

CS **CS select** 64
Select the CS digital channel for the first time. 43

消音
Mute 65
Press to temporarily turn off the sound. Press again to return the sound volume to the previous level.

Volume up (+)/down (–) 65
Press to adjust the volume.

Linked data broadcast 69 • 78
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

AV mode select 86
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

番組表 **EPG** 70 • 72
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

裏番組 **Other on-air programs** 71
Press to display the EPG for currently on-air programs only (裏番組).

番組情報
Program info 78
Press to display detailed information on the current digital program.

Finish 38
Press to finish menu operation, etc.
* This button can be conveniently used when you are at a loss during menu or EPG operation, etc.

お好み選局 登録
Favorite channel select/register 67
Press to select a user-registered channel and to turn on/off the favorite channel register/registered channel table screen.

映像切換
Picture select 77
Press to select the desired picture when watching a digital multi-picture program.

字幕
Caption 77
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

音声切換
Audio select 76 • 77
Press to select the desired audio.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

画面表示
Display 66
Press to display or turn off the channel call, etc.

画面サイズ
Screen mode 84 • 138
Press to select the desired screen mode.

静止
Freeze 83
Press to freeze the picture.

i.LINK
i.LINK 122
Press to display the i.LINK control panel.

Channel select 65
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

選局
Channel up (∧)/down (∨) 65
Press to select channels in the current network, media and CATV channels in the ascending or descending order.
* CATV channels are factory set to be skipped.

入力切換
Input select 95
Press to select the desired input.

Media select 64
Press to select the desired media (TV or data).

Sleep timer 156
Press to select the desired remaining time period after which the TV set is automatically turned off and enters the standby mode.

Menu 38
Press to display or turn off the menu screen.
The menus can be displayed in English. See 187 for instructions on how to switch the display language.

Cursor (up, down, left, right) 38
Use to select a menu item, column, etc.

決定 **Enter/Confirm** 38
Press to confirm a selected setting or menu item.

Return 38
Press to go back to the previous screen. Press this button instead of the Enter/Confirm (決定) button when you have selected the wrong item or input the wrong number, etc.

青 赤 緑 黄
Color 72 • 73
Use to operate EPGs and data program screens.

Familink 114 • 116~119
Press to operate “Familink” Recorders and AQUOS Surround connected via HDMI cables.

Switching the Display Language to English
メニューなどの言語を英語にする

● Using the menu screen, you can switch the on-screen display language to English.

メニューなどの画面表示を英語にすることができます。

誤ってメニューを英語にしてしまったときは

・メニューから「Setup」－「言語設定(Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

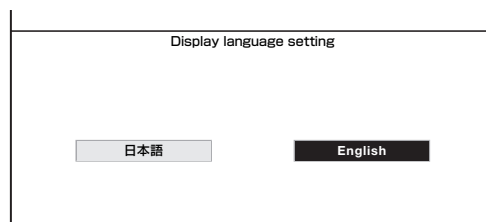
Press

1 メニュー　Display the menu screen.
メニューを表示する

2 Select “ 本体設定 ”(Setup) ー “Language (言語設定)”.
「本体設定」－「Language（言語設定）」を選ぶ

決定　Enter.
決定する

3 Select “English”.
「English」を選ぶ

決定　Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

4 終了　Finish this operation.
終了する

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-42DS5 LC-37DS5 LC-32DS5

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

■ よくあるご質問などはパソコンから検索できます ▶▶▶▶

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～20:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2008.4)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

TINS-D770WJZZ
08P05-JA-KS